

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合α	単位数	2コマ (5単位5コマうち)	年次	1年次
使用教科書	精選国語総合 現代文編 改訂版 (筑摩書房)						
副教材等	『トータルサポート新国語便覧』 (大修館) 『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP 2500 三訂版』 (いっぴな書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く・能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付ける。
- ・予習として必ず本文を読んでおくこと。授業の後には内容を振り返って復習すること。
- ・提出物の期限厳守。定期考査の対策は、余裕を持って計画的に取り組むこと。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	小説	教材 「羅生門」	○			◎	○	a: 作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d: 作品世界の舞台を理解している。下人の心理の移り変わりを、場面に即して読み取っている。 e: 作者や日本近代文学についての理解を深めている。	a: 観察・自己評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	評論	教材 「演じられた風景」		○		◎	○	b: 文章を読んで気づいたことや自分の意見を、わかりやすく話している。 d: 「名所」に関する筆者の考えを理解している。「見立て」に関する筆者の考えを読み取り、日本人の美意識に関する主張を理解する。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	b: 観察・自己評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	評論	教材 「ことばとは何か」		○		◎	○	b: 本文に即した自分の体験について、わかりやすく話している。 d: 異なった言語観があることを理解し、言語により見えてくる世界も違ってくるということを、具体的な例に沿って読み取っている。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	b: 観察・自己評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査

	小説	教材 「愛されすぎた白鳥」		○		◎	○	<p>a: 作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>d: 「番人」と「白鳥」が会ってから親しくなるまでの、それぞれの心情変化がうかがえる表現を抜き出し、確認する。</p> <p>e: 寓話という物語形式の特色が本文のどのような点に表れているかを考え、確認する。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	評論	教材 「魔術化する科学技術」		○		◎	○	<p>b: 「現代の社会で科学は魔術化される」ということについて、日常生活における具体例を発表し、自分の考えをまとめ、話し合っている。</p> <p>d: 「近代科学」「知」と、「神話的、宗教的、呪術的思考」による「知」とは、どのように異なるかを比較し、理解できている。</p> <p>e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。</p>	<p>b: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	随想	教材 「結ばれていく時間」		○		◎	○	<p>b: 「私たちの前には、豊かなのに豊かではないという現実がある」という本文の内容に即して、「豊か」であるとはどのようなことか、意見をまとめ、話し合う。</p> <p>d: 「東京の時間」と「現代の時間」の違いを理解し、「結ばれていく時間」の意味を読み取っている。</p> <p>e: 月の異名と二十四節気を表す季節を理解している。</p>	<p>b: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>

後期	小説	教材 「棒」					<p>b: 「棒」になる前の「私」はどのようなタイプの人間であったのか、根拠となる記述をふまえて、自分の意見をまとめ、意見交換をしている。</p> <p>C: この作品にはどのような寓意が込められているか、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>d: この作品に込められた寓意を、現代社会の問題として捉えられている。</p> <p>e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>c: 観察・ノート・定期考査</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	詩歌	教材 「短歌・俳句」					<p>a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>C: 自身で短歌・俳句を作成する。</p> <p>d: それぞれの歌について、短い形式の中に込められた心情を理解している。</p> <p>e: 短歌・俳句の基本的なきまりごとや修辞法を理解している。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>c: 観察・ノート</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	評論	教材 「感性の考古学」					<p>a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>d: 全体の構成を理解し、「花」「紫貝」がどのようなことを述べるための具体例であるか、「近代と「近代以前の人々」の世界の感じ方の違いはどのようなものかを把握している。</p> <p>e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>

	小説	教材 「夢十夜」				◎	○	○	a: 作品に興味を持って意欲的に取り組んでいる。 d: 「第一夜」冒頭の一文の位置づけと、作品の構造を理解している。 「女」が死ぬまでの様子と「女」の言葉の意味を読み取っている。 e: 作者や作品の時代背景について理解を深めている。	a: 観察・自己評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	評論	教材 「失われた両腕」	○				◎	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d: 両腕のないことがミロのヴィーナスを「魅惑的」にしているという筆者の考えを理解している。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	評論	教材 「マルジャーナの知恵」	○				◎	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d: 文章の構成を理解し、内容の概要を把握している。「現代の資本主義」とはどのようなものかを確認し、「情報の商品化」の問題点について理解している。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a: 観察・自己評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力
c: 書く能力 d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	国語総合β	単位数	3コマ (5単位5コマのうち)	年次	1年次
使用教科書	「精選 国語総合 古典編」 (筑摩書房)						
副教材等	「体系古典文法」(数研出版) 「体系古典文法学習ノート」(数研出版) 「精選漢文」(尚文出版) 「解法古文単語350」(数研出版) 「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、文章の概要やポイントを把握して、確かな読解力と幅広い知識を身につける。 ・重要古文単語、古典文法、漢文の句形をマスターして、読解に活かせるようにする。 ・古典教材読解に必要な基礎力をつけるために、毎時の授業において、予習と復習を行なう。

2 学習の到達目標

<p>古文と漢文を読む能力を養うとともに、古典についての理解や関心を深めることによって、感受性や思考力を高め、人生を豊かにする態度を育てる。</p>
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析 (ノート、ワークシート等) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>					

前 期	長い漢文を読む	教材 史伝『十八史略』 「管鮑之交」 「刺客荆軻」 句法等・否定、受身、願望	○			◎	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 漢文に親しみ、歴史物語への理解を深めようとしている。 登場人物の関係やそれぞれの心情について考えようとしている。 d: 長い文章を正確に読み、大意を把握している。 登場人物の行動や心情・性格を読み取っている。 物語の内容とそこから生まれた故事成語の意味を正しく理解している。 e: 重要な句法や助字を理解している。 重要語句や故事成語、漢字の意味を確認するため漢和辞典を活用している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	様々な古文を読む	教材 歌物語『伊勢物語』 「芥川」 「あづま下り」 「筒井筒」 軍記物語『平家物語』 「木曾の最期」 文法等・助動詞、敬語、 助詞の用法、音便	○			◎	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組む、歌物語・軍記物語について理解し、興味関心を高めている。 古文や和歌に親しみ、登場人物の行動や心情について自分なりの視点で読み取ろうとしている。 d: 本文の構成を把握し、内容を理解している。 登場人物の行動と心情を読み取っている。 和歌の果たしている役割を理解している。 重要古語や古典文法に注意しながら本文に即して現代語訳している。 e: 和歌の修辞技巧と意味を理解している。 重要古語・用言の活用・敬語について理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

後 期	漢詩を読む	<p>教材</p> <p>絶句 「絶句」 「静夜思」 「江雪」 「涼州詞」</p> <p>律詩 「春望」 「八月十五日夜、～」</p> <p>句法等・漢詩の形式</p>	○			◎	○	<p>a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 唐代の詩に親しみ、理解を深めようとしている。 それぞれの詩に描かれた情景や心情を読み取ろうとしている。</p> <p>d: 繰り返し音読し、漢文独特の口調に親しんでいる。 それぞれの詩の内容を理解している。 脚注を参照しながら現代が訳している。 詩に描かれた情景や作者の心情を読み味わっている。</p> <p>e: 唐詩の形式（字数・句数・押韻・対句）について理解している。 それぞれの詩の作者について理解を深めている。 重要語句や漢字の意味を確認するため漢和辞典を活用している。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>
	古文の和歌を味わい、日記を読む	<p>教材</p> <p>和歌集 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』</p> <p>日記『土佐日記』 「門出」 「帰京」 『奥の細道』 「序」 「平泉」</p> <p>文法等・助動詞の確認、和歌、俳諧の修辞技巧</p>	○			◎	○	<p>a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 和歌集・日記について理解し、興味関心を高めている。 古文や和歌に親しみ、作者の心情について考えようとしている。</p> <p>d: 繰り返し音読し、歌の韻律を理解している。 歌の内容や優れた表現を理解している。 本文の構成を把握し、内容を理解している。</p> <p>e: 歌の形式や修辞技巧について理解している。 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の成立や内容・構成、文学史的意義について理解している。 当時の月の役割や現代の季節感との違いについて、理解を深めている。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>

後 期	中国の思想を学ぶ	教材 『論語』 『孟子』 句法等・詠嘆、反語、疑問、 比較、仮定	○			◎	○	<p>a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>孔子と孟子の考え方を学び、自身のこと置き換えて考えようとしている。</p> <p>孔子と孟子の考え方の現代的意義について考えを深めようとしている。</p> <p>d: それぞれの章の本文の構成を把握し、内用を正しく理解している。</p> <p>脚注を参照しながら現代語訳している。</p> <p>孔子や孟子の考え方を理解している。</p> <p>対句的な文章表現とその効果について理解している。</p> <p>『論語』の中から好きな一章を選び、感じたことや考えたことを文章にまとめている。</p> <p>e: 重要な句法を理解している。</p> <p>孔子に始まる儒家思想や孟子について、またそれが中国の思想や文化に与えた影響について理解を深めている。</p> <p>重要語句や句法、漢字の意味を確認するため漢和辞典を活用している。</p>	<p>a: 行動の観察及び記述の点検</p> <p>d: 記述の確認及び定期考査</p> <p>e: 小テスト及び定期考査</p>
--------	----------	--	---	--	--	---	---	--	---

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度

d: 読む能力

e: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2・3単位	年次	2年次
使用教科書	「精選現代文B」 (東京書籍)						
副教材等	「新国語総合ガイド 五訂版」 (京都書房) 「頻出漢字熟語 3000」 (第一学習社) 「現代文 解法のテクニック 2 (標準編) 改訂版」 (啓隆社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野・表現形態の作品を広く学び、知識を深め、「読む能力」を向上させましょう。 ・コミュニケーションのための「話す能力」「聞く能力」や、要約・意見文等の「書く能力」を身に付けるため、積極的に課題に取り組み、練習を重ねる。 ・本文通読・語句の意味調べ等の予習を欠かさず、授業では気づいたことや疑問点等書き込んだノート作りを心がけ、ひとりで復習しやすいようにする。 ・課題・提出物は、期限を守って正確なものを出せるようにしましょう。定期考査はもちろん、課されたものを日々きちんとこなしていくための学習計画を立てる。

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。 ・目的や場に応じた確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解し、表現することができる。 ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。 ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
--

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論(二)	教材 「世界をつくり替えるために」	○		○	◎	○	<p>a: 評論というジャンルに興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>c: 内容を理解し、それに関する自分の考えを説得力のある展開で書いている。</p> <p>d: 各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。「世界」と「自分」について考えを深めている。</p> <p>E: 自分と正解のずれを感じることで未来の「種」を生み出す起点であることについて深く考え自分なりの考えを持つ。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>c: ノート・自己評価・相互評価</p> <p>d: 行動の観察・ノート</p> <p>定期考査</p> <p>e: 観察・ノート</p>
	評論(二)	教材 「相手依存の自己規定」	○	○		◎	○	<p>a: この教材を通して自分自身について考える機会とし、教材に興味を持ち、取り組んでいる。</p> <p>b: 気づいたことや自分の意見をわかりやすく話し、他人の意見を尊重する姿勢を持つ。</p> <p>d: 各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。筆者の主張を、表現内容を押さえつつ理解している。</p> <p>e: 自己同一性について、言語による自己把握についての認識を深める。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>b: 観察・自己評価・相互評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>

	評論(三)	教材 「ミロのヴィーナス」	○	○	◎	○	<p>a: 評論というジャンルに興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>c: 「ミロのヴィーナス」の内容を理解し、それに関する自分の考えを説得力のある展開で書いている。</p> <p>d: 各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。人間にとっての「芸術」の意味について考えを深めている。</p> <p>E 「トルソの美学」「アイロニーの提示」等の抽象的語句について知識がある。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>c: ノート・自己評価・定期考査</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	小説(二)	教材 「山月記」	○	◎	◎	○	<p>a: 漢文調の文体や寓意的表現に注意しながら、主体的に鑑賞し、主題をとらえようとしている。</p> <p>c: 作品を通して考えたことを、自分の言葉でまとめている。</p> <p>d: 漢文調の文章のリズムや響きを音読して味わい、人物・心情・情景を読み取っている。</p> <p>e: なじみの薄い漢語の意味を、注や辞書を参考に正しく理解している。</p>	<p>a: 観察・ノート・自己評価</p> <p>c: 感想文・自己評価・相互評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>

	詩	教材 「未確認飛行物体」「竹」「永訣の朝」	○	○	○	◎	○	<p>a: 詩歌を読む面白さを体験し、詩歌への興味関心を持つ。</p> <p>b: 作品の感想をめぐる話し合いに意欲的に参加している。</p> <p>c: 自分の感じたことを、わかりやすく鑑賞文にまとめている。</p> <p>d: 音読してリズムや響きを味わい、作品にこめられた思いを理解する。</p> <p>e: 詩歌における表現の技巧・特徴などを理解し、作者についておおまかな知識を持っている。</p>	<p>a: 観察・ノート・自己評価</p> <p>c: 作品・観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
後期	随想(二)	「言葉を生きる」	○	○	◎	○	<p>a: 「たった一つの言葉が人生を変えることがある」ということについて読解することで、自分自身について見つめ、考えようとしている。</p> <p>c: 表現の構造を理解し、主張をわかりやすくまとめている。</p> <p>d: 言葉を「生きる」という経験について筆者自らの体験を理解している。</p> <p>e: 随想の文章の構造と読解に必要な知識が整理できている。</p>	<p>a: 観察・ノート・自己評価</p> <p>c: 感想文・自己評価・相互評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>	

	小説(二)	教材 「こころ」	○	◎	○	◎	○	<p>a:登場人物の行動や心情、情景などを味わっている。近代文学に興味を持って取り組んでいる。</p> <p>b:作品のテーマや感想などを積極的に発表している。</p> <p>c:自分の考えを論理的にまとめている。</p> <p>d:あらすじ・場面の展開を正しくとらえ、主人公の心情の推移を理解している。作品の主題について自分の考えを深めている。</p> <p>e:日本近代史の流れをおおまかに理解し、作者についての知識を深めている。</p>	<p>a:観察・自己評価</p> <p>b:観察・自己評価・相互評価</p> <p>c:感想文・自己評価・相互評価</p> <p>d:観察・ノート・定期考査</p> <p>e:観察・ノート・定期考査</p>
	評論(四)	教材 「日本人の美意識」	○		○	◎	○	<p>a:「美意識」という問題に興味を持ち、構成や論理の展開に注意して主張を読み取ろうとしている。</p> <p>c:表現の構造を理解し、主張をわかりやすくまとめている。</p> <p>d:文章の構成を理解し、論理の展開を把握している。「うつくし」という言葉に表れている日本人の美意識に関する筆者の主張を理解している。</p> <p>e:読解に必要な基礎的な実践的用語に関する知識がある。</p>	<p>a:観察・自己評価</p> <p>c:ノート・自己評価・テスト</p> <p>d:観察・ノート・定期考査</p> <p>e:観察・ノート・定期考査</p>

評論(五)	教材 「おじいさんのランプ」		○	○	◎	○	<p>a: 1年次で学んだ「白への跳躍」でも学んだ、情報社会の在り方についてさらに思索を深めようとしている。</p> <p>c: 筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめている。</p> <p>d: 身のまわりの SNS の状況をよく考え、その中で情報化の進行がどれほどの大きな影響力を持つのかを理解している。</p> <p>e: 評論読解に必要な実践的用語についての知識がある。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>c: ノート・自己評価・相互評価・テスト</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
評論(六)	教材 「人間の運命と科学」		○	○	◎	○	<p>a: 人間の認知や欲望を規定する認知的バイアスと人間の長期的な洞察について正確に読解し、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>c: 筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめている。</p> <p>d: 筆者が「生物についての科学的な洞察」というものをどのようにとらえているかを読み取っている。</p> <p>e: 人間と科学の在り方について大まかな知識を持っている。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>c: ノート・自己評価・相互評価・テスト</p> <p>d: 観察・ノート・ワークシート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・ワークシート・定期考査</p>

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力
c: 書く能力 d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2・3単位	年次	3年次
使用教科書	「改訂版 精選 現代文B」 (三省堂)						
副教材等	「新国語総合ガイド」 (京都書房) 「読解を深める現代文単語 評論・小説 改訂版」 (桐原書店) 「共通テスト対策 現代文完答16」 (尚文出版) 「基礎からの総合トレーニング現代文2 演習 JUMP 編」 (ランズ)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・近代以降の様々な文章を読み、知識を深め、「読む能力」をさらに向上させましょう。
- ・コミュニケーションのための「話す能力」「聞く能力」や、的確な文章で表現する「書く能力」を身に付けるため、積極的に課題に取り組み、練習を重ねましょう。
- ・本文通読・新出語句の意味調べ、漢字の予習復習を欠かさず、授業では気づいたことや疑問点等を書き込んだノート作りを心がけ、考査前の自主学習に活用しましょう。
- ・課題・提出物は、期限を守って完成させて提出しましょう。定期考査はもちろん、日々の課題や長期休暇中の課題など、計画的な学習を心がけましょう。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解し、表現することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析 (ワークシート)、定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	評論(一)	教材 『ブーボー』と『マンマ』の記号論 池上嘉彦	○			◎	○	a: 評論というジャンルに興味を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 d: 語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e: 文の照応関係や文章構成についてなどについての理解を深めている。	a: 観察・自己評価 d: 行動の観察・ノート 定期考査 e: 観察・ノート
	小説(一)	教材 「鞆」安部公房	○			◎	○	a: 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 風景描写、人物の行動や状況を手がかりに、心情や情景を読み取っている。 e: 言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	a: 観察・自己評価 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査
	評論(二)	教材 「判断停止の快感」大西赤人	○		○	◎	○	a: 現代社会の問題点を考えながら文章を読もうとしている。 c: 筆者の考えをわかりやすくまとめている。 d: 考えを深めたり発展させたりしながら文章を読んでいる。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字の知識を増やしている。	a: 観察・自己評価 c: ノート・自己評価・定期考査 d: 観察・ノート・定期考査 e: 観察・ノート・定期考査

評論(一)	教材 「病と科学」柳澤桂子	○	○		◎	○	<p>a: 「科学」に対する、自身の考えや向き合い方について検討しようとしている。</p> <p>b: 気づきや意見を自分の言葉で表現したり、他者の意見を尊重する姿勢を持っている。</p> <p>d: 考えを深めたり発展させたりしながら文章を読んでいる。</p> <p>e: 段落の関係性や、語句の意味を正しく理解し、漢字の知識を増やしている。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>b: 観察・相互評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
評論(二)	教材 「南の貧困／北の貧困」 見田宗介	○			◎	○	<p>a: 世界に目を向け視野を広げ思考を進めながら読もうとしている。</p> <p>d: 用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。</p> <p>e: 構築された論理的な文章を読み書きするための、語彙や漢字の知識を増やしている。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
評論(三)	教材 「虚ろなまなざし」岡真理	○			◎	○	<p>a: 筆者の問題提起を的確に捉えながら文章を読もうとしている。</p> <p>d: 筆者の考えを理解したうえで自分の考えを深め、発展させようとしている。</p> <p>e: 複合語や連語などについての語彙を広げる。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>

後期	小説(二)	教材 「舞姫」森鷗外	○	◎	◎	○	<p>a: 擬古文調の文体や翻訳長の表現に注意しながら、時代背景を理解しながら、主体的に鑑賞し、主題をとらえようとしている。</p> <p>c: 作品を通して考えたことを、自分の言葉でまとめている。</p> <p>d: 擬古文調の文章のリズムや響きを音読して味わい、人物・心情・情景を読み取っている。</p> <p>e: なじみの薄い語の意味を、注や辞書を参考に正しく理解している。</p>	<p>a: 観察・ノート・自己評価</p> <p>c: 感想文・自己評価・相互評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	評論(四)	教材 「忘れられる権利」宮下紘	○		◎	○	<p>a: 論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。</p> <p>d: 題材や材料、文の組立てに注意しながら、読み取っている。</p> <p>e: 語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。</p>	<p>a: 観察・ノート・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	評論(四)	教材 「日本文化の雑種性」 加藤周一	○		◎	○	<p>a: 結論の導き方に注意しながら文章を読もうとしている。</p> <p>d: 段落の関係性に留意しながら、筆者の主張を把握しようとしている。</p> <p>e: 具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>
	評論(四)	教材 「無常ということ」小林秀雄	○		◎	○	<p>a: 文章全体の論理構成や展開を正しく読み取ろうとしている。</p> <p>d: 評論文の要旨を叙述に即して的確に把握し、筆者の考え方の特色を理解している。</p> <p>e: 語句の意味を正しく理解し、漢字の知識を増やしている。</p>	<p>a: 観察・自己評価</p> <p>d: 観察・ノート・定期考査</p> <p>e: 観察・ノート・定期考査</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力
c:書く能力 d:読む能力 e:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	古典B	単位数	3	年次	2
使用教科書	「精選古典B」(大修館書店)						
副教材等	「完全マスター古典文法」(第一学習社) 「古典文法ワークシート」(第一学習社) 「新明説漢文」(尚文出版) 「修訂版新明説漢文ノート」(尚文出版) 「新国語総合ガイド 五訂版」(京都書房) 「三訂版 プロGRESS (読解・構図・鑑賞) 古典総演習・標準編 (いっずな書店) 「読んで見て覚える重要古文単語 315 [三訂版]」(桐原書店)						

1 担当者からのメッセージ

- ・文章の概要やポイントを把握して、確かな読解力と幅広い知識を身につける。
- ・重要古文単語、古典文法、漢文の句形をマスターして、読解に活かせるようにする。
- ・基礎力の上に応用力を積み重ねられるように、毎時の授業において、予習と復習を行なう。

2 学習の到達目標

古典への理解を深めることで、考え方や鑑賞能力を深くし、人生を豊かにすることを目標とする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a			d	e		
前期	1年次の学習内容の復習	教材： 【古文】 「宇治拾遺物語」 「徒然草」 「枕草子」 「問題集」	○			○	◎	a: 作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深めようとしている。 c: 感想文を書き、理解を深める。 d 本文の構成を把握し、話の展開を理解している。 e: 文語のきまりや文法事項を身に付けている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	学ぶとともに、歴史書を読み、歴史観を鑑賞する。	教材： 【漢文】 「故事成語」 漱石枕流 「史記」 鴻門の会 四面楚歌 「問題集」	○			◎	○	a: 歴史書の成立の経緯や意義を理解し、取り組んでいる。 c: 感想文を書き、理解を深める。 d: 登場人物について、人物像や相互の関係についての確にとらえている。 e: 漢文の句形を正しく理解し、口語訳している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	文学の読解を通して和歌の内容を理解する	教材： 【古文】 「竹取物語」 「伊勢物語」 「問題集」	○			◎	○	a: 歌物語における和歌の役割を理解し、取り組んでいる。 c: 感想文を書き、理解を深める。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 時代背景や古典常識、和歌の技法を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	学ぶとともに、歴史書を読み、歴史観を鑑賞する。	教材： 【漢文】 「史記」 項王最期 「問題集」	○			◎	○	a: 歴史書の成立の経緯や意義を理解し、取り組んでいる。 c: 感想文を書き、理解を深める。 d: 登場人物について、人物像や相互の関係についての確にとらえている。 e: 漢文の句形を正しく理解し、口語訳している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

後期	歴史物語の構成と特色を理解する	教材： 【古文】 「大鏡」 「問題集」	○			◎	○	a: 歴史物語に興味をもち、取り組んでいる。 c: 感想文を書き、理解を深める。 d: 文法にしたがって文章を正確に読み取り、人物の言動や心情を捉える手掛かりとしている。 e: 文章の構成やストーリーの展開を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	漢詩を鑑賞する	教材： 【漢文】 「漢詩」 「問題集」	○			◎	○	a: 作者や成立時代や形式について関心をもって、取り組んでいる。 c: 鑑賞文を書き、理解を深める。 d: 内容についての確にとらえている。 e: 漢文の句形を正しく理解し、口語訳している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	長文を読む	教材： 【古文】 「源氏物語」 「更級日記」 「問題集」	○			◎	○	a: 作者や作品、成立時代に興味をもって、取り組んでいる。 c: 感想文を書き、理解を深める。 d: 登場人物について、人物像や相互の関係についての確にとらえている。 e: 敬語の意味と用法を整理して、口語訳ができています。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	中国思想に触れる	教材： 【漢文】 「思想」 「問題集」	○			◎	○	a: 孔子や孟子について興味をもって、取り組んでいる。 c: 感想文を書き、理解を深める。 d: 孔子と門人の問答について、的確にとらえて、内容を理解している。 e: 漢文の句形を正しく理解し、口語訳している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度

d: 読む能力

e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

令和2年度 国語科

教科	国語科	科目	古典B	単位数	3	年次	3
使用教科書	「古典B」 (三省堂)						
副教材等	「新国語総合ガイド」 (京都書房) 「共通テスト対策 古典完答24」 (尚文出版) 「古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別マスターノート」 (数研出版) 「必携 新明説漢文シリーズ 漢文用字練習ノート」 (尚文出版) 「解法古文単語350」 (数研出版) 「新修 古典文法」 (京都書房) 「必携新明説漢文～句法と語彙を一緒に学ぶ～」 (尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ

- ・文章の概要やポイントを把握して、確かな読解力と幅広い知識を身につける。
- ・重要古文単語、古典文法、漢文の句形をマスターして、読解に活かせるようにする。
- ・基礎力の上に応用力を積み重ねられるように、毎時の授業において、予習と復習を行なう。

2 学習の到達目標

古典への理解を深めることで、考え方や鑑賞能力を深くし、人生を豊かにすることを目標とする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲 ・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)			記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a			d	e		
前期	日記文学と古典常識を学ぶ	教材： 【古文】 「枕草子」 二月つごもりごろに 「蜻蛉日記」 うつろひたる菊 「問題集」	○			○	◎	a: 随筆・日記文学に関心をもち、取り組んでいる。 d: 本文の構成を把握し、話の展開を理解している。 e: 文語のきまりや文法事項を身に付けている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	歴史書を読み、歴史観を学ぶ	教材： 【漢文】 「勿頭之交」 「問題集」	○			◎	○	a: 歴史書の成立の経緯や意義を理解し、取り組んでいる。 d: 登場人物について、人物像や相互の関係についての確にとらえている。 e: 漢文の句形を正しく理解し、口語訳している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	文学の読解を通して和歌を鑑賞する	教材： 【古文】 「源氏物語」 廃院の怪 車争ひ 「問題集」	○			◎	○	a: 物語を理解し、取り組んでいる。 d: 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e: 時代背景や古典常識、和歌の技法を理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査
	諸子百家を読み、思想を学ぶ	教材： 【漢文】 「思想」 孟子・老子・韓非子 「問題集」	○			◎	○	a: 諸子百家について調べ、その知識を授業に活かす。 d: 孔子・孟子の儒教の思想との関係や、老子・韓非子の思想を的確にとらえている。 e: 漢文の句形を正しく理解し、口語訳している。	a: 行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e: 小テスト及び定期考査

後期	歴史物語の構成と特色を理解する	教材： 【古文】 「大鏡」 三舟の才 道長と註子 「問題集」	○				◎	○	a: 歴史物語に興味をもち、 取り組んでいる。 d: 文法にしたがって文章 を正確に読み取り、人物 の言動や心情を捉える手 掛かりとしている。 e: 文章の構成やストー リーの展開を理解してい る。	a: 行動の観察及び記 述の点検 d: 記述の確認及び定 期考査 e: 小テスト及び定期 考査
	漢文の小説に親しむ	教材： 【漢文】 「人面桃花」 「問題集」	○				◎	○	a: 中国の小説を味わいな がら、文化の違いを感じる。 d: 内容についての的確にと らえている。 e: 漢文の句形を正しく理 解し、口語訳している。	a: 行動の観察及び記 述の点検 d: 記述の確認及び定 期考査 e: 小テスト及び定期 考査
	長文を読む	教材： 【古文】 「源氏物語」 女三の宮の降嫁 「大鏡」 鶯宿梅 「問題集」	○				◎	○	a: 作者や作品、成立時代に 興味をもって、取り組ん でいる。 d: 登場人物について、人物 像や相互の関係について 的確にとらえている。 e: 敬語の意味と用法を整理 して、口語訳ができてい る。	a: 行動の観察及び記 述の点検 d: 記述の確認及び定 期考査 e: 小テスト及び定期 考査
	評論を読む	教材： 【古文】 「無名草子」 「無名抄」 「問題集」	○				◎	○	a: 古典における評論を知 り、理解しようとする。 d: : 考えの進め方や文章の 筋道を的確にとらえてい る。 e: 当時の文化や人々の考 え方を的確にとらえてい る。	a: 行動の観察及び記 述の点検 d: 記述の確認及び定 期考査 e: 小テスト及び定期 考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度

d: 読む能力

e: 知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「新詳世界史B」 (帝国書院)						
副教材等	アカデミア 世界史 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

歴史は繰り返す 繰り返すからこそ歴史である。
歴史に学び、現代の世界を読みとく。

2 学習の到達目標

歴史的思考力を高め、その法則性を感じ取る。
近現代史を深く学習することによってグローバル化してきた世界を読み取る。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、国際関係の発展と現代世界に積極的に関与する姿勢。	世界が抱えてきた諸問題を理解し歴史的にどのような方法で乗り越えてきたを考え、現代世界に対応する思考。	諸資料や年表、国際関係の構図を理解しまとめる、また発表等によって自己の考えをまとめていく。	歴史的事象とその関連性を把握し、現代世界が抱える諸問題にアプローチする。
評 価 方 法	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 グループ発表	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 グループ発表	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	文明の始まり	文明の始まり	○	○	○	○	a:各地の気候風土を理解している b:気候風土がもたらす影響について考察している c:気候風土についてまとめている d:現代とのつながりを考えている。	ワークシート
	ユーラシアの諸文明と交流	ユーラシアの諸文明の特質 ユーラシアの交流	○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ユーラシア各地の文明について関心を高めている。 b:ユーラシア諸文明の交流をグローバルな視点で考察している。 c:資料、芸術品等から諸文明の特質をまとめていく。 d:古代文明と今につながるものを把握している。	定期考査
	むすびつく世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の一体化 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成 [主題学習] ・日本と世界の動きについてグループごとにテーマを設定しまとめていく	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ヨーロッパ世界の世界進出により諸地域に及ぼした影響を考え関心を高めている。 b:世界のつながりによる経済活動と各国の政治活動について特徴を捉えている。 c:地域別の活動を理解し、どういう経緯で融合していくかをまとめている。 d:主権国家の概念と現在の国家との比較をおこない、その違いについて理解を深めている。	定期考査 グループ作業 ワークシート

	19世紀の世界の一体化と日本	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命と工業化社会の成立 アメリカ独立戦争 フランス革命とナポレオン戦争 ウィーン体制とその崩壊 ヨーロッパ国民国家の発展 アジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動 東アジアの変容と日本の近代化 	○		○	○	<p>a: 産業革命による工業化がもたらす新たな世界秩序について理解を深め、現代世界との関連性に関心を高めている。</p> <p>b: 19世紀における植民地の意味とその構造を政治面と絡めて考察している。</p> <p>c: ヨーロッパ列強の進出による諸地域での変化、もたらしたものと失ったものを整理している。</p> <p>d: 世界の潮流と日本の変化の関係について、政治、経済、文化面から確認している。</p>	定期考査 実力考査 グループ作業
	二つの世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 激変する社会と帝国主義 第一次世界大戦とロシア革命 戦間期のヨーロッパとアメリカ 民族運動のたかまり 第二次世界大戦 	○	○	○	○	<p>a: 政治的、思想的対立と国家形成について理解を深め、現代の国際関係との関連性に留意している。</p> <p>b: 人類史上最悪の世界戦争に対して、どのような知恵をもって対処し平和を維持するかを思考している。</p> <p>c: 政治、経済的な共通点を整理し、各国の形態をまとめて分類している。</p> <p>d: 国際社会での日本の立ち居地、対応について確認しその内容を理解している。</p>	
後期	第二次世界大戦後の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 冷たい戦争 アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 多極化の進展と冷戦体制の崩壊 現代の社会 	○	○	○	○	<p>a: 第二次世界大戦後の諸地域の変化と現在まで続く課題について理解している。</p> <p>b: 現代の政治、経済の構造について第二次世界大戦後の変化を捉え、その内容について考察している。</p> <p>c: 具体的なデータをもとに国際社会の経年変化を捉え、冷戦時代とその後の変化をまとめている。</p> <p>D: 第2次世界大戦後の基本的な事件や現象を身につけ現代世界の成り立ちを理解している。</p>	定期考査 実力考査

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	4単位	年次	2, 3年次
使用教科書	世界史B (東京書籍出版)						
副教材等	アカデミア世界史 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

歴史は繰り返す 繰り返すからこそ歴史である。
歴史に学び、現代の世界を読みとく。

2 学習の到達目標

歴史的思考力を高め、その法則性を感じ取る。
人類の営みを古代から学習し、繰り返されてきたグローバル化の特徴を理解し世界を読み取る。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、国際関係の発展と現代世界に積極的に関与する姿勢。	世界が抱えてきた諸問題を理解し歴史的にどのような方法で乗り越えてきたを考え、現代世界に対応する思考。	諸資料や年表、国際関係の構図を理解しまとめる、また発表等によって自己の考えをまとめていく。	歴史的事象とその関連性を把握し、現代世界が抱える諸問題にアプローチする。
評 価 方 法	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 グループ発表	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 グループ発表	定期考査 ワークシート 〔主題学習〕 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
二年次(前期)	さまざまな地域世界	<ul style="list-style-type: none"> ・文明以前の人類 ・オリエント世界と東地中海世界 ・地中海世界と西アジア ・東アジア世界 ・中央ユーラシア世界 ・東南アジア世界 ・アフリカ・オセアニア・古アメリカの地域世界 	○	○	○	○	a:各地の気候風土を理解し各地の文明について関心を高めている。 b: 諸文明の交流をグローバルな視点で考察している。 c: 資料、芸術品等から諸文明の特質をまとめている。 d: 古代文明と今につながるものを把握している。	ワークシート
	広域世界の形成と交流	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界の形成 ・ヨーロッパ世界の形成 ・東アジア世界の変容とモンゴル帝国 ・海域世界の発展と東南アジア 	○	○	○	○	a: 宗教と政治、国家との関係について関心を高めている b: 諸地域の国家と経済活動の関連性について思考を深めている。 c: 世界的な人、物の動きを地図にまとめるなど整理している。 d: 文明、文化についての知識が身につけており、その交流、移動について理解を深めている。	定期考査
二年次(後期)	一体化する世界	<ul style="list-style-type: none"> ・大交易時代 ・ユーラシア諸帝国の繁栄 ・近代のヨーロッパ ・欧米における工業化と国民国家の形成 [主題学習] <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界の動きについてグループごとにテーマを設定しまとめていく 	○	○	○	○	a: ヨーロッパ世界の世界進出により諸地域に及ぼした影響を考え関心を高めている。 b: 世界のつながりによる経済活動と各国の政治活動について特徴を捉えている。 c: 地域別の活動を理解し、どういった経緯で融合していくかをまとめている。 d: 主権国家の概念と現在の国家との比較をおこない、その違いについて理解を深めている。	定期考査 グループ作業 ワークシート

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	『改訂版 日本史A』（山川出版社）						
副教材等	『図説日本史通覧』（帝国書院）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・過去の一点一点が「現在」につながっていることを認識し、現代社会が直面する諸課題について主体的に考察し、より良い社会を構築する指針とする。
- ・これから世界をフィールドに活躍する際に、現在自分が生きる国の歴史や在り方について必要な知識と理解を持つことにより、他国や異なる文化を理解し、尊重する姿勢を養うことができる。
- ・歴史は実証的な学問である。つねに公正かつ客観的な視点を持ち、歴史的事象を多面的かつ多角的に捉えることができる柔軟な視点が必要である。
- ・近現代史を深く学習することにより、グローバル化した世界の状況を読み取る。

2 学習の到達目標

近現代史を中心とする日本の歴史の展開を、世界史や地理的条件と関連付けて考察することを通して歴史的思考力を培い、現代の日本と世界が直面する諸課題について深く考察し、グローバル化が進む現代において、平和で民主的な世界を構築するために国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国 家・社会を形成する国民としての責任を果たそうとする。	日本の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	近代国家と社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と東アジア ・近代国家の誕生 ・近代社会の形成 	○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	<p>a: 開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。</p> <p>b: 開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察している。</p> <p>c: 文献資料や写真、絵画資料から、日本の近代化の進展について諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取る。</p> <p>d: 開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	ワークシート
	二つの戦争と大日本帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・日清戦争と日露戦争 ・帝国形成期の社会 	○	○ ○	○ ○	○ ○	<p>a: 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行とそれに伴う社会問題の発生などに着目して、2つの戦争が関係する国の政治や経済、社会にもたらした変化を意欲的に追究している。</p> <p>b: 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生などに着目して、2つの戦争が起こった背景、経緯、国際情勢や国民意識に与えた影響について多面的・多角的に考察する。</p> <p>c: 様々な資料や写真、絵画、統計資料などから、当時の政治や社会の状況を示す情報を読み取る。</p> <p>d: 19世紀末から20世紀初頭にかけての近代史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	ワークシート 定期考査

<p>帝国とデモクラシー</p>	<p>・大正デモクラシー ・ヴェルサイユ体制とロシア革命</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○</p> <p>a: 第一次世界大戦前後の世界の動向やの日本の経済、社会について意欲的に調べ、日本の植民地の動向などを踏まえて1910年代の近代史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。</p> <p>b: 1910年代～20年代の社会運動の高まりについて、経済の動向やデモクラシーの風潮との関連づけて多面的・多角的に考察する。</p> <p>c: 様々な資料から、第一次世界大戦やその時期の日本や東アジアの状況、日本の国際的地位の変化を読み取る。</p> <p>d: 第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーの展開、日本の植民地の動向などの基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>
<p>デモクラシーの展開と帝国の変容</p>	<p>・都市化と市民文化 ・東アジアの情勢と恐慌</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○</p> <p>a: 大正デモクラシーの展開のなかでの大衆文化の形成と社会の変化、関東大震災とうち続く恐慌への対応など、1920年代の近代史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。</p> <p>b: 1920年代の政党政治について、普通選挙法と治安維持法の成立などを手がかりとして多面的・多角的に考察する。</p> <p>c: 文献資料や写真、絵画資料を分析し、当時の国際情勢や日本の政治、社会の様子を読み取る。</p> <p>d: 大正デモクラシーの展開から第二次護憲運動を経て政党内閣が「憲政の常道」となった背景を踏まえ、協調外交の行き詰まりなどを国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>ワークシート</p>

<p>アジアの戦争と第二次世界大戦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日中 15 年戦争 ・アジア太平洋戦争 	○	○	○	○	<p>a: 軍国主義が台頭する中、日本をめぐる国際情勢の変化について意欲的に調べ、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。</p> <p>b: 日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会における国民の反応などを通して、それらの事象が日本の政治や社会、経済に与えた影響について国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察する。</p> <p>c: 文献資料や写真、絵画資料を分析し、軍国主義台頭の背景や国民の反応、「大東亜共栄圏」の実態などを読み取る。</p> <p>d: 長期化する日中戦争と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向などについての基本的な事柄を国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>
<p>現代日本の潮流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後世界と日本 ・冷戦と日米安保体制 	○	○	○	○	<p>a: 国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革など 1950 年代までの戦後史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。</p> <p>b: 50 年代までの戦後史の展開から課題を見だし、戦後の国際秩序の特質について国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察する。</p> <p>c: ポツダム宣言や日本国憲法の制定に関する文献資料から、占領政策の特質や戦後の日本が掲げた理想などを読み取る。</p> <p>d: 国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50 年代の社会と文化など、50 年代までの戦後史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	<p>ワークシート 定期考査</p>

後期	冷戦中の経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長下の日本 ・経済大国 		○	○	○	<p>a: 冷戦体制の下、韓国や中国との国交正常化、沖縄返還と経済大国化と日米同盟など、80年代までの戦後史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。</p> <p>b: 1980年代までの戦後史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 文献資料・写真資料などから1980年代までの事象に関する諸資料を収集し、各地域の問題も踏まえながら、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、読み取る。</p> <p>d: 冷戦下での日本の国際社会へ復帰が政治、経済、外交にもたらした影響を踏まえ、現代の諸課題につながる基本的な事柄を国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	ワークシート
	現代の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・転換した世界のしくみ ・現代日本の課題 	○	○	○	○	<p>a: 冷戦体制と55年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして21世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。</p> <p>b: 現代の諸課題を、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 現代の諸課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取る。</p> <p>d: 冷戦体制と55年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして21世紀に入ってからの日本の政治・経済・社会の動向についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	ワークシート 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度
c:技能

b:思考・判断・表現
d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4単位	年次	2・3年次
使用教科書	『詳説日本史B』（改訂版）（山川出版社）						
副教材等	『図説日本史通覧』（帝国書院）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・過去の一点一点が「現在」につながっていることを認識し、現代社会が直面する諸課題について主体的に考察し、より良い社会を構築するヒントとする。
- ・これから世界をフィールドに活躍する際に、現在自分が生きる国の歴史や在り方について必要な知識と理解を持つことにより、他国や異なる文化を理解し、尊重する姿勢を養うことができる。
- ・歴史は実証的な学問である。つねに公正かつ客観的な視点を持ち、歴史的事象を多面的かつ多角的に捉えることができる柔軟な視点が必要である。

2 学習の到達目標

私たちが生きる日本の歴史の展開を、世界の歴史や地理的な諸条件と関連づけて、諸資料に基づき客観的かつ公正に考察させるとともに、日本の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力および判断力を培い、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、地域社会や異文化の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に考察しようとする。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史に関する諸資料から有用な情報を活用して探求し、自身の考えを論述したり、図表にまとめたりしている。	日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期(二年次)	日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> 文化の始まり 農耕社会の成立 古墳と大和政権 	○	○	○	○	<p>a:時代ごとの社会や文化の特色を自然環境の変化や大陸との影響に着目してとらえることができる。</p> <p>b:東アジア世界との交流と社会の変化の過程を関連づけて考察する。</p> <p>c:文献資料や考古資料から客観的かつ多角的に情報を読み取ることができる。</p> <p>d:国家形成にいたるまでの基本的な知識を身に付け、その過程を理解する。</p>	ワークシート
	律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> 飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成 	○	○	○	○	<p>a:律令国家が形成されるまでの過程と地方支配の動揺について多面的・多角的に考察する。</p> <p>b:政権運営や文化の形成について、大陸との交流や仏教の需要を踏まえて考察する。</p> <p>c:文献資料を基に政治抗争の進展と土地制度の変容を読み取ることができる。</p> <p>d:律令に基づく政治体制や諸制度、国家仏教の興隆によりもたらされた仏教文化の持つ特色について基本的な知識を身に付ける。</p>	ワークシート
	貴族政治と国風文化	<ul style="list-style-type: none"> 摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士 	○	○	○	○	<p>a:律令体制の変容や国際関係の変化、荘園の展開を踏まえて政治運営や武士の台頭を考察する。</p> <p>b:藤原氏の権力掌握の過程と武士の成長や反乱などから中世社会の萌芽を見いだす。</p> <p>c:文献資料を活用し、地方支配の変質を客観的に読み取ることができる。</p> <p>d:貴族を中心とする政治や社会の在り方と貴族の生活・文化を理解する。</p>	定期考査 ワークシート

後期（二年次）	中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・院政と平氏の台頭 ・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化 	○	○	○	○	<p>a:政治の動向、対外関係、経済や社会への政権の対応を踏まえて、武家政権の成立と変容について考察する。</p> <p>b:武家政権の成立過程およびその変容について、社会の変化を踏まえて多角的、客観的に考察する。</p> <p>c:絵画資料や文献資料を読解し、武士の生活や土地支配をめぐる地頭と荘園領主との紛争、仏教の新たな展開を読み取る。</p> <p>d:院政の政治構造、武家政権の成立過程および封建制度の成立などについて基本的な知識を身に付ける。</p>	ワークシート
	武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場 	○	○	○	○	<p>a:庶民文芸の流行、戦乱の中で中央と地方の文化的交流の活発化を踏まえて、現代につながる地域文化の特色について考察する。</p> <p>b:南北朝の動乱、室町幕府の成立、応仁の乱、戦国大名の登場にいたるまでの過程を、社会の変容を踏まえて考察する。</p> <p>c:文献資料や絵画資料から東アジア世界との貿易や一揆の発生などが幕府や社会に与えた影響を読み取る。</p> <p>d:諸産業の発達による中世社会の多様な展開や都市の発達を踏まえて、戦国期の日本の多様性を理解し、基本的な知識を身に付ける。</p>	定期考査 ワークシート
前期（三年次）	幕藩体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権 ・桃山文化 ・幕藩体制の成立 ・幕藩社会の構造 	○	○	○	○	<p>a:世界史的な背景を踏まえて、織豊政権、幕藩体制確立過程および確立期の経済・社会を多角的に考察する。</p> <p>b:ヨーロッパや東アジアの動向、兵農分離策を踏まえて織豊政権の特色や意義、次の幕藩体制につながる影響を考察する。</p> <p>c:文献資料や絵画資料から、政策の内容や意図を読み取る。</p> <p>d:桃山文化の特色や幕藩体制下の支配体制、特質などについて基本的な知識を身に付ける。</p>	ワークシート

幕藩体制の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 	○	○	○	○	<p>a:幕政の安定期について、諸産業の発展やその社会的役割を踏まえ、平和と秩序の確立の視点から考察する。</p> <p>b:文治政治の転換から元禄文化について、町人の経済的繁栄を踏まえ、社会の変化と関連させて考察する。</p> <p>c:文献資料や絵画資料から諸産業および経済の発達、それに対する諸政策の内容や意図を読み取る。</p> <p>d:諸産業や経済の発展を踏まえ、安定期の幕政の諸政策について理解する。</p>	ワークシート
幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化 	○	○	○	○	<p>a:幕藩体制が動揺する中、行われた諸改革および近代化の基盤形成について、産業経済面や軍事面から考察する。</p> <p>b:国際情勢の変化やそれに対する幕政の対応を踏まえて、幕府の衰退と雄藩の出現過程を考察する。</p> <p>c:文献資料・絵画資料などから幕府や諸藩の諸政策の内容やその意図、化政文化における近代化への萌芽を読み取る。</p> <p>d:列強の接近に伴う対応や社会の変容を踏まえた、諸改革の内容を理解する。</p>	定期考査 ワークシート
近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 	○	○	○	○	<p>a:東アジアをめぐる国際環境が変容する中、新政府の制度改革や経済政策などに着目して近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。</p> <p>b:国家的統一がなされる中、国家的課題であった条約改正交渉が進展した過程や開戦に至る経緯について諸外国の動向と関連づけて考察する。</p> <p>c:文献資料などから政府の諸政策の内容およびその意図、社会的影響などを読み取る。</p> <p>d:国際化の中で進められた近代国家の政治・社会・経済の発展について、問題点も含めて客観的に理解する。</p>	ワークシート

	二つの世界大戦とアジア	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 	○	○	○	○	<p>a: 国際社会における第一次世界大戦前後の政治の動向や社会運動の動向について関心を持ち、政党内閣の成立などと関連付けて考察する。</p> <p>b: 国際環境の推移を踏まえ、政府の国内・対外政策について日本の立場に着目して考察する。</p> <p>c: 文献資料などから政府当時の国際情勢と日本政府の動向を客観的に読み取る。</p> <p>d: 第一次世界大戦が日本の社会や経済にもたらした影響についてその内容もふくめて客観的な知識を身に付けている。</p>	定期考査 ワークシート
後期(三年次)		<ul style="list-style-type: none"> ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 	○	○	○	○	<p>a: 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。</p> <p>b: 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について客観的に考察する。</p> <p>c: 文献資料などから政府当時の国際情勢と政府の対応について客観的に読み取る。</p> <p>d: 恐慌などの経済的事象や大戦についての基本的な知識を身に付け、客観的にかつ公正に理解する</p>	ワークシート
	占領下の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 	○	○	○	○	<p>a: 連合国による日本占領の終結とその後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。戦後政治の動きを踏まえて、日本国憲法制定の意義を理解する。</p> <p>b: 戦後の世界秩序と東アジア情勢の変化を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革の経緯と内容、日本が独立した意義について客観的に考察する。</p> <p>c: 文献資料などから、諸政策の内容や意図を読み取る。</p> <p>d: 戦後の占領政策や冷戦の開始と講和について客観的な知識を身に付け、理解する。</p>	ワークシート

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校新地理A（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	初訂版最新地理図表 GEO（第一学習社） 地理統計要覧（二宮書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・地図帳を有効に使い、地図という観点から学習する。
- ・自然環境と人々の生活を関連付ける。
- ・日本と世界の地域の異質性、共通性に着目する。

2 学習の到達目標

- ・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察することができる。
- ・現代世界の地理的認識を養い、地理的な見方や考え方を身に付ける。
- ・地理的認識、思考力を身に付け、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代世界の地理的な諸課題や地域性について、関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。	現代世界を世界や日本という多角的な視野からとらえ、思考、判断、表現することができる。	地図で表現されている特徴を読み取り、有用な情報を白地図などにまとめたり、統計地図を使ったりすることができる。	現代世界の地理的な諸課題を歴史的な背景や日常生活と関連させながら理解することができる。
評 価 方 法	定期考査 提出物等	定期考査 提出物等	定期考査 提出物等	定期考査 提出物等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	・地球儀や地図でとらえる現代世界	・地球上の位置と国家 ・グローバル化が進む世界	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 世界的視野から現代世界を捉えようとしている。 b: 世界における日本の位置や現状と動向を判断できる c: 地図の比較、読図ができる。 d: 主題図などから世界の諸事象を理解できる。	定期考査 提出物等
	・世界の人々の生活をとりまく地理的環境	・人々の生活と地形 ・人々の生活と気候 ・人々の生活と産業・文化	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a: 世界の諸地域の多様性を受け入れる態度をやしなう。 b: 環境・生活・宗教のかかわりを考察できる c: 世界の諸地域に関する、気温図や主題図から地理的な特徴を読み取ることができる。 d: 日本との共通性や異質性を理解できる。	定期考査 提出物等
後期	・世界の諸地域の生活・文化	・アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	○	○	○	○	a: 持続可能な社会の実現を目指す態度をやしなう。 b: 地球的課題を地球のおよび地域的視野からとらえ、考察できる。 c: 地球的課題に関する資料を的確に読み取る技能を身に付ける。 d: 地球的課題が地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解できる。	定期考査 提出物等
	・地域的課題と私たち	・環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 持続可能な社会の実現を目指す態度をやしなう。 b: 地球的課題を地球のおよび地域的視野からとらえ、考察できる。 c: 地球的課題に関する資料を的確に読み取る技能を身に付ける。 d: 地球的課題が地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解できる。	定期考査 提出物等
	・身近な地域の課題	・さまざまな地図 ・日本の自然環境と防災 ・身近な地域の課題と地域調査	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 日常生活と結びついた地理的な見方や考え方を身に付けようという態度がある。 b: 国内の自然災害について、その地域性をふまえた対応を考	定期考査 提出物等

令和2年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	4単位	年次	2・3年次
使用教科書	新詳地理B（帝国書院） 標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	初訂版最新地理図表GEO（第一学習社） 地理統計要覧（二宮書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学校における社会科の学習をもとに、教科書・地図帳・資料集・統計も活用しながら学習をすすめます。特に地理の学習においては「どこに、なにが、なぜ分布しているのか」を踏まえて考察を深めることが求められます。したがって特に地図帳は重要な学習ツールとなります。常に地図帳を横に置き学習をすすめていきましょう。

2 学習の到達目標

- ・現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察する。
- ・地理的な技能を身につけ、自分の生活する地域や社会への理解を深める。
- ・現代世界の諸課題を認識するとともに、主体的に社会に関わろうとする意欲をもつ。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代世界の地理的事象を系統地理的に、また現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地理的に考察し、現代世界への地理的認識や地理的見方・考え方に関する関心と課題意識を高める。	現代世界の地理的事象から課題を見い出し、それを系統地理的に、また歴史的背景を踏まえて地誌的に考察するとともに、社会の変化を踏まえて公正に判断しようとする。	地図や統計、画像等の諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することを通して、地理情報や地図の活用に関する技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解する。 ・現代世界に関する地理的認識や地理的な見方・考え方を理解する。
評 価 方 法	提出物等	定期考査 提出物等	定期考査 提出物等	定期考査 提出物等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2年前期	地図と地理的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の発達 ・地図の種類とその利用 ・地理情報の地図化 ・地図の活用と地域調査 	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	<p>a: 地図の有用性に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>b: 地理情報を地図化するにあたり、どのような表現方法を用いれば適切な地図がつかれるかを考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c: 地理情報を地図化する際、情報の特性に応じて地図の形態を使い分け、適切な統計地図を用いることができる。</p> <p>d: 球体としての地球の特徴と位置を地球儀に表示する方法、これを地図に表現した場合の各図法の長所短所を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査 提出物等
	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題 	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	<p>a: 世界と日本の環境問題の原因、影響、対策に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>b: 世界と日本の環境問題の原因、影響、対策について、自然環境の学習内容などと関連付けて多面的・多角的に考察し、特徴や地域的な分布、今後の課題などについて適切にまとめ、表現できる。</p> <p>c: 写真、地形図、雨温図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。</p> <p>d: 世界の地形や気候について、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識をみに着けている。</p>	定期考査 提出物等

2年後期	資源と産業	<ul style="list-style-type: none"> 世界の農林水産業 食料問題 	○	○	○	○	<p>a: 発展途上国や先進国及び日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。</p> <p>b: 発展途上国や先進国及び日本の食料問題の状況とその成因を系統地理的にとらえる視点や考察方法を考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c: 農林水産業の生産や分布の特徴に関する諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について適切に読み取ることができる。</p> <p>d: 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査 提出物等
		<ul style="list-style-type: none"> エネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 	○	○	○	○	<p>a: 資源・エネルギー問題について、生産・消費の不均衡をはじめとする問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。</p> <p>b: 資源・エネルギー問題について、生産と消費の不均衡や利用法の課題、石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c: エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。</p> <p>d: 世界のエネルギー・鉱産資源について、その種類や分布、主な利用法などを理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査 提出物等

		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の工業 ・第3次産業 ・世界を結ぶ交通・通信 ・現代世界の貿易と経済圏 	○	○	○	○	<p>a: 第3次産業について、近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。</p> <p>b: 工業の立地や発達に影響を及ぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c: 工業生産や商業、サービス業の動向に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、特徴や課題について読み取ることができる。</p> <p>d: 工業、商業、サービス業の発展過程や種類、立地とその変化、現状と課題を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査 提出物等
3 年前期	人口 村落 ・都市	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人口 ・人口問題 ・村落と都市 ・都市・居住問題 	○	○	○	○	<p>a: 発展途上国と先進国のそれぞれについて、人口問題・都市問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。</p> <p>b: 世界の人口問題・都市問題について、それぞれの課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c: 人口ピラミッド、都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、特徴や課題について読み取ることができる。</p> <p>d: 世界人口の分布と動態、人口構成の特色と人口転換のしくみ、村落と都市の立地条件や、発達の背景・機能などを理解し、その知識を身につける。</p>	定期考査 提出物等

	生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の衣食住 ・民族と宗教 ・現代世界の国家 ・民族・領土問題 	○	○		○	<p>a:世界の衣食住の地域的差異、民族と宗教の分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとする。</p> <p>b:世界の衣食住について、地域的差異の背景、その変化と世界的な画一化の要因を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c:民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。</p> <p>d:国境と領域のきまり、さまざまな国家の分類などを理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査提出物等
3年後期	現代世界の地誌的考察	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア、東南アジア、南アジア、ヨーロッパ (形式的区分) ・ロシア(自然環境による区分) ・アングロアメリカ (文化による区分) 	○		○	○	<p>a:各地域の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>b:各地域の地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c:各地域の産業・文化・民族・歴史などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、各地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。</p> <p>d:各地域を構成する様々な事象を産業・文化・民族・歴史などの項目ごと整理して、その特色や課題を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査提出物等

	<ul style="list-style-type: none"> ・ラテンアメリカ (文化による区分) ・オセアニア(形式的な区分) 	○	○	○	○	<p>a: 各地域の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>b: 各地域の地域的特色や地球的課題を、特徴ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c: 各地域の産業・文化・民族・歴史などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、各地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。</p> <p>d: 各地域を構成する様々な事象を特徴ある事象と他の事象を有機的に関連づけて、その特色や課題を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査提出物等
	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアと中央アジア(自然環境による地域区分) ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ(文化による地域区分) 	○	○	○	○	<p>a: 各地域の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>b: 各地域の地域的特色や地球的課題を、類似的または対照的な性格の2つの地域を比較して考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>c: 各地域の産業・文化・民族・歴史などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、各地域の特徴や近年の動向について読み取ることができる。</p> <p>d: 各地域の対照的または類似的な性格の2つの地域を比較して、その特色や課題を理解し、その知識を身につけている。</p>	定期考査提出物等

2 地理歴史・公民

学校番号	2002
------	------

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「現代社会」 (東京書籍)						
副教材等	「フォーラム 現代社会」 (東京法令出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・探究心を持って、学習にのぞむ。 ・学習内容が、自らの生活、社会観につながっていることを意識し考える。 ・学習を通し、自らの生きかたを創造するとともに、未来の社会を形成する一員であることを考える。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立ち、現代の社会と人間についての理解を深めさせる。 ・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方、生きか方について考察する力の基礎を養う ・良識ある現代人として必要な能力と態度を育てる

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方、生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的現象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方、生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	定期考査 課題提出 意見の発表等	定期考査 課題提出	定期考査 課題提出等 資料集の活用度 新聞、ニュース等の活用度	定期考査 課題提出等 まとめ学習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	青年期と自己の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期のあり方と現代 ・現代に生きる倫理 ・近・現代の社会と倫理 ・日本の思想 	○			○	<p>a: 青年期とはどのような時期であり、その特徴と課題について理解し、学ぶ意欲がある。</p> <p>b: 哲学者や宗教が求めたテーマについて、多面的・多角的に考察している。</p> <p>c: 哲学者、宗教に関連する資料を読み解きその相違を確認し、まとめている。</p> <p>d: 西洋思想、日本の思想、宗教の基本的な知識を理解している。</p>	定期考査 課題提出等
	日本国憲法と現代日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・民主社会の成立と憲法 ・日本国憲法の成立と基本的人権の保障 ・憲法と平和主義 ・現代日本の政治機構と政治参加 	○			○	<p>a: 民主社会の成立と憲法について、その仕組みや関係について興味・関心を持っている。</p> <p>b: 日本国憲法の成立とその内容やあり方について考察している。</p> <p>c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を考察、選択し、図表などにまとめている。</p> <p>d: 現代日本の政治機構（国会・内閣・裁判所・地方自治）の役割と仕組みについて基本的な知識を習得し、政治参加への必要を理解している。</p>	定期考査 課題提出
	国際政治と現代の国際社会	<ul style="list-style-type: none"> ・国際政治とその仕組み ・現代の国際社会と日本 	○			○	<p>a: 国際社会の成立と国際法の仕組みについて興味・関心を持っている。</p> <p>b: 現代の紛争について、その原因と解決を考察している。</p> <p>c: 国際社会における諸課題について、有用な情報を考察、選択し、図表にまとめている。</p> <p>d: 国際連合の役割と仕組み、課題について考察し、理解している。また、現代世界の政治動向について知識を深めている。</p>	定期考査 課題提出等

後期	現代の経済 ①	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会とその仕組み ・経済活動のあり方 	○			○	<p>a: 市場経済の仕組みを理解する過程で、日常生活との関連性について興味・関心を持っている。</p> <p>b: 「経済成長と景気変動」について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に理解し、「国」レベルで理解する。また、「金融とその働き」、「財政とその働き」について、仕組みと過程、結果について、動的に把握している。</p> <p>c: 経済社会における諸課題について、有用な情報を考察、選択し、図表にまとめている。</p> <p>d: 「日本経済のあゆみ」、「現代の企業の責任と課題」について知識、理解を深め、社会的レベルで把握している。</p>	定期考査 課題提出等
	現代の経済 ②	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済と日本 	○	○	○	○	<p>a: 国際経済の基本的な仕組みを理解し、日本経済との関連性について興味・関心を持っている。</p> <p>B: 国際経済における諸課題について考察している。</p> <p>c: 国際経済の現状と日本への影響について、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択し、図表などにまとめている。</p> <p>d: 世界の貧困と国際協力について知識を深め、問題解決の必要性について理解している。</p>	定期考査 課題提出等
	現代における諸課題	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の今日的課題 ・地球環境問題 ・資源、エネルギー ・人口と食料 ・科学技術と生命倫理 ・高度情報社会と現代の課題 ・人口減少社会と高齢化 	○	○	○	○	<p>a. 課題の設定が適切であり、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>b. 調査方法、資料収集が適切である。また、単なる模倣ではなく、主旨を明確にしている。</p> <p>c. 資料を多面的・多角的に考察している。</p> <p>d. 設定した課題への理解が深まっている。</p>	定期考査 課題提出等

※ 表中の観点について；

a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現 c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	2単位	年次	2,3年次
使用教科書	「高校倫理 新訂版」 (実教出版)						
副教材等	「アプローチ 倫理資料」 (東京法令出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・思想や宗教の学習においては、自らの生き方、在り方への関心を高めると同時に、他者とともに生きるという視点が必要である。
- ・自己の人格形成と、よりよい社会のあり方を探ることを通してよき公民としての資質を養うことが大切である。
- ・先哲の思想を学ぶことは、同時に現代の問題にかかわるという視点が肝要である。

2 学習の到達目標

- ・青年期の意義や課題を理解して、主体的に自己の人格形成に努め、社会における自己の役割を自覚させる。
- ・先哲の考え方、生き方を手がかりにさまざまな価値を学ぶことを通して、よりよい自己、よりよい社会を主体的に探究することの意義を自覚させる。
- ・国際社会の中での日本人としての自覚を促し、日本の伝統文化の一端に触れさせる。
- ・現代社会が抱える諸課題に主体的にかかわり、倫理的かつ論理的な思考を駆使してその問題の解決策を探究する資質を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の社会と人間にかかわる事項に対する関心を深め、意欲的に課題を追求するとともによりよい社会の実現に向けて参加し、人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	さまざまな思想、価値観、世界観、人生観に触れることで、自己の生き方・在り方を主体的に選択し、かつ異なった価値観を理解しようとする。	資料集の活用など適切な情報収集の技能を身につけ、異なった価値観を排斥するのではなく、理解し、民主的な合意形成をめざす。	古今東西のさまざまなものの見方考え方を理解し、現代社会が抱える倫理的課題に主体的にかかわる。
評 価 方 法	定期考査 授業での観察 レポート	定期考査 定期考査内での 自由論述	定期考査 授業での観察 レポート	定期考査 授業での観察 レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	現代に生きる自己の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義 ・自己の理解 ・豊かな自己実現 	○	○	○	○	a: 青年期における自己形成の意義を理解し、主体的に取り組む。 b: 人間尊重の精神に基づいて自己の在り方を考える。 c: 他者とともに生きるという視点で、情報を積極的に活用する。 d: 現代の倫理的課題に関心を持つ。	定期考査 授業観察 レポート
	人間としての在り方生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・人生における哲学 ・人生における宗教 ・人生の知恵 ・人生における芸術 	○	○	○	○	a: 人間の存在や価値への思索を深める。 b: 人生における哲学や宗教の持つ意義について学び、自己の人生観、社会観の形成に生かす。 c: さまざまな視点の存在を知ることによって民主的な合意形成に資する。 d: 現代の諸課題を先哲の思想に照らして考える。	定期考査 授業観察 レポート
後期	国際社会に生きる日本人の自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土と伝統 ・日本人の自然観、人間観、宗教観 ・外来思想の受容 	○	○	○	○	a: 日本人としての自覚に基づいて日本の伝統を振り返る。 b: さまざまな思想家、宗教家の考え方を深める。 c: 国際社会の中での日本人の役割を考える。 d: 現代日本が抱える問題を日本の伝統に即して考える。	定期考査 授業観察 レポート
	現代と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・現代に生きる人間の倫理 ・現代の諸課題と倫理 	○	○	○	○	a: 人間の尊厳と生命への畏敬についての理解を深める。 b: 民主社会における他者との共生を理解する。 c: 科学技術の進歩と人間や社会の在り方を考える。 d: 諸課題についての理解を深める。	定期考査 授業観察 レポート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度
c: 技能

b: 思考・判断・表現
d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	2単位	年次	2・3年次
使用教科書	高等学校 改訂版 政治・経済 (第一学習社)						
副教材等	政治・経済資料 (東京法令出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・授業はプリントを中心にすすめていく。
- ・グループワーク等も行っていくので積極的に授業に参加すること。
- ・ファイルを購入し、プリントの整理をすること。詳しくは初回に指示する。

2 学習の到達目標

- ・民主主義の本質に関する理解を深めることができる。
- ・現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解することができる。
- ・現在の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	現代の社会にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を示すことができる。	現代の社会にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質について多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。	現代の社会にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができる。	現代の社会的事象にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評 価 方 法	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2年次前期	現代の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本的性格 ・日本の政治機構 ・現代日本の政治 	○	○	○	○	a: 民主政治のあり方について関心を高めている。 b: 日本国憲法の現在のあり方について考察している。 c: 新聞等の資料から現代の政治の特質をまとめている。 d: 日本の統治機構と日常生活をつなげるものとして把握している。	定期考査 ワークシート
2年次後期～3年次前期	現代の政治・現代の経済	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際政治 ・現代の国際政治 ・経済社会の変容 ・現代経済のしくみ ・現代経済と福祉の向上 	○	○	○	○	a: 国際社会におけるわが国のあり方について関心を高めている b: 日常生活と経済活動の関連性について思考を深めている。 c: 株や為替の動きについて、新聞などの資料をもとにまとめるなど整理している。 d: 財政政策や金融政策、国民経済計算などについて理解を深めている。	定期考査 ワークシート
3年後期	現代の経済・現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界経済と日本 [主題学習] ・地域社会の変貌と住民生活 ・雇用と労働をめぐる問題 ・これからの社会保障のあり方 ・国際経済格差の是正と国際協力 	○	○	○	○	a: わが国と世界経済との関連性について関心を高めている。 b: 労働や社会保障制度について、自らの将来と関連付けて思考を深めている。 c: 地域社会の活動を理解し、その特色をまとめている。 d: 世界経済の格差の現状やその原因について理解を深めている。	定期考査 ワークシート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 数学科

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	「改訂版 高等学校 数学 I」 (数研出版)						
副教材等	サクシード数学 I・A (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

日々の授業をしっかりと理解し、例題・練習だけでなく、章末問題までしっかりと取り組みましょう。復習は傍用問題集でより深い理解をめざそう。
1年間しっかりと取り組んでください。

2 学習の到達目標

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に関心を持つとともに、数学の考察力の良さを認識し、それらをいろいろな事象の考察に活用し判断しようとする。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において事象を数学的に考察したり表現したり思考の過程を振り返り多面的、発展的に考えることを通して数学的な見方・考え方を身につけている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において事象を数学的に表現、処理する仕方や推論の方法等の技能を身につけている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、基本的な知識を身につけている。
評 価 方 法	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方を身につけそれらをいろいろな事象の考察に活用できるか、判断できるかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において数学的な見方、考え方が身につけているかどうかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において数学的に表現し、処理する方法等の技能が身につけているかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な概念・原理・法則を理解し、基本的な知識を身につけているかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	内容	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	数と式	式の計算	1. 整式の加法と減法			○	○	a:数と式における考え方に関心を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 b:数と式において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に着けている。 c:数と式において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d:数と式における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 傍用問題集のレポート 観察等 確認テスト 単元テスト 傍用問題集のレポート 観察等
			2. 整式の乗法			○	○		
			3. 因数分解 発展 3次式の展開と因数分解	○		○	○		
		実数	4. 実数 研究 数直線上の2点間の距離	○		○			
			5. 根号を含む式の計算 発展 2重根号		○		○		
			6. 1次不等式			○	○		
	1次不等式	7. 1次不等式の利用	○		○				
		8. 絶対値を含む方程式・不等式 研究 絶対値と場合分け	○		○				
		集合と命題	1. 集合 研究 3つの集合の共通部分と和集合		○	○	○		
	2. 命題と条件			○	○	○			
3. 命題と証明 研究 $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 発展 「すべて」と「ある」の否定	○				○				

後期	2 次 関 数	2 次 関 数 と グ ラ フ	1. 関数とグラフ		○		○	a:2次関数における考え方に 関心を持つとともに数学の良 さを認識し、それらを事象の考 察に活用して数学的な考え方 に基づいて判断しようとする。 b:2次関数において、事象を数 学的に考察し表現したり、思考 の過程を振り返り多面的・発展 的に考えたりすることなどを 通して、数学的な見方や考え方 を身に着けている。 c:2次関数において、事象を数 学的に表現・処理する仕方や推 論の方法などの技能を身に付 けている。 d:2次関数における基本的な概 念、原理・法則などを体系的に 理解し、基礎的な知識を身に付 けている。	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート 観察等
			2. 2次関数のグラフ 研究 グラフの平行移動 研究 グラフの対称移動	○	○		○		
		2 時 間 数 の 値 の 変 化	3. 2次関数の最大・最小			○	○		
			4. 2次関数の決定			○	○		
	n 次 方 程 式 と n 次 不 等 式	5. 2次方程式				○	○		
		6. 2次関数のグラフとx軸の 位置関係 発展 放物線と直線の共有点			○		○		
		7. 2次不等式 研究 絶対値を含む関数のグ ラフ	○	○					
	図 形 と 計 量	三 角 比	1. 三角比	○			○		
			2. 三角比の相互関係			○	○		
			3. 三角比の拡張				○		
三 角 形 へ の 応 用		4. 正弦定理			○		○		
		5. 余弦定理			○		○		
		6. 正弦定理と余弦定理の応 用	○			○			
		7. 三角形の面積 発展 ヘロンの公式 8. 空間図形への応用 研究 正四面体の体積					○		

令和2年度 数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3単位 (4コマ)	年次	2年次
使用教科書	「数学Ⅱ」 (数研出版)						
副教材等	サクシード数学Ⅱ・B (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

1年で学んだ数学Ⅰと数学Aを基本にして、発展的内容である数学Ⅱを学ぶ。文系に進む生徒にも理系に進む生徒にも進路の要となる科目である。難易度は高いが、数学の系統性や科学性の美しさが表れている。特に高校数学の華である、微分積分の意味や意義を存分に味わって欲しい。

2 学習の到達目標

式と証明では、中学校で習った証明より一段高いレベルの論理の展開や論証の仕方を学ぶ。複素数と方程式に関しては、初めての概念なので数学Ⅰでの学習を基礎として、新しい数の集合について知識をひろげ、高次方程式の解法を学ぶ。図形と方程式についても、中学で学んだ直線の方程式に、円の方程式をからめ、さらに軌跡の問題、不等式の領域の問題についても、触れる。三角関数は数学Ⅰの三角比を発展として、関数的とらえ方を学ばせる。日常の交流電流や、建築物に三角関数が生きていることにも触れたい。指数や対数についても非常に大きな数を天文学で扱ったり、分子や原子の世界で非常に小さい数字を扱う必要性から学問が発達したことを伝えたい。微分積分については、その体系の美しさと、実用に役立つ分野であることを意識させながら指導したい。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分のもつ系統性・科学性の美しさを認識させ、それらに関心をもたせる。さらにその考え方を活用して判断する態度を養う。	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分において、事象を数学的に表現したり、思考の過程を振り返ったりしながら事象を発展的総合的に考えることによって数学的な思考・判断を身につける。	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分において、事象を数学的に処理したり表現したりする方法等の技能を身につける。	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分において、基本的な概念・原理・法則を系統性・科学性にてらして理解し、基本的な知識を身につける。
評 価 方 法	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分における考え方を身につけそれらをいろいろな事象の考察に活用できるか、判断できるかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分において数学的な見方、考え方が身につけているかどうかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分において数学的に表現し、処理する方法等の技能が身につけているかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	いろいろな式、図形と方程式、指数・対数・三角関数及び微分・積分における基本的な概念・原理・法則を理解し、基本的な知識を身につけているかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	式と証明	1. 3次式の展開と因数分解	○		○		<p>a:式と証明における考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</p> <p>b:式と証明において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に着けている。</p> <p>c:式と証明において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>d:式と証明における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。</p>	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観察等
		2.二項定理	○		○			
		研究 ($a + b + c$) ⁿ の展開式		○	○			
		3. 整式の割り算		○	○			
		4. 分数式とその計算	○		○	○		
		5. 恒等式		○		○		
		研究 2つの文字についての恒等式			○	○		
		6. 等式の証明			○	○		
7. 不等式の証明	○			○				
前期	複素数と方程式	1.複素数		○	○	○	a:複素数と方程式における考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観

		2.2次方程式の解と判別式	○		○	○	<p>考え方に基づいて判断しようとする。</p> <p>b:複素数と方程式において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>c:複素数と方程式において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>d:複素数と方程式における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。</p>	察等
		3.解と係数の関係		○	○			
		4. 剰余の定理と因数定理	○		○			
		研究 組立除法	○	○				
		5・高次方程式			○	○		
		研究 方程式の解と共役な複素数		○	○			
		発展 3次方程式の解と係数の関係	○			○		
前期	図形と方程式	1.直線上の点	○		○	○	<p>a:図形と方程式における考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</p> <p>b:図形と方程式において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>c:図形と方程式において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p>	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観察等
		2.平面上の点		○	○			
		3.直線の方程式	○		○			
		4. 2直線の関係		○		○		

		5.円の方程式	○		○	○	d: 図形と方程式における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
		6.円と直線		○		○		
		7.2つの円		○	○			
		8.軌跡と方程式	○			○		
		9.不等式の表す領域	○	○				
		研究 放物線を境界線とする領域		○	○	○		
後期	三角関数	1.一般角と弧度法	○	○	○		a: 三角関数における考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 b: 三角関数において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に着けている。 c: 三角関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d: 三角関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観察等
		2.三角関数		○		○		
		3.三角関数の性質	○	○				
		4.三角関数のグラフ		○	○			
		5.三角関数の応用	○			○		

		6.加法定理		○		○		
		研究 点の回転	○			○		
		7.加法定理の応用			○	○		
		発展 和と積の公式	○		○	○		
		8.三角関数の合成	○		○			
後期	指数関数と対数関数	1.指数の拡張		○	○	<p>a: 指数関数と対数関数における考え方に関心を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</p> <p>b: 指数関数と対数関数において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>c: 指数関数と対数関数において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>d: 指数関数と対数関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。</p>	<p>確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観察等</p>	
研究 負の数のn乗根		○		○				
2.指数関数	○	○	○					
3.対数とその性質		○	○	○				
4.対数関数		○		○				
5.常用対数			○	○				

		研究 対数と無理数	○			○			
後期	微分法と積分法	1.微分係数			○	○		<p>a:微分法と積分法における考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</p> <p>b:微分法と積分法において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>c:微分法と積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>d:微分法と積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。</p>	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観察等
		発展 関数の極限值				○	○		
		2.導関数	○			○			
		研究 関数 x^n の導関数の公式の証明			○		○		
		3.接線	○	○					
		4. 関数の値の変化			○	○			
		5. 最大値・最小値			○	○	○		
		6.関数のグラフと方程式・不等式	○			○	○		
		7.不定積分	○	○	○				
8.定積分	○				○				

令和2年度 数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	「高等学校 数学Ⅲ」 (数研出版)						
副教材等	サクシード数学Ⅲ (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

数学Ⅲは、高校数学の総まとめです。数学Ⅰ、A、Ⅱ、Bで学んだ内容をもとに、複素数の性質や極座標などの新しい分野についても理解を深め、科学全般に応用できる力を養おう。

2 学習の到達目標

平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習活動への取り組み ・ 課題・提出物の状況 ノート，プリント，レポート等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 提出課題の内容 ・ 提出ノートの内容 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 提出課題の内容 ・ 提出ノートの内容 ・ 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 提出課題の内容 ・ 提出ノートの内容 ・ 小テスト
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第4章 極限	3. 無限級数 (第3章 関数、第4章 数列の極限の途中までは2年後期に学習)	○	○	○	○	a: 「極限」を数学的に扱う姿勢 b: 等比数列の和から無限等比級数の収束、発散を考察する。 c: 無限等比級数の収束、発散を、公比の値で調べられる。 d: 無限級数の収束、発散を判定する条件の理解	小テスト 課題の提出 状況および その内容 観察 など
前期	第4章 極限	第2節 関数の極限 4. 関数の極限(1) 5. 関数の極限(2) 6. 三角関数と極限 7. 関数の連続性	○	○	○	○	a: 簡単な関数の極限を、グラフなどで直観的に考察しようとする。 b: 定義に基づいて、様々な関数の連続性、不連続性を判定することができる。 c: 変形によって不定形を解消し関数の極限值が求められる。 d: 関数の連続性と中間値の定理の理解	
前期	第5章 微分法	1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. いろいろな関数の導関数 4. 第n次導関数 5. 曲線の方程式と導関数	○	○	○	○	a: 微分係数の図形的意味を考察しようとする。 b: 微分可能性を定義に基づいて考察できる。いろいろな関数の導関数を定義から考える。 c: 導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を利用して、種々の導関数を計算できる。対数微分法を利用して、複雑な関数を微分できる。やさしい第 n 次導関数を求めることができる。 d: 微分可能性と連続性の関係を理解する。	
前期	第6章 微分法の応用	第1節 導関数の応用 1. 接線と法線 2. 平均値の定理	○		○	○	a: 接線、法線を数学的に理解しようとする。 b: c: 接線・法線の方程式が求められる。平均値の定理を利用して、不等式を証明できる。 d: 接線と方程式の重解の関係を理解する。平均値の定理と、その図形的意味を理解し、具体的に c の値を求めることができる。	小テスト 課題の提出 状況および その内容 観察 など

前期	第6章 微分法の応用	3. 関数の値の変化 4. 関数のグラフ 5. 方程式・不等式への応用	○	○	○	○	a: 導関数を用いて、増減表を丁寧に書き、関数の増減や極値、最大値・最小値の問題を調べようとする。 b: 関数の極限を調べて、それを元に、関数のグラフをイメージで切る。方程式の解の個数や不等式の証明を、微分法を利用して考察できる。 c: やや複雑な関数の導関数、増減表から、関数のグラフを書くことができる。 d: 導関数、第2次導関数の符号と関数の増減・凹凸の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減・極値が調べられる。	小テスト 課題の提出 状況および その内容 観察 など
前期	第6章 微分法の応用	第2節 速度と近似式 7. 速度と加速度 8. 近似式	○		○	○	a: 運動する点の位置、速度、加速度の関係を微分法から考察する。 c: 微分法を使って、速度ベクトル、加速度ベクトルが求めることができる。導関数を利用して、関数の近似式を求めることができる。 d: 微分係数の図形的な意味から、関数の近似式を理解する。	
前期	第7章 積分法の応用	第1節 不定積分 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法と部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分	○	○	○		a: 様々な方法を駆使して、不定積分を求めようとする。 b: 不定積分・置換積分・部分積分の公式を微分法から考察する。 c: 置換積分・部分積分を含む方法を使って、不定積分を求めることができる。 d:	小テスト 課題の提出 状況および その内容 観察 など
前期	第7章 積分法の応用	第2節 定積分 4. 定積分とその基本性質 5. 定積分の置換積分法と部分積分法 6. 定積分のいろいろな問題 第3節 積分法の応用 7. 面積 8. 体積	○	○	○	○	a: 様々な方法を駆使して、定積分を求めようとする。 b: 面積と定積分の関係を理解し、考察する。 c: 置換積分・部分積分を含む方法を使って、定積分を求めることができる。図を書いて考察して、種々の曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。簡単な図形の体積を求めることができる d: 区分求積法と定積分の関係を理解している。	

後期	第7章 積分法の応用	9.道のり 10. 曲線の長さ			○	○	a: b: c: 道のりや曲線の長さを、定積分を使って求めることができる。 d: 道のりや曲線の長さの公式の理解	小テスト 課題の提出 状況および その内容 観察 など
後期	第1章 複素数平面	1. 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	○	○	○	○	a: 複素数の問題を、複素数平面を使って、考えようとする。 b: 極形式を利用することで、複素数の乗法、除法の図形的意味を理解する。 c: 複素数の問題を、複素数平面を使って、求めることができる。 d: 複素数のn乗根を図形的に理解する。複素数平面上の図形のなす角を、極形式を元に理解する。	
後期	第2章 式と曲線	第1節 2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質	○	○	○	○	a: 条件を満たす点の軌跡として、2次曲線を理解しようとする。 b: 軌跡の考えを利用して、2次曲線の方程式を導くことができる。 c: 2次曲線の方程式からグラフの概形を描くことができる。接線を求めることができる。平行移動した2次曲線の方程式を求めることができる。 d: 方程式から、焦点、頂点、漸近線などが求められる。2次曲線を離心率eから理解する。	
後期	第2章 式と曲線	第2節 媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 9. コンピュータの利用 教科書終了後、入試問題演習	○	○	○	○	a: 数学の問題を、コンピュータを使って考えようとする。 b: 極座標と直交座標の関係式を使って考える。 c: 曲線の方程式の媒介変数表示を使って考えることができる。 d: サイクロイドなど媒介変数表示の曲線の考察ができる。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 数学科

教科	数学	科目	数学A	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「改訂版 高等学校 数学A」 (数研出版)						
副教材等	サクシード数学I・A (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

日々の授業をしっかりと理解し、例題・練習だけでなく、章末問題までしっかりと取り組みましょう。復習は傍用問題集でより深い理解をめざそう。
1年間しっかりと取り組んでください。

2 学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質または整数の性質を理解させて数学の基本的な知識・技能の習得を図り、事象を数学的に考察する力を養う。また、数学の良さを認識できるとともにそれらを活用する態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c: 数学的な技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に興味を持つとともに、数学の考察力の良さを認識し、それらをいろいろな事象の考察に活用し判断しようとする。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において事象を数学的に考察したり表現したり思考の過程を振り返り多面的、発展的に考えることを通して数学的な見方・考え方を身につけている。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において事象を数学的に表現、処理する仕方や推論の方法等の技能を身につけている。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、基本的な知識を身につけている。
評 価 方 法	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方を身につけそれらをいろいろな事象の考察に活用できるか、判断できるかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において数学的な見方、考え方が身につけているかどうかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において数学的に表現し、処理する方法等の技能が身につけているかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念・原理・法則を理解し、基本的な知識を身につけているかを学習活動の取り組み、定期考査、提出物等で評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	内容	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
				a	b	c	d			
前期	場合の数と確率	場合の数	補足 集合					a:場合の数と確率における考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 b:場合の数と確率において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に着けている。 c:場合の数と確率において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d:場合の数と確率における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート 観察等	
			1. 集合の要素の個数	○	○					
			2. 場合の数		○	○				
			3. 順列	○			○			
		確率	4. 組み合わせ 研究 重複を許して取る組合せ	○			○			
			5. 事象と確率	○						
			6. 確率の基本性質		○					
			7. 独立な試行の確率		○		○			
	8. 条件付き確率 研究 原因の確率			○	○		確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート 観察等			
	図形の性質	平面図形	1. 三角形の辺の比	○	○				a:図形の性質における考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 b: 図形の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に着けている。 c: 図形の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d: 図形の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート 観察等
			2. 三角形の外心、内心、重心		○		○			
			3. チェバの定理、メネラウスの定理 研究 三角形の辺と角			○	○			
			4. 円に内接する四角形		○	○				
		後期	図形の性質	5. 円と直線 研究 方べきの定理の逆	○	○				
6. 2つの円					○	○				
7. 作図						○	○			

令和2年度 数学科

教科	数学	科目	数学B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	「数学B」 (数研出版)						
副教材等	サクシード数学Ⅱ・B (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

日々の授業にしっかりと理解し、復習をメインにして傍用問題集でより深い理解をめざそう。「継続は力なり」です。1年間、しっかりと取り組んでください。

2 学習の到達目標

ベクトル、数列について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	ベクトル、数列に関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトル、数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	ベクトル、数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ベクトル、数列における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・学習活動への取り組み ・課題・提出物の状況 ノート、プリント、レポート等	・定期考査 ・提出レポートの内容 ・提出ノートの内容	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	主 な 評 価 の 観 点				単 元 (題 材) の 評 価 規 準	評 価 方 法
			a	b	c	d		
前 期	平 面 上 の ベ ク ト ル	1. 平面上のベクトル	○			○	a: 平面上のベクトルにおける考え方に関心を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 b: 平面上のベクトルにおいて、事象を数学的に考察し表現し	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観 察等
		2. ベクトルの演算	○	○	○	○		

		3. ベクトルの成分	○		○	○	<p>たり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に着けている。</p> <p>c: 平面上のベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>d: 平面上のベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。</p>	
		4. ベクトルの成分	○	○	○	○		
		研究 三角形の面積		○	○	○		
		5. 位置ベクトル				○		
		6. ベクトルと図形	○	○	○	○		
		7. ベクトル方程式	○	○	○	○		
		研究 点と直線の距離		○		○		
		研究 点の存在範囲の図示		○		○		
前期	空間のベクトル	1. 空間の座標	○		○	○	<p>a: 空間のベクトルにおける考え方に興味を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。</p> <p>b: 空間のベクトルにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に着けている。</p>	<p>確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観察等</p>
		2. 空間のベクトル	○		○	○		
		3. ベクトルの成分		○	○	○		

		4.ベクトルの内積		○	○	○	c:空間のベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d:空間のベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
		5.位置ベクトル	○			○		
		6.ベクトルと図形	○	○	○	○		
		7.座標空間における図形	○	○	○	○		
		研究 平面の方程式		○	○	○		
		研究 直線の方程式		○	○	○		
後期	数列	1.数列	○	○	○	○	a:数列における考え方に関心を持つとともに数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 b:数列において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。 c:数列において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 d:数列における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト 傍用問題集 のレポート観察等
		2.等差数列とその和	○	○	○	○		
		3.等比数列とその和	○	○	○	○		
		研究 複利計算と等比数列		○		○		
		4. 和の記号 Σ	○	○	○	○		

令和2年度 理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	物理基礎（数研出版）						
副教材等	リードLight 物理基礎 改訂版（数研出版）、改訂版フォローアップドリル物理基礎 運動の表し方・力運動方程式、フォローアップドリル物理基礎 仕事とエネルギー、フォローアップドリル物理基礎 波・電気						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考え、疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持ってください。また、学んだことを正確に記録し、科学的に探究する手法を身につけてください。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探求する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見解や考え方を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	物理現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、授業、実験に意欲的に参加し、論理的に探求しようとする態度が見える。	物理現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物理現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	運動とエネルギー	運動の表し方	○		○		a:運動の表し方と法則、仕事と力学的エネルギーに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:物体にはたらくさまざまな力を見抜いてベクトルで表す方法を身につけるとともに、それらの力がつり合う条件を見出せるようになる。 c:物体の運動を測定し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、その運動を速度—時間のグラフで表せるようになる。 d:仕事をする能力としての位置エネルギーと運動エネルギーの表し方について理解できる。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
		運動の法則	○	○				
		仕事と力学的エネルギー	○			○		
	熱	熱とエネルギー	○	○	○	○	a: 熱とエネルギーについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:ブラウン運動などの観察を通して、原子や分子の熱運動と温度との関係を定性的に表現している。 c:熱量の保存について実験を行い、熱容量もしくは比熱の値を求める方法を習得するとともに、基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:仕事と熱の変換、熱力学第1法則、熱機関とその熱効率について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
	波	波の性質	○	○			a:波の性質について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:波と媒質の運動に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:発音体の振動と共振・共鳴について、気柱共鳴装置を用いて実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:音波の性質として、うなり、固有振動、共振、共鳴などを学び、身近な楽器の原理について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
		音			○	○		

令和2年度 理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	物理基礎（数研出版）						
副教材等	リードLight 物理基礎 改訂版（数研出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考え、疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持ってください。また、学んだことを正確に記録し、科学的に探究する手法を身につけてください。

2 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探求する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見解や考え方を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	物理現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、授業、実験に意欲的に参加し、論理的に探求しようとする態度が見える。	物理現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物理現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d			
前期	運動とエネルギー	運動の表し方	○		○		a:運動の表し方と法則、仕事と力学的エネルギーに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:物体にはたらくさまざまな力を見抜いてベクトルで表す方法を身につけるとともに、それらの力がつり合う条件を見出せるようになる。 c:物体の運動を測定し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、その運動を速度—時間のグラフで表せるようになる。 d:仕事をする能力としての位置エネルギーと運動エネルギーの表し方について理解できる。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査	
		運動の法則	○	○					
		仕事と力学的エネルギー	○			○			
	熱	熱とエネルギー		○	○	○	○	a:熱とエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:ブラウン運動などの観察を通して、原子や分子の熱運動と温度との関係を定性的に表現している。 c:熱量の保存について実験を行い、熱容量もしくは比熱の値を求める方法を習得するとともに、基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:仕事と熱の変換、熱力学第1法則、熱機関とその熱効率について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
				○	○				
	波	波	波の性質	○	○			a:波の性質について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:波と媒質の運動に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:発音体の振動と共振・共鳴について、気柱共鳴装置を用いて実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:音波の性質として、うなり、固有振動、共振、共鳴などを学び、身近な楽器の原理について理解し、知識を身に付けている。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
音					○	○			
後期	電気	物質と電気抵抗	○	○			a:物質と電気抵抗に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:材質、長さ、断面積の異なる金属線の抵抗を考察し、物質の種類による抵抗について導き出した考えを表現している。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査	

令和2年度 理科

教科	理科	科目	物理	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	物理（数研出版）						
副教材等	ニューグローバル物理基礎＋物理（東京書籍） 良問の風 物理 頻出・標準入試問題集 改訂版（河合出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考え、疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持ってください。また、学んだことを正確に記録し、科学的に探究する手法を身につけてください。

2 学習の到達目標

物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

- 物理的な事物・現象に対して、興味・関心を高め、知的好奇心をもって問題を見出し、主体的に解決しようとする意欲を高める。
- 生徒自らが課題を見付け、考え、見通しをもって主体的かつ意欲的に観察、実験などに取り組む。
- 自然の事物・現象の中から物理学的な立場で問題を見出し、観察、実験を中心に科学の方法を適用しながら問題を解決していくという探究の過程をたどらせることによって、科学の方法を習得させ、物理学的に探究する能力や態度を育てる。
- 物理的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を深く、系統的に理解させる。
- 物理の学習を通して自然の事物・現象に関する基本的な原理・法則を系統的に理解し、自然を探究する能力と態度を身に付けさせ、他科目の学習成果とも関連させて、自然界の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	物理現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、授業、実験に意欲的に参加し、論理的に探求しようとする態度が見える。	物理現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物理現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。

評価方法	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果	学習状況 課題プリントへの取り組み 実験レポート 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	力と運動	平面内の運動	○			○	a: 平面内の運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b: 運動量がベクトルであることを理解し、運動量の変化と力積との関係について、ベクトルを用いて作図や演算をすることができる。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
		運動量の保存		○	○		c: 連結した2台の台車を分裂させたときの運動のようすから、運動量が保存されることを確認する。 d: 水平投射, 斜方投射における公式について理解し, さまざまな運動条件に応じて, それらの式を用いることができる。	
	熱と気体	気体のエネルギーと状態変化	○	○	○	○	a: 気体のエネルギーと状態変化に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b: 気体の圧力が生じる原因を把握し、気体に関する各法則について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 水を入れた小型ポットを激しく振って水温を上昇させることで、内部エネルギーと温度の関係を調べる。 d: 気体の圧力を分子レベルの運動から導出する。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
後期	波	波の伝わり方	○				a: 波の伝わり方に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b: 音波の伝わる速さが音源の速度に関係しないことから、ドップラー効果によって変化する波長や振動数を考える。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
		音の伝わり方		○	○		c: 小型の防犯ブザーをキャッチボールして、音の高さが変化することを確認する。 d: 平面波の反射, 屈折における各物理量を計算し, 回折のしくみを理解する。	

	電気と磁気	電場	○	○			a:電場と電流に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:電場と電気力線の関係を理解し、帯電体に入出力する電気力線を定量的に考える。 c:箔検電器と金属板を利用して、コンデンサーの原理を確認する。 d:キャリアの役割を踏まえ、ダイオードやトランジスタのはたらきを理解する。	学習状況 プリント 実験レポート 定期考査
		電流	○		○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	物理	単位数	前期2単位 後期2単位	年次	3年次
使用教科書	物理（数研出版）						
副教材等	ニューグローバル物理基礎＋物理（東京書籍） 良問の風 物理 頻出・標準入試問題集 改訂版（河合出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考え、疑問に思ったことを確かめてみようという態度を持ってください。また、学んだことを正確に記録し、科学的に探究する手法を身につけてください。

2 学習の到達目標

物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

- 物理的な事物・現象に対して、興味・関心を高め、知的好奇心をもって問題を見出し、主体的に解決しようとする意欲を高める。
- 生徒自らが課題を見付け、考え、見通しをもって主体的かつ意欲的に観察、実験などに取り組む。
- 自然の事物・現象の中から物理学的な立場で問題を見出し、観察、実験を中心に科学の方法を適用しながら問題を解決していくという探究の過程をたどらせることによって、科学の方法を習得させ、物理学的に探究する能力や態度を育てる。
- 物理的な事物・現象に関する基礎的な知識及び基本的な概念や原理・法則を深く、系統的に理解させる。
- 物理の学習を通して自然の事物・現象に関する基本的な原理・法則を系統的に理解し、自然を探究する能力と態度を身に付けさせ、他科目の学習成果とも関連させて、自然界の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	物理現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、授業、実験に意欲的に参加し、論理的に探求しようとする態度が見える。	物理現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物理現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	高等学校 改訂 化学基礎(第一学習社)						
副教材等	基本セレクト化学基礎(数研出版) スクエア最新図説化学(第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

中学校で学習した理科第一分野を受けて、化学の基本的な概念・原理の理解を深め、化学の様々な現象やその法則を理解します。また、実験にも積極的に取り組むなかで、科学的な見方や考え方を身につけ、日常生活の中で生じる疑問や問題について、自分で考え、解決する能力を養って欲しいと思います。

2 学習の到達目標

- ・化学の学習内容が日常生活や社会とかかわることを知り、身近な物質とその変化への関心を高める。
- ・主体的に観察、実験などに取り組むことによって科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を身に付ける。
- ・化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し、活用する能力を身に付ける。
- ・物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	と構成元素 物質の成分	物質の成分	○				<ul style="list-style-type: none"> 物質は混合物と純物質, 化合物と単体などに分類されることを理解している 物質の三態変化が熱運動の激しさが変わることによっておこることを理解している。 元素について学習し, 同素体の存在を理解して 	学習状況 演習プリント 定期考査
		物質の構成元素				○		
		状態変化と熱運動		○				
	素の周期表 原子の構造と元	原子の構造				○	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造について理解している。 元素の周期律を理解し, 周期表の成り立ちについて理解している。 	
		元素の相互関係		○				
	物質と化学結合	イオン	○				<ul style="list-style-type: none"> イオンの種類とその生成について理解している。 共有結合と分子の形成について理解し, 分子からできる物質, さらに分子結晶, 共有結合の結晶について理解している。 分子からなる物質とその利用について学習する。 金属結合, 金属結晶について理解している。 化学結合の種類によって, 物質を分類できることを理解している。 	
		イオン結合とイオン結晶		○				
		分子と共有結合				○		
		共有結合の結晶				○		
		分子からなる物質の利用	○					
金属と金属結合				○				
後期	物質量と化学反応式	原子量・分子量と式量	○				<ul style="list-style-type: none"> 元素の原子量を理解し, 分子量, 式量の求め方を理解している。 物質量とその応用を理解している。 物質の溶解と濃度について理解している。 状態変化と化学変化の違いを理解し, 化学反応式のつくり方を理解している。 化学反応における量的関係について理解している。 化学反応における基本法則を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
		物質量		○				
		溶解と濃度		○				
		化学変化と化学反応式		○				
		化学反応の量的関係		○				
		化学変化における諸法則				○		
	酸と塩基の反応	酸と塩基	○				<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の定義を理解している。 酸・塩基の強さと水素イオン濃度との関係を理解している。 中和を理解し, 塩の種類を理解している。 中和滴定の操作を習得し, 量的関係を理解している。 	学習状況 演習プリント 実験レポート 定期考査
		水素イオン濃度		○				
		中和と塩				○		
		中和滴定			○			
酸化還元反応	酸化と還元	○				<ul style="list-style-type: none"> 酸化・還元の定義を理解している。 酸化剤, 還元剤について学習し, それらの反応を理解している。 酸化還元反応における酸化剤と還元剤の量的関係を理解している。 金属のイオン化傾向にもとづいて, 金属の反応性を理解している。 酸化還元反応の利用例として, 製錬や電池の原理を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
	酸化剤と還元剤の反応		○					
	酸化還元の量的関係		○					
	金属のイオン化傾向				○			
	電池		○					
	金属の製錬				○			

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	化学	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校 化学(第一学習社)						
副教材等	セミナー化学基礎+化学 (第一学習社) スクエア最新図説化学 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

1年生で学習した化学基礎を受けて、化学の基本的な概念・原理の理解を深め、化学の様々な現象やその法則を理解します。また、実験にも積極的に取り組むなかで、科学的な見方や考え方を身につけ、日常生活の中で生じる疑問や問題について、自分で考え、解決する能力を養って欲しいと思います。

2 学習の到達目標

- ・物質とその変化について、化学的な解釈や説明ができることを通して、興味・関心を探究心にまで高め、知的好奇心をもって問題を見だし、主体的に解決しようとする意欲を高める。
- ・生徒自身が課題を見つけ、主体的・意欲的に観察、実験などに取り組む。
- ・探究の過程をたどらせることによって、科学の方法を習得させ、化学的に探究する能力や態度を育てる。
- ・化学的な事物・現象に関する基礎的な知識および基本的な概念や原理・法則を、深く系統的に理解させる。
- ・物質やその変化に関する原理・法則を系統的に理解し、正しい物質感を身に付けさせ、他の科目とも関連させて、自然界の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c	d			
前期	化学結合と結晶	化学結合と結晶の性質	○				<ul style="list-style-type: none"> 化学結合と結晶の性質について、理解している。 金属結晶の構造について理解している。 イオン結晶の構造について理解している。 共有結晶の構造について理解している。 分子間の結合、および分子結晶の性質と構造について理解している。 非晶質について理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
		金属結晶の構造		○					
		イオン結晶の構造		○					
		共有結晶の構造				○			
		分子間力と分子結晶				○			
		非晶質				○			
	物質の三態変化	物質の三態とその変化				○	<ul style="list-style-type: none"> 物質の三態変化を理解し、その変化に伴う熱の出入りを理解している。 飽和蒸気圧を学習し、飽和蒸気圧と沸騰の関係を理解している。また、化学結合と物質の融点・沸点との関係を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
		気液平衡と蒸気圧		○					
	気体の性質	気体の体積変化	○				<ul style="list-style-type: none"> ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則をそれぞれ理解し、その応用ができる。 気体の状態方程式を理解し、その応用ができる。 全圧と分圧を学習し、混合気体の平均分子量を理解している。 理想気体と実在の気体との違いを理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
		気体の状態方程式		○					
		理想気体と実在の気体				○			
	溶液の性質	溶解と溶液	○				<ul style="list-style-type: none"> 溶解のしくみを理解し、溶解度について理解している。 沸点上昇、凝固点降下、浸透圧の定量的な取扱いを理解している。 コロイドを理解し、その溶液の性質を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
		希薄溶液の性質		○					
		コロイド溶液				○			
	物質とエネルギー	反応熱と熱化学方程式		○			<ul style="list-style-type: none"> 熱化学方程式のつくり方を習得している。 ヘスの法則を理解して応用できる。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
		ヘスの法則と結合エネルギー		○					
	後期	電池・電気分解	電池				○	<ul style="list-style-type: none"> 電池の原理とおもな電池の構成を理解している。 水溶液の電気分解を理解している。 電気分解の利用として、電解精錬や熔融塩電解を理解している。 電気分解における量的関係を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
			電気分解		○				
化学反応の速さ		化学反応の速さと濃度・圧力		○			<ul style="list-style-type: none"> 反応の速さと濃度、圧力との関係を理解している。 反応の速さと温度との関係を理解している。 触媒の働きとその利用について理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
		化学反応の速さと温度				○			
		触媒				○			
化学平衡		可逆変化と平衡	○				<ul style="list-style-type: none"> 可逆反応と不可逆反応、および化学平衡の意味を理解している。 ルシャトリエの原理を理解し、ルシャトリエの原理の応用例としてアンモニアの製法を理解している。 平衡定数の意味を理解している。 pH についての理解を深め、平衡定数の応用ができる。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
		平衡状態の変化と平衡移動		○					
		平衡定数		○					
	電離平衡		○						

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	化学	単位数	前期2単位 後期2単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校 化学(第一学習社)						
副教材等	セミナー化学基礎+化学 (第一学習社) サイエンスビュー化学総合資料 (実教出版) チェック&演習化学 (数研出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

化学の基本的な概念・原理の理解を深め、化学の様々な現象やその法則を理解します。特に、3年生では、様々な無機物質や有機物質について学習しますが、単なる暗記に頼るのではなく、なぜそういう反応が起きるのかといった原理を理解し、系統的に学習することが重要になってきます。

2 学習の到達目標

- ・物質とその変化について、化学的な解釈や説明ができることを通して、興味・関心を探究心にまで高め、知的好奇心をもって問題を見だし、主体的に解決しようとする意欲を高める。
- ・生徒自身が課題を見つけ、主体的・意欲的に観察、実験などに取り組む。
- ・探究の過程をたどらせることによって、科学の方法を習得させ、化学的に探究する能力や態度を育てる。
- ・化学的な事物・現象に関する基礎的な知識および基本的な概念や原理・法則を、深く系統的に理解させる。
- ・物質やその変化に関する原理・法則を系統的に理解し、正しい物質感を身に付けさせ、他の科目とも関連させて、自然界の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 配布プリントの記述 探究活動の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、前期末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	非金属元素の単体とその化合物	元素の分類と性質	○				<ul style="list-style-type: none"> 元素の分類を理解している。 水素とその化合物について、性質や用途を理解している。 希ガスについて、性質や用途を理解している。 ハロゲンとその化合物について、性質や用途を理解している。 酸素・硫黄とその化合物について、性質や用途を理解している。 窒素、リンとその化合物について、性質や用途を理解している。 炭素、ケイ素とその化合物について、性質や用途を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
		水素とその化合物				○		
		希ガス				○		
		ハロゲンとその化合物				○		
		酸素・硫黄とその化合物				○		
		窒素・リンとその化合物				○		
		炭素・ケイ素とその化合物				○		
	典型金属元素の単体とその化合物	アルカリ金属とその化合物				○	<ul style="list-style-type: none"> アルカリ金属とその化合物について、性質や用途を理解している。 2族元素とその化合物について、性質や用途を理解している。 亜鉛、水銀とその化合物について、性質や用途を理解している。 アルミニウムとその化合物について、性質や用途を理解している。 スズ、鉛とその化合物について、性質や用途を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
		2族元素とその化合物				○		
		亜鉛・水銀とその化合物				○		
		アルミニウムとその化合物				○		
		スズ・鉛とその化合物				○		
	遷移元素の単体とその化合物	鉄とその化合物				○	<ul style="list-style-type: none"> 鉄とその化合物について、性質や用途を理解している。 銅とその化合物について、性質や用途を理解している。 銀とその化合物について、性質や用途を理解している。 クロム、マンガンとその化合物について、性質や用途を理解している。 金属イオンの定性分析について理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
		銅とその化合物				○		
		銀とその化合物				○		
		クロム・マンガンとその化合物				○		
		金属イオンの定性分析		○				
	人間生活と無機物質と	金属の利用	○				<ul style="list-style-type: none"> 金属の単体や合金などについて、性質や用途を理解している。 セラミックスについて、性質や用途を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
		セラミックスの利用	○					
	有機化合物の特徴と構造	特徴と分類				○	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の特徴と分類について理解している。 有機化合物の化学式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
化学式の決定			○					
脂族炭化水素	飽和炭化水素				○	<ul style="list-style-type: none"> アルカン、シクロアルカンについて、その性質や用途を理解している。 アルケン、シクロアルケン、アルキンについて、その性質や用途を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
	不飽和炭化水素				○			
酸素を含む脂族化合物	アルコールとエーテル				○	<ul style="list-style-type: none"> アルコール、エーテルについて、その性質や用途を理解している。 アルデヒド、ケトンについて、その性質や用途を理解している。 カルボン酸、エステルについて、その性質や用途を理解している。 油脂、セッケンについて、その性質や用途を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
	アルデヒドとケトン				○			
	カルボン酸とエステル				○			
	油脂とセッケン				○			

	芳香族化合物	芳香族炭化水素	○				<ul style="list-style-type: none"> 芳香族炭化水素について、その性質や用途を理解している。 フェノール類、芳香族カルボン酸について、その性質や用途を理解している。 芳香族ニトロ化合物、芳香族アミン、アゾ化合物について、その性質や用途を理解している。 芳香族化合物の分離の原理を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査		
		酸素を含む芳香族化合物				○				
		窒素を含む芳香族化合物							○	
		芳香族化合物の分離		○						
	人間生活	有機化合物と	暮らしを彩る有機化合物	○				<ul style="list-style-type: none"> 界面活性剤、染料、医薬品について、その性質や用途を理解している。 単糖、二糖について、その構造や性質を理解している。 α-アミノ酸について、その構造や性質を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
			単糖と二糖							○
			アミノ酸							○
	化合物	合成高分子	高分子化合物の構成	○				<ul style="list-style-type: none"> 高分子化合物について、その分類や重合の種類を理解している。 合成樹脂について、その構造や性質、用途を理解している。 合成繊維について、その構造や性質、用途を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
			合成樹脂							○
			合成繊維							○
	天然高分子化合物		デンプンとセルロース					<ul style="list-style-type: none"> デンプンとセルロースについて、その構造や性質を理解している。 タンパク質について、その構造や性質を理解している。 天然繊維と天然ゴムについて、その構造や性質を理解している。 DNA, RNA について、その構造や性質を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
			タンパク質							○
			天然繊維と天然ゴム							○
			核酸							○
	人間生活	高分子化合物と	機能性高分子化合物	○				<ul style="list-style-type: none"> 機能性高分子について、その構造や性質、用途などを理解している。 合成ゴムについて、その構造や性質、用途などを理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
			合成ゴム	○						
後期	物質の状態	結晶の構造		○			<ul style="list-style-type: none"> 代表的な金属結晶の単位格子について知識をもち、その特徴を理解している。 気体や液体の特徴について理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査		
		物質の三態と状態変化・気体				○				
		溶液		○						
	物質の変化		化学反応と熱・光		○			<ul style="list-style-type: none"> 熱化学方程式と反応熱について理解している。 電子のやり取りを伴う化学反応について理解している。 化学反応の仕組みと速さに及ぼす要素について理解している。 化学平衡について理解しており、平衡定数を利用して反応物・生成物の濃度を求めることができる。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
			電池と電気分解		○					
			化学反応の速さとしくみ		○					
			化学平衡		○					
	無機物質		非金属元素とその化合物					<ul style="list-style-type: none"> 非金属元素の性質について理解している。 金属元素のそれぞれの性質について理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
			金属元素とその化合物							○
	有機物質		有機化合物の特徴と炭化水素					<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の元素分析について理解している。 アルコールの主要な反応について理解している。 芳香族化合物の主要な反応について理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査	
			アルコールと関連化合物							○
			芳香族化合物							○

合成高分子化合物と天然有機化合物	天然有機化合物				○	<ul style="list-style-type: none"> ・糖とタンパク質について、その性質や構造を理解している。 ・合成高分子化合物について、その性質や構造を理解している。 	学習状況 演習プリント 定期考査
	合成高分子化合物				○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	生物基礎（数研出版）						
副教材等	セミナー生物基礎（第一学習社） スクエア最新図説生物 neo（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

人と自然について「遺伝子」、「恒常性」、「生態系」という3つの視点から、わたしたちの体や生活がどのようなしくみによって成り立っているのかを意識して、学び考え続けてください。
また、実習では、観察方法や記録の取り方、結果のまとめ方を学び、科学的に探究する手法を身につけてください。

2 学習の到達目標

多様な生物も細胞からなり、遺伝子としてDNAを、エネルギーの受け渡しにATPを使うという共通性をもつことを理解し、人が健康に生きるには個々の細胞の働きによって内部環境が一定に保たれることが重要であること、地球上の多様な生物は気温や降水量等と密接な関係を持つ生態系を構成し物質循環とエネルギーの移動によってつながっていることに気付き、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度と、持続可能な社会づくりに貢献できる力を身に付ける。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関心に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	生物と遺伝子	生物の多様性と共通性	○				a:生物の多様性と共通性、遺伝現象とDNAに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c:「生物と遺伝子」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ワークシート 観察・実験 定期考査
		細胞とエネルギー				○		
		遺伝現象とDNA	○					
		遺伝情報の分配		○				
		遺伝情報とタンパク質の合成				○		
		生物と遺伝子に関する探究活動			○			
後期	生物の体内環境	体液とその働き	○				a:体内環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c:「生物の体内環境の維持」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ワークシート 観察・実験 定期考査
		生体防御		○				
		体内環境の維持のしくみ				○		
		生物の体内環境の維持に関する探究活動			○			
後期	生物の多様性と生態系	気候とバイオーム	○				a:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b:「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c:生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 探究活動 ワークシート 観察・実験 定期考査
		植生と遷移				○		
		生態系と物質循環			○			
		生態系のバランス	○					
		生物の多様性と生態系に関する探究活動		○				

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	生物	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	生物 (数研出版)						
副教材等	セミナー生物 (第一学習社) スクエア最新図説生物 neo (第一学習者)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

1年生で学習した生物基礎を受けて、生物学の基本的な概念・原理の理解を深め、生物の様々な生命活動とその本質を理解して、いのちの大切さを体得します。また、実験や実習にも積極的に取り組むなかで、科学的な見方や考え方を身につけ、日常生活の中で生じる疑問や問題について、自分で考え、解決する能力を養って欲しいと思います。

2 学習の到達目標

細胞活動においてタンパク質が生命現象を支えていることを理解し、呼吸・光合成などの代謝について、その詳細なしくみを学ぶ。そして遺伝情報の変化、遺伝子の発現調節、バイオテクノロジーについて学習し、その原理と有用性を理解し、生殖について学び、動植物の発生の過程、器官の文化のおけるその遺伝子のはたらきについて考える。そして、生命の成り立ちについて考察できる力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	細胞と分子	生体の構成	○				a:細胞と分子に関心を持ち、意欲的に学習している。 b: 細胞と分子について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 細胞と分子に関する探究活動の方法を習得している。 d: 細胞と分子におけるメカニズムを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 ワークシート 観察・実験 定期考査
		タンパク質の構造と性質				○		
		酵素のはたらき			○			
		細胞の構造とはたらき				○		
		細胞の活動とタンパク質		○				
	代謝	代謝とエネルギー	○				a:代謝に関心を持ち、意欲的に学習している。 b: 代謝について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 代謝に関する探究活動の方法を習得している。 d: 代謝に関して理解し、必要な知識を	学習状況 ワークシート 観察・実験 定期考査
		呼吸と発酵			○			
		光合成			○			
窒素同化					○			
後期	遺伝情報の発現	DNAの構造と複製	○				a:遺伝情報の発現に関心を持ち、意欲的に学習している。 b: 遺伝情報の発現について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 遺伝情報の発現に関する探究活動の方法を習得している。 d: 遺伝情報の発現におけるメカニズ	学習状況 ワークシート 観察・実験 定期考査
		遺伝情報の発現		○				
		遺伝子の発現調節		○				
		バイオテクノロジー	○					
	生殖と発生	遺伝子と染色体	○				a:生殖と発生に関心を持ち、意欲的に学習している。 b: 生殖と発生について考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生殖と発生に関する探究活動の方法を習得している。 d: 生殖と発生に関して理解し、必要な知識を身に付けている。	学習状況 ワークシート 観察・実験 定期考査
		減数分裂と遺伝情報の分配		○				
		遺伝子の多様な組み合わせ			○			
		動物の配偶子形成と受精				○		
		初期発生の過程			○			
		細胞の分化と形態形成				○		
植物の発生				○				

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	生物	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂版生物（数研出版）						
副教材等	セミナー生物（第一学習社） ニューステージ新生物図表（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年生で学んだ生命現象に加えて、外部環境に対する生物の応答や生物どうしのかかわり、環境と生物との関係を学びます。理解するだけでなく、得た知識を将来自分の行動を決める判断材料にできるような学びを期待します。知見を広げ、物事を科学的に捉え、考察できる力をつけることで、豊かな人生を歩んで欲しいと思います。

2 学習の到達目標

2年生で学習した生物の残りの内容を継続・発展して学習する。生物学の基本的な概念・原理の理解を深め、生物の様々な生命活動とその本質を理解し、いのちの大切さを体得すると同時に、今まで学習した知識を統合整理し、受験にも対応できる考察力を養う。

また、実験や実習にも積極的に取り組むなかで、科学的な見方や考え方を身につけ、日常生活の中で生じる疑問や問題について、自分で考え、解決する能力を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、前期末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

令和2年度 理科

教科	理科	科目	生物	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改訂版生物（数研出版）						
副教材等	セミナー生物（第一学習社） ニューステージ新生物図表（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年生で学んだ生命現象に加えて、外部環境に対する生物の応答や生物どうしのかかわり、環境と生物との関係を学びます。理解するだけでなく、得た知識を将来自分の行動を決める判断材料にできるような学びを期待します。知見を広げ、物事を科学的に捉え、考察できる力をつけることで、豊かな人生を歩んで欲しいと思います。

2 学習の到達目標

2年生で学習した生物の残りの内容を継続・発展して学習する。生物学の基本的な概念・原理の理解を深め、生物の様々な生命活動とその本質を理解し、いのちの大切さを体得すると同時に、今まで学習した知識を統合整理し、受験にも対応できる考察力を養う。

また、実験や実習にも積極的に取り組むなかで、科学的な見方や考え方を身につけ、日常生活の中で生じる疑問や問題について、自分で考え、解決する能力を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果	学習状況 ワークシートの記述 探究活動の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	地学基礎改訂版（啓林館）						
副教材等	ニューステップアップ地学基礎（東京書籍） ニューステージ地学図表（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理学、化学、生物学そして数学といった学問の発展によって、我々人類はさまざまな自然現象を理解することができるようになってきました。そうやって生まれた最先端の学問が「地学」です。地学を学ぶことによって、自然現象に対して正しい知識を養い、さまざまな観点、さまざまなスケールで物事を観察・考察できるようになります。

2 学習の到達目標

固体地球とその構造、地震や火山、地層と化石、太陽系と宇宙の構造などに対する知識を学びます。自然科学に対する幅広い分野を学習し、過去、現在、そして未来の地球・宇宙の姿を考察していきます。科学に対する正しい知識と考察力を身に付け、さまざまな観点から定性的かつ定量的に物事を観察・考察できるようになることが大きな目標です。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、あらゆる自然現象に関心を持ち、意欲的に学習しようとするとともに、時間的・空間的スケールを常に意識するなど、科学的な考え方を習得している。	さまざまな自然現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を定性的かつ定量的に考察している。	観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物、現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	さまざまな自然現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、それらを他の条件、他の現象に対して応用できる。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	地学基礎改訂版（啓林館）						
副教材等	ニューステップアップ地学基礎（東京書籍） ニューステージ地学図表（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理学、化学、生物学そして数学といった学問の発展によって、我々人類はさまざまな自然現象を理解することができるようになってきました。そうやって生まれた最先端の学問が「地学」です。地学を学ぶことによって、自然現象に対して正しい知識を養い、さまざまな観点、さまざまなスケールで物事を観察・考察できるようになります。

2 学習の到達目標

固体地球とその構造、地震や火山、地層と化石、太陽系と宇宙の構造などに対する知識を学びます。自然科学に対する幅広い分野を学習し、過去、現在、そして未来の地球・宇宙の姿を考察していきます。科学に対する正しい知識と考察力を身に付け、さまざまな観点から定性的かつ定量的に物事を観察・考察できるようになることが大きな目標です。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、あらゆる自然現象に関心を持ち、意欲的に学習しようとするとともに、時間的・空間的スケールを常に意識するなど、科学的な考え方を習得している。	さまざまな自然現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を定性的かつ定量的に考察している。	観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物、現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	さまざまな自然現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、それらを他の条件、他の現象に対して応用できる。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	地学	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	地学（啓林館）						
副教材等	センサー地学（啓林館） ニューステージ地学図表（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理学、化学、生物学そして数学といった学問の発展によって、我々人類はさまざまな自然現象を理解することができるようになってきました。そうやって生まれた最先端の学問が「地学」です。地学を学ぶことによって、自然現象に対して正しい知識を養い、さまざまな観点、さまざまなスケールで物事を深く観察・考察できるようになることが大きな目的です。

2 学習の到達目標

固体地球とその構造、地震や火山、地層と化石、大気と海洋などに関する知識を学びます。自然科学に対する幅広い分野を学習し、過去、現在、そして未来の地球・宇宙の姿を考察していきます。科学に対する正確かつ深い知識と考察力を身に付け、さまざまな観点から定性的かつ定量的に物事を観察・考察し、それを日常生活や社会に応用し、どのように役立てていくべきかまで考えることが目標です。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、あらゆる自然現象に関心を持ち、意欲的に学習しようとするとともに、時間的・空間的スケールを常に意識するなど、科学的な考え方を習得している。	さまざまな自然現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を定性的かつ定量的に考察している。	観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物、現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	さまざまな自然現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、それらを他の条件、他の現象に対して応用できる。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	固体地球の概観と活動	地球の概観				○	a: 固体地球の概観と活動に関するさまざまな現象に興味を持ち、意欲的に学習している。 b: 固体地球の概観と活動に関するさまざまな現象の原因と、付随する問題点を考察している。 c: 固体地球の概観と活動の分野に関する観察、実験を行い、その方法を習得している。 d: 固体地球の概観と活動の理解に必要な知識を身に付けている。	学習状況 プリント 定期考査
		プレートテクトニクス				○		
		地球の活動		○				
		固体地球の概観と活動に関する探究活動			○			
後期	地球の歴史	地表の変化と地層			○		a: 地球の歴史に興味を持ち、意欲的に学習している。 b: 地球の歴史に関するさまざまな環境変化の原因と、付随する問題点を考察している。 c: 地球の歴史の分野に関する観察、実験を行い、その方法を習得している。 d: 地球の歴史の理解に必要な知識を身に付けている。	学習状況 プリント 定期考査
		地球・生命・環境の歴史				○		
		私たちの日本列島	○					
		地球の歴史に関する探究活動			○			
後期	大気と海洋	大気の構造				○	a: 大気と海洋に関するさまざまな現象に興味を持ち、意欲的に学習している。 b: 大気と海洋に関するさまざまな現象の原因と、付随する問題点を考察している。 c: 大気と海洋の分野に関する観察、実験を行い、その方法を習得している。 d: 大気と海洋の理解に必要な知識を身に付けている。	学習状況 プリント 定期考査
		大気の運動	○					
		海洋と海水の運動		○				
		気候変動と地球環境			○			
		大気と海洋に関する探究活動			○			

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 理科

教科	理科	科目	地学	単位数	前期2単位 後期2単位	年次	3年次
使用教科書	地学（啓林館）						
副教材等	センサー地学（啓林館） ニューステージ地学図表（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

物理学、化学、生物学そして数学といった学問の発展によって、我々人類はさまざまな自然現象を理解することができるようになってきました。そうやって生まれた最先端の学問が「地学」です。地学を学ぶことによって、自然現象に対して正しい知識を養い、さまざまな観点から物事を深く観察・考察できるようになることが大きな目的です。

2 学習の到達目標

宇宙の構造に関する知識を学びます。自然科学に対する幅広い分野を学習し、過去、現在、そして未来の地球の姿を考察していきます。科学に対する正確かつ深い知識と考察力を身に付け、さまざまな観点から定性的かつ定量的に物事を観察・考察し、それを日常生活や社会に応用し、どのように役立てていくべきかまで考えることが目標です。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活や社会との関連を図りながら、あらゆる自然現象に関心を持ち、意欲的に学習しようとするとともに、時間的・空間的スケールを常に意識するなど、科学的な考え方を習得している。	さまざまな自然現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事象を定性的かつ定量的に考察している。	観察・実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物、現象を科学的に探求する技能を身に付けている。	さまざまな自然現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、それらを他の条件、他の現象に対して応用できる。
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	宇宙の構造	太陽系の天体				○	a:宇宙の構造に興味を持ち、意欲的に学習している。 b:宇宙の構成に関するさまざまな現象の原因と、付随する問題点を考察している。 c:宇宙の構成の分野に関する観察、実験を行い、その方法を習得している。 d:宇宙の構成の理解に必要な知識を身に付けている。	学習状況 プリント 定期考査
		恒星の性質と進化		○				
銀河系と宇宙		○						
後期		宇宙の構成に関する探究活動			○			

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3単位	年次	1年次
使用教科書	使用せず						
副教材等	使用せず						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。 ・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。 ・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。 ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断	c: 運動の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評 価 方 法	受講態度の観察	受講態度の観察 技能観察	技能観察 技能テスト	受講態度 技能観察
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前 期	集団行動 体づくり運動 (男女)	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 体ほぐしの運動 新体力テスト 体力を高める運動	○	○		○	a: 体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとする、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b: ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d: 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
	陸上競技 (男女) 器械体操 (女子)	陸上競技 短距離走 投てき種目 器械体操 側転技 本転技 発展技 演技構成	○	○	○	○	a: 各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止めること、よい演技を讃えようとする、マナーやルールを大切にしようとする、自己責任を果たそうとすることなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能を身につける。 d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

	武道 (男子)	武道(柔道)	○	○	○	○	<p>a: 武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康・安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 生涯にわたって柔道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>c: 武道の特性に応じた、攻防を展開するための得意技を身に付けている。</p> <p>d: 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。</p>	<p>受講態度の観察</p> <p>技能観察</p> <p>技能テスト</p>
	水泳 (男女)	水泳 クロール 平泳ぎ	○	○	○	○	<p>a: 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>c: 水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。</p> <p>d: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。</p>	<p>受講態度の観察</p> <p>技能観察</p> <p>技能テスト</p>

令和2年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	使用せず						
副教材等	使用せず						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
- ・仲間とともにスポーツを考えることで、興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
- ・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2 学習の到達目標

- ・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
- ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく、日常生活で生かせるよう、知識や理解を深めるとともに体力の向上を図る。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断	c: 運動の技能	d: 知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 等	レポート 等	技能観察 技能テスト 等	レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	体づくり運動	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 体ほぐしの運動 新体力テスト 体力を高める運動	○	○		○	a: 体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとする、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b: ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d: 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察 ノート レポート
	水泳	水泳	○	○	○	○	a: 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとする、自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 レポート 技能観察 技能テスト
	武道男子	武道(柔道)	○	○	○	○	a: 武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって柔道を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 武道の特性に応じた、攻防を展開するための得意技を身に付けている。 d: 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察 技能テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ダンス(女子)	ダンス 創作ダンス リズムダンス	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように互いの違いや良さを認めあうこと、よい演技を讃えようとする事、マナーやルールを大切にしようとする事や自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたり各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目、演技特有の技能やイメージを深めた表現が身につけている。 d:技術やダンスの名称、用語、表現の仕方など、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察
	陸上競技	陸上競技 短距離走 跳躍種目	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるよう、よい演技を讃えようとする事、マナーやルールを大切にしようとする事や自己責任を果たそうとする事など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたり各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:各種目の特性に応じた、各種目特有の技能を身につける。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト
	球技	ベース型 ソフトボール ネット型 バドミントン	○	○	○	○	a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事など、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:球技の特性に応じて作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト

	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	陸上競技	陸上競技 長距離走	○	○	○	○	a: 走ることの楽しさや喜びを味わうことができるように互いの頑張りや良さを認めあうこと、安定した走りができるようとすること、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 長距離走の特性に応じた、効率的な走法を身に付けている。 d: 長距離走に関する用語、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 技能観察 技能テスト (タイム計測等)
	球技	ネット型 バドミントン ゴール型 サッカー バスケットボール	○	○	○	○	a: 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとする、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している c: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。 d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している	受講態度の観察 ノート レポート 技能観察 技能テスト

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断
c: 運動の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	使用せず						
副教材等	使用せず						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
- ・仲間とともにスポーツを考えることで、興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
- ・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2 学習の到達目標

- ・生涯体育という観点から種目選択を行い、好きな種目の技術の向上を目指す。さらに指導者の立場を経験することにより、安全性をふまえ自己及びチームの課題の解決ができる能力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断	c: 運動の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評 価 方 法	受講態度の観察 授業ノート 等	授業ノート レポート 等	技能観察 技能テスト 等	授業ノート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	体づくり運動	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 体ほぐしの運動 新体力テスト 体力を高める運動	○	○		○	a: 体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとする事、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。 b: ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 d: 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。	受講態度の観察 ノート レポート
	水泳	水泳	○	○	○	○	a: 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとする事や自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b: 生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。 d: 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。	受講態度の観察 レポート 技能観察 技能テスト

	選択体育(4月～10月)	バスケットボール バドミントン バレーボール 卓球 ソフトボール サッカー テニス	○	○	○	○	<p>a: 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとする、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している</p> <p>c: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。</p> <p>d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している</p>	<p>受講態度の観察</p> <p>ノート</p> <p>レポート</p> <p>技能観察</p> <p>技能テスト</p>
--	--------------	---	---	---	---	---	--	--

	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期	体づくり運動	<p>集団行動</p> <p>ラジオ体操</p> <p>体ほぐしの運動</p> <p>体力を高める運動</p>	○	○		○	<p>a: 体づくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとする、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>b: ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p> <p>d: 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。</p>	<p>受講態度の観察</p> <p>ノート</p> <p>レポート</p>

	選択体育（11月～1月）	バスケットボール バドミントン バレーボール 卓球 ソフトボール サッカー テニス	○	○	○	○	<p>a: 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを大切にしようとする、自己責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している</p> <p>c: 球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。</p> <p>d: 技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している</p>	<p>受講態度の観察 ノート レポート 技能観察 技能テスト</p>
--	--------------	---	---	---	---	---	--	--

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断
c: 運動の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	1年次
使用教科書	「現代高等保健体育」改訂版（大修館書店 出版）						
副教材等	図説現代高等保健 改訂版（大修館書店 出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・健康・安全について理解しよう。
- ・健康的な生活行動について学ぶ。
- ・日常生活で直面する健康課題を知り、その解決方法を考える。
- ・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
- ・身近な健康問題に興味をもってもらう。

2 学習の到達目標

- ・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
- ・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
- ・健康や安全に対する社会的な取組を知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
- ・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評 価 方 法	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング その他成果物	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング その他成果物
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	現代社会と健康	私たちの健康のすがた 1.わが国における健康水準の向上 2.わが国における健康問題の変化	○	○	○	a:健康水準の向上について健康指標を調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:健康水準向上の背景について考え、自身の考えを整理し、説明することができる。 c:健康水準や疾病構造の変化に伴って「健康のすがた」が変わってきていることを理解し、新たな健康課題について知る。	ワークシート ブレインストーミングの成果物
		健康のとらえ方 1.健康についての多様な考え方 2.健康の成り立ちとその要因	○	○	○	a:「健康」とは何かについて資料を探したり、見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:「健康」について、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c:「健康」は様々な要因の影響を受けながら主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを説明したり、記述したりすることができる。	ワークシート
		健康と意思決定・行動選択 1.意思決定・行動選択とそれに影響を与える要因 2.健康的な意思決定・行動選択を実現する工夫	○	○	○	a:健康を保持増進する時の意思決定や行動選択に関連している要因を調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:個人、社会生活や事例などと比較したり分析したりする。また、筋道を立てて説明することができる。 c:適切な意思決定や行動選択を行う過程について理解し、個人の力だけでなく健康にかかわる環境づくりについて記述、説明することができる。	ワークシート
		生活習慣とその予防 1.生活習慣病とは 2.生活習慣病の予防	○	○	○	a:日常の生活行動と生活習慣病について調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:生活習慣病の要因と自身の日常の生活行動を比較・分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c:生活習慣病の例をあげ、なぜ生活習慣病と呼ばれるのかを理解し、その予防法について記述、説明できる。	ワークシート
		食事と健康 1. 健康的な食生活の重要性と意義 2.健康的な食生活習慣の形成	○	○	○	a:健康な生活を送る上での食事の意味について資料を探したり、調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:自身の食生活と健康的な食事について比較・分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c:健康的な食事について理解し、健康的な食事のポイントについて記述、説明することができる。また、自身の食生活を見直し、改善方法を考えることができる。	ワークシート

		運動と健康 1. 健康から見た運動の意義 2. 健康づくりのための運動習慣の形成	○	○		a: 健康な生活を送る上での運動の意味について多様な運動の種類やその効果について調べ、まとめるなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 運動が健康に及ぼす影響について調べたことを基に、自身の生活と比較・分析することができる。	ワークシート
前 期	現代社会と健康	休養・睡眠と健康 1. 健康からみた休養・睡眠の意義 2. 健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方	○	○		a: 健康づくりのための休養の必要性について理解し、健康により休養・睡眠の取り方を説明・記述することができる。 b: 休養・睡眠が健康に及ぼす影響について調べたことを基に、自身の生活と比較・分析することができる。	ワークシート ディスカッション等
		喫煙と健康 1. 喫煙の健康影響 2. 喫煙開始の要因と依存症 3. 喫煙への対策	○	○	○	a: 「喫煙」による健康被害や、有害物質について調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 「喫煙」がもたらす健康被害について自身の生活や社会生活の事例を基に喫煙対策について分析することができる。 c: 喫煙者やその周囲の人に起こる健康被害について理解し、日本や世界各国における喫煙対策について例を上げ、説明することができる。	ワークシート ディスカッション等
		飲酒と健康 1. 飲酒の影響 2. 飲酒開始の要因と社会問題 3. 飲酒への対策	○	○	○	a: 飲酒が脳や体にどのような影響を及ぼすか、またその健康影響について調べるなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 飲酒による健康影響について設定された課題に対して自身の考えや課題解決策を導き出すことができる。 c: 飲酒による短期的影響と長期的欲求について理解し、健康問題に対する個人や社会環境への対策の例を挙げるなどの説明及び記述ができる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		薬物乱用と健康 1. 薬物乱用の健康影響 2. 薬物乱用開始の要因と社会問題 3. 薬物乱用防止と対策	○	○	○	a: 薬物乱用について資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 薬物乱用が個人及び周囲の人々、社会にも影響があることを知り、自身でできる薬物乱用への対策について考え、発表することができる。 c: 薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について理解し、その防止に向けた個人や社会環境への対策について説明、記述することができる。	ワークシート ロールプレイングによる判別発表等

		現代の感染症 1. 感染症とは 2. 新たに注目される感染症 3. 再び問題となっている感染症	○	○	○	a: 感染症について調べ、現在どのような感染症があるのか、また、流行しているのかを調べたり、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 感染症を予防し流行を防ぐためにはどのような対策が必要か、個人でできる対策、社会的な対策に分類して考えることができる。 c: 感染症問題に関して例をあげて説明したり、感染症の予防対策について、個人でできる対策と社会的な対策について分類して、記述・説明できる。	ワークシート 課題学習の 成果物等
後 期	現代社会と健康	感染症の予防 1、 感染予防の原則 2、 現代の感染症対策	○	○		a: 感染症を予防し流行を防ぐためにはどのような対策が必要か、個人でできる対策、社会的な対策に分類して考えることができる。 b: 感染症問題に関して例をあげて説明したり、感染症の予防対策について、個人でできる対策と社会的な対策について分類して、記述・説明できる。	ワークシート 課題学習の 成果物等
		性感染症・エイズとその予防 1. 性感染症・エイズ 2. 性感染症・エイズの予防	○	○	○	a: 性感染症・エイズとその予防について課題の解決に向けての調べものや、意見交換・話し合いなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 性感染症・エイズの現状を知り、感染拡大の理由やどのように予防するのかを考え、意見交換することができる。 c: 性感染症・エイズとその予防には、社会的な対策を前提とした個人の取組が必要であることについて理解し、説明や記述することができる。	ワークシート 課題学習の 成果物等
		欲求と適応機制 1. 欲求・脳の働き 2. 欲求不満と適応規制	○	○	○	a: 欲求・欲求不満・適応機制について心と体のつながりについて調べたり、自身の行動を振り返り記述するなどの学習活動に取り組もうとする。 b: 欲求の種類を理解し、欲求を分類したり、適応機制について自身の行動を振り返り、心と体がどのように作用しているか考えることができる。 c: 人間の欲求の種類を理解し、欲求不満に対処するための適応機制の例をあげて説明、記述することができる。	ワークシート 課題学習の 成果物等
後 期	現代社会と健康	心身の相関とストレス 1. 心身相関のしくみとストレス 2. ストレスの影響と心の健康	○	○	○	a: 心身相関やストレスについて考え、心と体の関係性、ストレスについて調べたりする学習活動に取り組もうとする。 b: 心と体の関連について考え、ストレスの原因について自身の考えを発表したり整理したりすることができる。 c: 心と体の働きが相互に影響しあう関係やストレスの心理・社会的要因と物理的要因について説明・記述することができる。	ワークシート 課題学習の 成果物等

		<p>ストレスへの対処</p> <p>1 原因への対処</p> <p>2.とらえ方を変え ることによる対処</p> <p>3.気分転換やリラク セーションなどに よる対処</p> <p>4.信頼できる人や 専門家への相談</p>	○	○	○	<p>a: ストレスへの対処について、調べたり、自身の 実生活と置き換えて考えたりする学習活動に 取り組もうとする。</p> <p>b: ストレスに対するさまざまな対処法について 調べ、どのようにストレスと関わっていくこと が必要か、自身の生活を振り返って考えること ができる。</p> <p>c: ストレスへのさまざまな対処法の例をあげる ことができ、自己実現と心の健康の関係につ いて考え、記述することができる。</p>	<p>ワークシート 課題学習の 成果物等</p>
		<p>心の健康と自己実 現</p> <p>1. 自己実現と心の 健康との関係</p> <p>2. 自己実現の 道すじと達成</p>	○	○	○	<p>a: 自己実現について考える</p> <p>b: 自己評価と自己実現の関係を考慮し、道すじを 考えて、達成までの段階に応じた評価などを考 える。</p> <p>C: 他者についても尊重してゆくことを考える</p>	<p>ディスカッ ション等の事 例を用いた 活動 ワークシート 課題学習の 成果物</p>
		<p>交通事故の現状と 要因</p> <p>1.交通事故の現状</p> <p>2.交通事故の要因</p>	○	○	○	<p>a: 交通事故の現状とその原因について資料を見 たり、読んだりするなどの学習活動に取り組 もうとする。</p> <p>b: 交通事故の現状を踏まえ調べたことを基に課 題を見つけたり、整理したりすることができる。</p> <p>c: 交通事故には、車両の特性や、当事者の意識や 行動、周囲の環境が関連していることにつ いて理解し、記述することができる。</p>	<p>ディスカッ ション等の事 例を用いた 活動 ワークシート 課題学習の 成果物</p>
		<p>交通社会における 運転者の資質と責 任</p> <p>1.安全な運転のた めの資質</p> <p>2.交通事故の責任 と補償</p>	○	○	○	<p>a: 交通社会で必要な資質と責任や交通事故など による傷害がない安全な社会づくりにつ いて資料を調べたり、まとめたりする学習活 動に取り組もうとする。</p> <p>b: 交通社会で必要な資質と責任や交通事故など による傷害がない安全な社会づくりにつ いて学習したことを個人および社会生活に 関する事例と比較・分析するなどして、説 明することができる。</p> <p>c: 事故を防止し、安全な社会づくりをする には自他の生命を尊重し、個人の心身状 態や適切な行動や環境の整備が重要であ ることを理解し、記述することができる。</p>	<p>ディスカッ ション等の事 例を用いた 活動 ワークシート 課題学習の 成果物</p>
		<p>安全な交通社会づ くり</p> <p>1. 法的な整備と 施設・設備の 充実</p> <p>2. 車の安全性の 向上</p>	○	○		<p>a: 事故を防止し、安全な社会づくりをする には、環境の整備が重要であることを理 解し、記述することができる。</p> <p>b: 交通事故には、車両の特性や、当事者の 意識や行動、周囲の環境が関連している ことについて理解し、記述することが可 能である。</p>	

	<p>応急手当の意義とその基本</p> <p>1. 応急手当の意義 2. 応急手当の手順</p>	○	○	○	<p>a: 応急手当の必要性や意義について調べ、応急手当が必要な時にどのような行動が必要か考え、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。</p> <p>b: 応急手当が必要な場面に遭遇した際、どのような行動をとるか考え、グループ等で発表し合うことができる。</p> <p>c: 応急手当の意義、重要性について理解し、傷病者を発見したときにどのように対応すべきかポイントをあげて、説明、記述することができる。</p>	ワークシート 課題学習の 成果物等
	<p>心肺蘇生法</p> <p>1. 心肺蘇生法の意義と原理 2. 心肺蘇生法の手順</p>	○	○	○	<p>a: 心肺蘇生法の手順や AED の使い方を実践したり、その注意点を考えるなどの学習活動に取り組もうとする。</p> <p>b: 心肺蘇生法や AED の実践や、他者が実施した手順や方法が正しいかを判断したり指摘し、互いに教え合い活動ができる。</p> <p>c: 胸骨圧迫、人工呼吸、AED による除細動の原理や心肺蘇生法の各手順のポイントを理解し、実践したり、記述することができる。</p>	ワークシート 課題学習の 成果物等
	<p>日常的な応急手当</p> <p>1. けがの応急手当 2. 熱中症の応急手当</p>	○	○	○	<p>a: 日常生活のどのような場面や状況で傷害等が発生するか調べたり、考えたりするなどの学習活動に取り組もうとする。</p> <p>b: 日常生活で起こりうる傷害や熱中症などの疾病について学んだことを基に、どのような応急手当が必要か調べ、まとめたり、説明したりすることができる。</p> <p>c: 日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法を理解し、記述することができる。</p>	ワークシート 実習
	<p>心肺蘇生法を実習しよう</p>	○	○	○	<p>a: 日常生活において意識のない傷病者を発見した時に、どのように対応したらよいかを考えられるようにする。</p> <p>b: 心肺蘇生の方法について学んだことを基に、何に留意して行っていないかといけなさを考え、まとめることができる。</p> <p>c: ダミーの人形を使って心肺蘇生法を行い、実際に直面したときにできるように行う。</p>	

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断 c: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	「現代高等保健体育」改訂版 (大修館書店 出版)						
副教材等	図説現代高等保健 改訂版 (大修館書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・健康・安全について理解しよう。
- ・健康的な生活行動について学ぶ。
- ・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
- ・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
- ・身近な健康問題に興味をもってもらう。

2 学習の到達目標

- ・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
- ・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
- ・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
- ・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観 点 の 趣 旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評 価 方 法	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング グループ単位での研究発表	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング グループ単位での研究発表	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング グループ単位での研究発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	現代社会と健康	交通事故の現状と要因 1.若者では自動車と二輪車の事故が多い 2.3つの要因がかかわって交通事故が起こる	○	○	○	a:交通事故の現状とその原因について資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:交通事故の現状を踏まえ調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりすることができる。 c:交通事故には、車両の特性や、当事者の意識や行動、周囲の環境が関連していることについて理解し、記述することができる。	ディスカッション等の事例を用いた活動 ワークシート
		交通社会における運転者の資質と責任 1.運転者には資質と責任が必要である 2.交通事故の責任と補償	○	○	○	a:交通社会に必要な資質と責任について資料を調べたり、まとめたりする学習活動に取り組もうとする。 b:交通社会に必要な資質と責任について学習したことを個人および社会生活に関する事例と比較・分析するなどして、説明することができる。 c:事故を起こしてしまった場合の責任について、補償のための保険について理解し、説明することができる。	ディスカッション等の事例を用いた活動 ワークシート
		安全な交通社会づくり 1.安全な交通社会づくりのためのような対策がおこなわれているか 2.車の安全性を高める対策	○	○	○	a:安全な交通社会づくりについて資料を調べたり、まとめたりする学習活動に取り組もうとする。 b:安全な交通社会づくりについて学習したことを個人および社会生活に関する事例と比較・分析するなどして、説明することができる。 c:事故を防止し、安全な社会づくりをするには自他の生命を尊重し、個人の心身状態や適切な行動や環境の整備が重要であることを理解し、記述することができる。	ディスカッション等の事例を用いた活動 ワークシート
		応急手当の意義とその基本 1.適切な応急手当は命を救い、痛みをやわらげる 2.応急手当の最初のポイントは確認と観察である	○	○	○	a:応急手当の必要性や意義について調べ、応急手当が必要な時にどのような行動が必要か考え、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。 b:応急手当が必要な場面に遭遇した際、どのような行動をとるか考え、グループ等で発表し合うことができる。 c:応急手当の意義、重要性について理解し、傷病者を発見したときにどのように対応すべきかポイントをあげて、説明、記述することができる。	ワークシート

		心肺蘇生法 1.心肺蘇生法は原理にもとづいている 2.心肺蘇生法には適切な手順がある	○	○	○	a:心肺蘇生法の手順や AED の使い方を実践したり、その注意点を考えるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:心肺蘇生法や AED の実践や、他者が実施した手順や方法が正しいかを判断したり指摘し、互いに教え合い活動ができる。 c:胸骨圧迫、人工呼吸、AED による除細動の原理や心肺蘇生法の各手順のポイントを理解し、実践したり、記述することができる。	ワークシート 実習
		日常的な応急手当 1.けがに 2.熱中症には適切な手順がある	○	○	○	a:日常生活のどのような場面や状況で傷害等が発生するか調べたり、考えたりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:日常生活で起こりうる傷害や熱中症などの疾病について学んだことを基に、どのような応急手当が必要か調べ、まとめたり、説明したりすることができる c:日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法を理解し、記述することができる。	ワークシート
前期	生涯を通じる健康	思春期と健康 1.心と体の変化について知る 2.心が不安定であることを理解し、自らコントロールしていくことが大切	○	○	○	a:性周期のメカニズムをはじめとする生殖器のはたらきについて調べる学習活動に取り組もうとする。 b:思春期の心について学んだことを基に、自分自身を客観的に分析することができる。 c:女性の性周期がホルモンの連鎖によって起こることを理解し、記述、説明することができる。	ワークシート ディスカッション等
		性意識と性行動の選択 1.性意識は個人差があり、男女の間にも大きな差がある 2.性に関わる意志決定・行動選択は人生に大きく影響する	○	○	○	a:性意識の男女差、性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:性に関する悩みや不安は自分一人が持つものではないことを知ること。性に関わる意志決定・行動選択はどのようにすれば望ましいものになるのかを考え、発表することができる。 c:性意識の男女差、性に関する情報が性行動に影響を及ぼすことについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	ワークシート ディスカッション等
		結婚生活と健康 1. 結婚には心の発達が必要 2. 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動	○	○	○	a:心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとする。 b: 心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について総合的に考え、判断し、それらを表している。 c: 心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について、基礎的な事項を理解している。	ワークシート ロールプレイング

前期	生涯を通じる健康	<p>妊娠・出産と健康</p> <p>1. 妊娠・出産の過程における健康課題</p> <p>2. 活用できる母子保健サービス</p>	○	○	○	<p>a: 妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて学習したことを、個人および社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</p> <p>c: 受精・妊娠・出産の過程における健康課題、妊娠・出産期における生活上の注意や周囲の支援、出産期に活用できる母子保健サービスについて理解し、説明することができる。</p>	<p>ディスカッション等の事例を用いた活動</p> <p>ワークシート</p>
		<p>家族計画と人口妊娠計画</p> <p>1. 望まない妊娠をさけるための避妊法</p> <p>2. 日本における人工妊娠中絶</p>	○	○	○	<p>a: 家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について学習したことを、個人および社会生活や事例などと比較したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。</p> <p>c: 家族計画の意義、コンドームやピルを使用した適切な避妊法、人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について、基礎的な事項を理解している。</p>	<p>ディスカッション等の事例を用いた活動</p> <p>ワークシート</p>
後期	生涯を通じる健康	<p>加齢と健康</p> <p>1. 加齢に伴う心身の変化</p> <p>2. 中高年期を健やかに過ごすには</p>	○	○	○	<p>a: 加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて、話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて、資料などで調べたことをもとに、課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>c: 加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて、基礎的な事項を理解している。</p>	<p>ディスカッション等の事例を用いた活動</p> <p>ワークシート</p>
		<p>環境をテーマに調べ学習をし、パワーポイントや資料を作成し、発表する</p>	○	○	○	<p>a: グループで興味・関心のある環境問題についてリストアップし、テーマの設定、資料集め、発表にいたるまでの学習活動に工夫を凝らし取り組もうとする。</p> <p>b: 設定したテーマについて、何が問題なのか、自分たちにできることは何なのかを誠実に考え、説明する。</p> <p>c: 設定したテーマについて、グループであらゆる角度から掘り下げ、理解を深める。</p>	<p>グループでの研究発表</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断 c:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

令和2年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「MOUSA 1」 (教育芸術社)						
副教材等	高校生のための 音楽研究ノート (教育芸術社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通じて学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや・実技テスト・筆記小テストで評価します。
- ・音楽の授業では様々な活動をします。得意なこと、苦手なこと、人それぞれだと思いますが、お互いに教えあったり一緒に考えたりしながら、コミュニケーションの力・音楽で表現する力・楽譜から読み取る力などを身に付けます。積極的に参加することで、新たな発見があると思います。
- ・音楽が、生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	イメージを持って豊かな声で歌おう	【歌唱】 校歌 Believe 合唱曲	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受し、表現している。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
前期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 リコーダーアンサンブル	○	○	○	○	a: アンサンブルに関心を持ち、リコーダーの音色・特徴を生かして演奏する。 b: リズムの特徴やフレーズをとらえ、表現する。 c: 表現したいことを伝えるための演奏技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	オーケストラ入門	【鑑賞】 8月末、音楽鑑賞会の予習	○			○	a: 各楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気等を感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
前期	語感を生かして表現しよう	【歌唱】 合唱曲	○	○	○		a: 曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって学ぼうとしている。 b: 楽曲を形づくる要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感受し、表現意図をもっている。 c: 音楽表現をするために必要な発声・発音・呼吸法・読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

後期	ギターアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ギターアンサンブル	○	○	○	a:ギターの基本的奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:各パートの役割(ベース・リズム・メロディ・ハーモニー)を知覚し、その働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:タブラチュアの読譜、運指など、表現に必要な技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
後期	作曲にチャレンジしよう	【創作】 アジアの音階で4～8小節の旋律を創作	○	○	○	a:日本およびアジアの伝統音楽に触れ、それぞれの音階の特徴を味わうことで、イメージをもって音楽を創り出す学習に主体的に取り組もうとしている。 b:アジアの伝統的な音階の特徴を知覚し、それらが醸し出す雰囲気を感じながら、どのように音楽を創るかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ・記譜の仕方等、必要な創作技能を身につけ、創造的に表現している。	
後期	器楽合奏の楽しみ	【器楽】 器楽合奏	○	○	○	a:それぞれの楽器に興味を持ち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の持つ特性・音色を知覚し、それが生み出す特性や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:表現に必要な器楽の技能、曲アーティキュレーション等、基本的な演奏技能を身に付けている。	

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度
c:音楽表現の技能

b:音楽表現の創意工夫
d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「MOUSA 2」 (教育芸術社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通じて学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや・実技テスト・筆記小テストで評価します。
- ・音楽の授業では様々な活動をします。得意なこと、苦手なこと、人それぞれだと思いますが、お互いに教えあったり一緒に考えたりしながら、コミュニケーションの力・音楽で表現する力・楽譜から読み取る力などを身に付けます。積極的に参加することで、新たな発見があると思います。
- ・音楽が、生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	イメージを持って豊かな声で歌おう	【歌唱】	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受し、表現している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
前期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 リコーダーアンサンブル	○	○	○		a:アンサンブルに関心を持ち、リコーダーの音色・特徴を生かして演奏する。 b:リズムの特徴やフレーズをとらえ、表現する。 c:表現したいことを伝えるための演奏技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	クラシックにくわしくなろう!!	【鑑賞】 8月末、音楽鑑賞会の予習	○			○	a:各楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気等を感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
前期	世界の様々な言語で表現しよう	【歌唱】 日本、イタリア、ドイツの歌曲	○	○	○		a:それぞれの国の言葉が持つリズム・音楽性に関心を持ち、広い視野をもって学ぼうとしている。 b:楽曲を形づくる要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現意図をもっている。 c:音楽表現をするために必要な発声・発音・呼吸法・読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

後期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 グループに分かれ、演奏したい曲のアレンジをしながらアンサンブル発表を行う	○	○	○	a: さまざまな楽器の奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 各パートの役割（ベース・リズム・メロディ・ハーモニー）を知覚し、その働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 読譜、運指など、表現に必要な技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
後期	作曲にチャレンジしよう	【創作】 オリジナル楽曲を作曲	○	○	○	a: 世界のさまざまな音階に触れ、それぞれの特徴を味わうことで、イメージをもって音楽を創り出す学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 各音階の特徴を知覚し、それらが醸し出す雰囲気を感じながら、どのように音楽を創るかについて表現意図をもっている。 c: イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ・記譜の仕方等、必要な創作技能を身につけ、創造的に表現している。	
後期	沖縄の音楽	【器楽・歌唱】 海の声	○	○	○	a: 沖縄の音階や三線に興味を持ち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 沖縄音階の特徴を知覚し、それが生み出す特性や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c: 表現に必要な三線の技能、曲に適した声の出し方など、基本的な演奏技能を身に付けている。	

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「Joy of music」 (教育芸術社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通じて学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや・実技テスト・筆記小テストで評価します。
- ・音楽の授業では様々な活動をします。得意なこと、苦手なこと、人それぞれだと思いますが、お互いに教えあったり一緒に考えたりしながら、コミュニケーションの力・音楽で表現する力・楽譜から読み取る力などを身に付けます。積極的に参加することで、新たな発見があると思います。
- ・音楽が、生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	イメージを持って豊かな声で歌おう	【歌唱】	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受し、表現している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
前期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 リコーダーアンサンブル	○	○	○		a:アンサンブルに関心を持ち、リコーダーの音色・特徴を生かして演奏する。 b:リズムの特徴やフレーズをとらえ、表現する。 c:表現したいことを伝えるための演奏技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	クラシックにくわしくなろう!!	【鑑賞】 8月末、音楽鑑賞会の予習	○			○	a:各楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気等を感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
前期	演劇と音楽	【歌唱・鑑賞】	○	○	○	○	a:リズム・メロディ・登場人物の台詞等に注目し、様々な劇と音楽の関わりに興味を持って取り組んでいる。 b:楽曲を形づくる要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現意図をもっている。 c:音楽表現をするために必要な発声・発音・呼吸法・読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

後期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 グループに分かれ、演奏した い曲のアレンジしながらアン サンブル発表を行う	○	○	○		a:さまざまな楽器の奏法に関 心を持ち、アンサンブルで演奏 する学習に主体的に取り組も うとしている。 b:各パートの役割（ベース・リ ズム・メロディ・ハーモニー） を知覚し、その働きを感受しな がら、どのように演奏するかに ついて表現意図をもっている。 c:読譜、運指など、表現に必要 な技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
後期	作曲にチャレンジしよう	【創作】 オリジナル楽曲を作曲	○	○	○		a:世界のさまざまな音階に触 れ、それぞれの特徴を味わうこ とで、イメージをもって音楽を 創り出す学習に主体的に取り 組もうとしている。 b:各音階の特徴を知覚し、それ らが醸し出す雰囲気を感じし ながら、どのように音楽を創る かについて表現意図をもつて いる。 c:イメージに沿った旋律やリ ズムの組み合わせ・記譜の仕方 等、必要な創作技能を身に付 け、創造的に表現している。	

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

令和2年度 美術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校生の美術 1 (日文)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

講義型の授業に終始することなく、感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野それぞれにおいて全員が主体的に思考し、活動できる授業づくりを行う。

2 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術とは	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術 I」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー	○			○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c: クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	色彩研究・絵画制作	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 ・色彩構成 3×3のマスを3つ用意し、それぞれの中央マスに明度の違うグレイを着色する。着色した中央マスのグレイの明度と等しくなるよう残りの8マスを任意の色彩で着色する。 ・絵画制作 同じ明度の色のみを使い絵画制作を行う。 ・鑑賞 作品プレゼン・ワークプリントにまとめる。	○	○	○		a: 絵の具を用いた絵画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 絵の具など、表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現しようとしている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

前期・後期	日本の美術、発見	【鑑賞】 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	○			○	a: 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d: 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	鑑賞ワークシート
	木版画制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・スケッチ ・制作 与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 木版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c: 木版画の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
	Tシャツ染め	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・制作 藍やろうけつ、タイダイ等、染色の基本となる染めを身近なマテリアルを用い学ばせる。 ・相互鑑賞	○		○	○	a: Tシャツ染めに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 c: 染めの特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

令和2年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高校生の美術2（日文）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義型の授業に終始することなく、感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野それぞれにおいて全員が主体的に思考し、活動できる授業づくりを行う。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、学習イメージを持つ。 ・クロッキー	○			○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c: クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	絵画からの色彩抽出1	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・制作 過去の名画から任意で一枚選び、その作品に使われている色味を抜き出し絵の具による色彩構成を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 絵画からの色彩抽出に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 絵の具など、表現形式の特性を生かし、工夫して表現しようとしている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
	絵画からの色彩抽出2	【デザイン】【鑑賞】 ・制作 抽出した色味のみを使用し、既存のプロダクト製品に彩色し再構築を行う。(平面) ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 絵画からの色彩抽出に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 絵の具など、表現形式の特性を生かし、工夫して表現しようとしている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品

2学期	日本の美術、発見	【鑑賞】 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	○			○	a: 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d: 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	学習活動の様子
	銅版画制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・スケッチ ・制作 与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 銅版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c: 銅版画の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	CM制作	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ(絵コンテ)を作成する。 ・班で協力してカメラで撮影をする。 ・コンピューターで編集を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。 c: カメラやコンピューター、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 d: 映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	学習活動の様子 制作の様子 作品

令和2年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高校美術3 (日文)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

講義型の授業に終始することなく、感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野それぞれにおいて全員が主体的に思考し、活動できる授業づくりを行う。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	オリエンテーション	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、学習イメージを持つ。 ・クロッキー	○			○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c: クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	絵画からの色彩抽出1	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・制作 過去の名画から任意で一枚選び、その作品に使われている色味を抜き出し絵の具による色彩構成を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 絵画からの色彩抽出に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 絵の具など、表現形式の特性を生かし、工夫して表現しようとしている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品
	絵画からの色彩抽出2	【デザイン】【鑑賞】 ・制作 抽出した色味のみを使用し、既存のプロダクト製品に彩色し再構築を行う。(平面) ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 絵画からの色彩抽出に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 絵の具など、表現形式の特性を生かし、工夫して表現しようとしている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品

2学期	日本の美術、発見	【鑑賞】 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	○			○	a: 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d: 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	学習活動の様子
	銅版画制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・スケッチ ・制作 与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 銅版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c: 銅版画の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	CM制作	【映像メディア表現】 【鑑賞】 ・アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ(絵コンテ)を作成する。 ・班で協力してカメラで撮影をする。 ・コンピューターで編集を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。 c: カメラやコンピューター、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 d: 映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	学習活動の様子 制作の様子 作品

令和2年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	書道「書 I」 (教図)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

小中学校の書写から大きく発展させ、芸術として楽しめる書道をめざします。

「漢字かな交り」と「漢字一字」創作を中心とした二本柱で進めていきます。

身近に飾れる作品を創ることで達成感を味わい、生活の中で書を楽しむ心情を育てます・

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育て、感性を高める。

芸術としての書の表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 書への関心・意欲・態度	b: 書表現の構想と工夫	c: 創造的な書表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書に関心を持ち、作品を創る意欲に満ちているか、制作に真面目に向き合えるかを見る。	長期間にわたる作品制作のファイルによって、制作途中の発想、技術、完成度をみる。	力が筆毛を通じて紙にしっかり伝わるような技術を指導し、それが修得できているかを見る。	過去の作品や、お互いの作品を味わい、言葉で伝えることができるかを見る。
評 価 方 法	観察 提出作品 合評会 準備と片付け パネル表装作品	観察 提出作品 作品掲示 発表	観察 提出作品	観察 作品掲示

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和2年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	書Ⅱ (教図)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「漢字かな交り作品」創作と「漢字一字」創作を中心とした二本柱で進めていきます。

壁面に展示する作品を制作して達成感を味わうとともに生活の中で書を楽しむ心情を育てます・

2 学習の到達目標

芸術としての書の表現と鑑賞の基礎的な能力を育て、日本独自の書の文化について理解を深める。

生涯にわたり書を楽しむことができるようにする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書に関心を持ち、作品を創る意欲に満ちているか、制作に真面目に向きあっているかを見る。	長期間にわたる作品制作のファイルによって、制作途中の発想、技術、完成度をみる。	力が筆毛を通じて紙にしっかりと伝わるような技術を指導し、それが修得できているかを見る。	お互いの作品を味わい、感じたことを言葉で表現することができるかを見る。
評 価 方 法	観察 提出作品 合評会 準備と片付け パネル表装作品	観察 提出作品 作品掲示 発表	観察 提出作品	観察 作品掲示

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和2年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	書Ⅲ (教図)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

「漢字かな交り作品」創作と「漢字一字」創作を中心とした二本柱で進めていきます。

壁面に展示する作品を制作して達成感を味わうとともに生活の中で書を楽しむ心情を育てます・

2 学習の到達目標

芸術としての書の表現と鑑賞の基礎的な能力を育て、日本独自の書の文化について理解を深める。

生涯にわたり書を楽しむことができるようにする。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書に関心を持ち、作品を創る意欲に満ちているか、制作に真面目に向きあっているかを見る。	長期間にわたる作品制作のファイルによって、制作途中の発想、技術、完成度をみる。	力が筆毛を通じて紙にしっかり伝わるような技術を指導し、それが修得できているかを見る。	お互いの作品を見て感じたことを、言葉で表現できるかを見る。
評 価 方 法	観察 提出作品 合評会 準備と片付け パネル表装作品	観察 提出作品 作品掲示 発表	観察 提出作品	観察 作品掲示

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	古典臨書	曹全碑 金文 甲骨文	○	○	○	○	a:筆がうまく使えているか b:デッサン力があるか c:筆脈の理解ができているか d:鑑賞力があるか	
	→ シャツ制作	Tシャツデザイン原稿制作 うちわ創作 展示	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:空間認識力があるか d:鑑賞力があるか	
	漢字かな交	漢字かな交り創作練習	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:空間認識力があるか d:鑑賞力があるか	
後期	漢字かな交り創	課題文章の作品創作	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:リズムをつかめているか d: 空間認識力があるか e:鑑賞力があるか	
	り創作	自由課題文章の作品創作 裏打ち表装 展示	○	○	○	○	a: 筆がうまく使えているか b:創意工夫ができるか c:リズムをつかめているか d: 空間認識力があるか e:鑑賞力があるか a:	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

学校番号	2002
------	------

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	第1学年	Perspective English Communication Ⅰ

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、事実や意見などを多様な点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

話題別の会話文で読み・聞く能力を伸ばし、発音・構文・文法を学んだあと、表現活動で書く・話す能力を養う。情報や考えをまとめて、英語で発表できる力を養う。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」(3単位) 及び「英語表現Ⅰ」(2単位)

主な教材：「コミュニケーション英語Ⅰ」 Perspective English Communication Ⅰ

「英語表現Ⅰ」 DUALSCOPE English Expression Ⅰ

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 準備した上で、日常的な事柄や自分自身、日本の文化など身近なことについて複数の文で描写できる。 定型の表現を使って、簡単なやり取りができる。 自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。 	(コミュ英Ⅰ) レシテーション インタビュー テスト (英表Ⅰ)	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 簡単な語や基礎的な表現を用いて身近なことについて複数の文を書くことができる。 趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて簡条書きで複数の文を書くことが出来る。 	(英表Ⅰ) 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 事物に関する紹介や対話などを聞いてその概要を捉えることができる。 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。 	(コミュ英Ⅰ) リスニングテスト 定期考査 (英表Ⅰ) リスニングテスト 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 100語の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したあと適切なポーズを伴い音読することが出来る。 	(コミュ英Ⅰ) リーディング テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 間違うことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて表現している 授業を通して学んだことや、学校や家庭などにおける日常生活の中で学んだり経験したりしたことを積極的に活用して表現している 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる 場面や状況に応じた適切な表現を用いることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容的に正確に理解することができる 説明などを读んだり聞いたりして、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、表現活動に必要な文化的背景について理解している
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

4 学習の活動

単元 (配当#時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 Flowers Across the Ocean (5 #時間)	・国際関係 ・文化	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		海を渡った桜について知り、日本とアメリカ、日本と世界の国々との関係を自ら考えさせる。	・本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等）。 ・Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	海を渡った桜について知り、日本とアメリカ、日本と世界の国々との関係を自ら積極的に考えることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehension の確認。	
		「外国語表現の能力」				
		キーワードや写真を使って自分な好きな植物について口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話（retelling）する。	キーワードや写真を使って、自分な好きな植物について口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		桜と国際関係について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いたり読んだりしたことを理解する。	桜と国際関係について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
「言語や文化についての知識・理解」						
「基本単語」「助動詞」「to-不定詞」の使い方を理解する。英語の音の連続について理解し、音読する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「基本単語」「助動詞」「to-不定詞」の使い方を理解している。英語の音の連続について理解し、音読することができる。	Exercises の確認。言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。			
単元 (配当#時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 2 We Can All Make a Difference (6 #時間)	・社会問題(水問題) ・国際理解 ・社会貢献	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		Ryan Hreljac が始めた、Ryan's Well Foundation について知り、小さな行いから少しずつ世界を変えることができることを知り、自分が世界に向けてできることは何かを考える。	本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等）。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	Ryan Hreljac が始めた、Ryan's Well Foundation について知り、小さな行いから少しずつ世界を変えることができることを知り、自分が世界に向けてできることは何かを考えることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認。	
		「外国語表現の能力」				
		キーワードや写真を使って水の大切さや、自分ができる小さなことは何かを口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話（retelling）する。	キーワードや写真を使って水の大切さや、自分ができる小さなことは何かを口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		Ryan Hreljac が始めた、Ryan's Well Foundation について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いたり読んだりしたことを理解する。	Ryan Hreljac が始めた、Ryan's Well Foundation について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
「言語や文化についての知識・理解」						
「SVO 構文」「現在完了形」「to 不定詞」「動名詞」の使い方を理解する。英語の音の連続について理解し、音読する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「SVO 構文」「現在完了形」「to 不定詞」「動名詞」の使い方を理解している。英語の音の連続について理解し、音読することができる。	Exercises の確認。言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。			

単元 (該当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Listening Practice 1 (1時間)	・学校生活 ・数字	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		学校生活での表現、数字表現に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着ける。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	学校生活での表現、数字表現に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着けることができる。	リスニング問題の正答数 音読の声の大きさ、流暢さ	
		「外国語表現の能力」				
		題材内容の表現を身につけ、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚える。	音読(シャドーイング、ペアリーディング等)	題材内容の表現を身につけ、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚えることができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認	
		「外国語理解の能力」				
		Key Expression の表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	Key Expression の表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
Key Expression の表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	Key Expression の表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認			
Lesson 3 Washoku— Traditional Japanese Cuisine (6時間)	・自国理解 ・国際理解 ・文化	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		「和食」文化について学び、自国の食文化、海外の食文化を比べ、自国の食文化の良さについて考える。	本文の音読練習(リポート、ペアリーディング等)。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	「和食」文化について学び、自国の食文化、海外の食文化を比べ、自国の食文化の良さについて考えることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認	
		「外国語表現の能力」				
		キーワードや写真を使って、世界に伝えたい和食について口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、世界に伝えたい和食について口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		「和食」文化について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いたり読んだりしたことを理解する。	「和食」文化について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
「言語や文化についての知識・理解」						
「現在完了進行形」「分詞」「関係代名詞」の使い方を理解する。 英語の音の連続について理解し、音読する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「現在完了進行形」「分詞」「関係代名詞」の使い方を理解することができる。 英語の音の連続について理解し、音読することができる。	Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。			

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 4 “A Piece of Cloth” (6時間)	・衣服 ・平和	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		三宅一生の功績、被曝体験からの平和への思いを知り、平和について考える。	本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等）。 Comprehensionを活用して、各Partの概要を把握する	三宅一生の功績、被曝体験からの平和への思いを知り、平和について考えることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehensionの確認	
		「外国語表現の能力」				
		キーワードや写真を使って、三宅一生について、平和について口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話（retelling）する。	キーワードや写真を使って、三宅一生について、平和について口頭で説明することができる。	Communication Activityを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		三宅一生、そして彼の平和への思いについて聞いて読みだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いたり読みだりしたことを理解する。	三宅一生、そして彼の平和への思いについて聞いて読みだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activityを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
「言語や文化についての知識・理解」						
	「SVC」「SVOO」「過去完了」「助動詞をともなう受動態」の使い方を理解する。 英語の音の連結について理解し、音読する。	GrammarやExercisesを活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「SVC」「SVOO」「過去完了」「助動詞をともなう受動態」の使い方を理解することができる。 英語の音の連結について理解し、音読することができる。	Exercisesの確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストに基いて、知識が身についているかを判断する。		
Listening Practice 2 (1時間)	・余暇、趣味 ・5W1Hの把握	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		余暇や趣味に関する表現、5W1Hの表現に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着ける。	リスニング問題、Key Expressionの確認及び音読	余暇や趣味に関する表現、5W1Hの表現に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着けることができる。	リスニング問題の正答数 音読の声の大きさ、流暢さ	
		「外国語表現の能力」				
		題材内容の表現を身につけ、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚える。	音読（シャドーイング、ペアリーディング等）	題材内容の表現を身につけ、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚えることができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認	
		「外国語理解の能力」				
		Key Expressionの表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expressionの確認及び音読	Key Expressionの表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
	Key Expressionの表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expressionの確認及び音読	Key Expressionの表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認		

単元 (該当#時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 5 Malala Continues to Speak Out (6 #時間)	・人権 ・教育 ・平和	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		マララ・ユスフザイについて知り、彼女が掲げる教育の平等、人権について考える。	本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等）。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	マララ・ユスフザイについて知り、彼女が掲げる教育の平等、平和について考える。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認	
		「外国語表現の能力」				
		キーワードや写真を使って、マララ・ユスフザイについて、人権について口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、マララ・ユスフザイについて、人権について口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		マララ・ユスフザイについて聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いたり読んだりしたことを理解する。	マララ・ユスフザイについて聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「言語や文化についての知識・理解」				
「完了形受動態」 「It is + 形容詞名詞 + that SV」 「SV (知覚・使役動詞OC)」 「関係副詞」 の使い方を理解する。 英語の音の連結について理解し、音読する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「完了形受動態」 「It is + 形容詞 (名詞) + that SV」 「SV (知覚・使役動詞OC)」 「関係副詞」 の使い方を理解することができる。 英語の音の連結について理解し、音読することができる。	Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。			
Lesson 6 Stonehenge — The Facts and Mysteries (6 #時間)	・歴史 ・文化	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		今なお謎に包まれているストーンヘンジの最新の仮説、歴史を知り、歴史の謎について考える。	本文の音読練習（リピート、ペア・リーディング等）。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	今なお謎に包まれているストーンヘンジの最新の仮説、歴史を知り、歴史の謎について考え、自分の考えを伝えることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認	
		「外国語表現の能力」				
		キーワードや写真を使って、ストーンヘンジについて口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、ストーンヘンジについて口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		ストーンヘンジについて聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いたり読んだりしたことを理解する。	ストーンヘンジについて聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「言語や文化についての知識・理解」				
「SVO to 不定詞」 「分詞構文」 「関係詞の非制限用法」 の使い方を理解する。 英語の音の連結について理解し、音読する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「SVO to 不定詞」 「分詞構文」 「関係詞の非制限用法」 の使い方を理解することができる。 英語の音の連結について理解し、音読することができる。	Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。			

単元 (該当#期間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Listening Practice 3 (1#時間)	・道案内 ・意見把握	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		道案内の表現、意見把握に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着ける。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	道案内の表現、意見把握に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着けることができる。	リスニング問題の正答数 音読の声の大きさ、流暢さ	
		「外国語表現の能力」				
		題材内容の表現を身に付け、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚える。	音読シャドーイング、ペアリーディング等	題材内容の表現を身に付け、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚えることができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認	
		「外国語理解の能力」				
		Key Expression の表現の使い、場面を覚える。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	Key Expression の表現の使い、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認	
		「言語や文化についての知識・理解」				
Key Expression の表現の使い、場面を覚える。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	Key Expression の表現の使い、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認			
Lesson 7 One Team, One Country (6#時間)	・人権 ・歴史 ・スポーツ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		南アフリカで初の黒人大統領となったネルソンマンデラと、国をひとつにするために1995年のラグビーワールドカップで優勝を果たした「スプリングボックス」について知り、スポーツの力と人権について考える。	本文の音読練習（リビート、ペアリーディング等）。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	南アフリカで初の黒人大統領となったネルソンマンデラと、国をひとつにするために1995年のラグビーワールドカップで優勝を果たした「スプリングボックス」について知り、スポーツの力と人権について考えることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認	
		「外国語表現の能力」				
		キーワードや写真を使って、1995年のラグビーワールドカップについて口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、1995年のラグビーワールドカップについて口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「外国語理解の能力」				
		ネルソンマンデラ、1995年ラグビーワールドカップについて聞いた、読みだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いた、読みだりしたことを理解する。	ネルソンマンデラ、1995年ラグビーワールドカップについて聞いた、読みだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。	
		「言語や文化についての知識・理解」				
「It is ...for A (of A) to ~」「SV it C to ~」「仮定法過去」の使い方を理解する。 英語の音の連続について理解し、音読する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「It is ...for A (of A) to ~」「SV it C to ~」「仮定法過去」の使い方を理解することができる。 英語の音の連続について理解し、音読することができる。	Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身につけているかを判断する。			

Lesson 8 To Protect or To Develop? (6時間)	・世界遺産 ・文化 ・地理	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「世界遺産や自然を守るのか、それとも国や地域の発展のためにそれらを手放し、開発するのか」という問いについて考え、それぞれのPros&Consを考え、自分の意見を持つ。	本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehensionを活用して、各Partの概要を把握する	「世界遺産や自然を守るのか、それとも国や地域の発展のためにそれらを手放し、開発するのか」という問いについて考え、それぞれのPros&Consを考え、自分の意見を持ち、ペアで伝え合うことができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehensionの確認
		「外国語表現の能力」			
		キーワードや写真を使って、世界遺産について口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、世界遺産について口頭で説明することができる。	Communication Activityを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		世界遺産について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いたり読んだりしたことを理解する。	世界遺産について聞いたり読んだりしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activityを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
「It seems that」「仮定法過去完了」「It is... that(修飾構文)」の使い方を理解する。 英語の音の連発について理解し、音読する。	GrammarやExercisesを活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「It seems that」「仮定法過去完了」「It is... that(修飾構文)」の使い方を理解する。 英語の音の連発について理解し、音読することができる。 英語の音の連発について理解し、音読することができる。	Exercisesの確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。		
Listening Practice 4 (1時間)	・レストラン ・主題の把握	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		レストランで使う表現、主題の把握に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に付ける。	リスニング問題、Key Expressionの確認及び音読	レストランで使う表現、主題の把握に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に付けることができる。	リスニング問題の正答数 音読の声の大きさ、流暢さ
		「外国語表現の能力」			
		題材内容の表現を身に付け、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚える。	音読(シャドーイング、ペアリーディング等)	題材内容の表現を身に付け、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚えることができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認
		「外国語理解の能力」			
		Key Expressionの表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expressionの確認及び音読	Key Expressionの表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認
「言語や文化についての知識・理解」					
Key Expressionの表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expressionの確認及び音読	Key Expressionの表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focusにある英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認		

Lesson 9 Life in a Jar (6時間)	・平和 ・戦争 ・人権	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		第二次世界大戦中、多くのユダヤ人を救ったイレーナ・センドラーについて知り、彼女の勇気ある行動、戦争の悲惨さについて考える。	本文の音読練習（リビート、ペア・リーディング等）。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	第二次世界大戦中、多くのユダヤ人を救ったイレーナ・センドラーについて知り、彼女の勇気ある行動、戦争の悲惨さについて考えることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認
		「外国語表現の能力」			
		キーワードや写真を使って、多くのユダヤ人を救ったイレーナ・センドラーについて口頭で説明する。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話（retelling）する。	キーワードや写真を使って、多くのユダヤ人を救ったイレーナ・センドラーについて口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		第二次世界大戦中、多くのユダヤ人を救ったイレーナ・センドラーについて知り、彼女の勇気ある行動、戦争の悲惨さについて聞いて読みだしたことを理解し、概要や要点をとらえる。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いて読みだしたことを理解する。	第二次世界大戦中、多くのユダヤ人を救ったイレーナ・センドラーについて知り、彼女の勇気ある行動、戦争の悲惨さについて聞いて読みだしたことを理解し、概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
「SVC(分詞)」「SV(知覚動詞OC)」「助動詞 have 過去分詞」の使い方を理解する。 英語の音の連結について理解し、音読する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する	「SVC(分詞)」「SV(知覚動詞OC)」「助動詞 have 過去分詞」の使い方を理解することができる。 英語の音の連結について理解し、音読することができる。	Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。		
Reading A Test of True Love (7時間)	・物語	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		登場人物の心情、情景を意識しながら、Blandford 中尉と Meynell の恋の結末を知る。	本文の音読練習（リビート、ペア・リーディング等）。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する	登場人物の心情、情景を意識しながら、Blandford 中尉と Meynell の恋の行方を知ることができる。	ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認
		「外国語表現の能力」			
		Reproduction、サマリーを利用して、物語の概要をペアで伝えあう。	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話（retelling）する。	Reproduction、サマリーを利用して、物語の概要をペアで伝えあうことができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		Reproduction、サマリーを利用して、物語の概要をペアで伝えあう。	サマリーシートやダイアログを活用し、聞いて読みだしたことを理解する。	Reproduction、サマリーを利用して、物語の概要をペアで伝えあうことができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
物語文特有の言い回しや表現に触れ、情景描写や心情変化を意識しながら文章を讀む。	本文中で使われている意味や用法を確認する。	物語文特有の言い回しや表現に触れ、情景描写や心情変化を意識しながら文章を讀むことができる。	Reproduction の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。		

Listening Practice 5 (1時間)	・病気 ・論理の展開	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		論理の展開に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着ける。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	論理の展開に関するリスニング問題に答え、音読を通してその表現を身に着けることができる。	リスニング問題の正答数 音読の声の大きさ、流暢さ
		「外国語表現の能力」			
		題材内容の表現を身につけ、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚える。	音読(シャドーイング、ペアーディング等)	題材内容の表現を身につけ、実生活とリンクさせながら、さまざまな表現を覚えることができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認
		「外国語理解の能力」			
		Key Expression の表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	Key Expression の表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認
「言語や文化についての知識・理解」					
Key Expression の表現の使い方、場面を覚える。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚える。	リスニング問題、Key Expression の確認及び音読	Key Expression の表現の使い方、場面を覚え、実際に使うことができる。 Sound Focus における英語特有のリズムを覚え、リズムを意識しながら音読することができる。	音読の声の大きさ、流暢さ 口頭確認		

平成31年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第2学年	FLEX English Final Presentation II

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、事実や意見などを多様な点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

話題別の会話文で読み・聞く能力を伸ばし、発音・構文・文法を学んだあと、表現活動で書く・話す能力を養う。情報や考えをまとめて、英語で発表できる力を養う。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」(3単位) 及び「英語表現Ⅱ」(2単位)

主な教材：「コミュニケーション英語Ⅰ」 FLEX English Final Presentation II

「英語表現Ⅰ」 DUALSCOPE English Expression I

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<p>・身近なトピックについて簡単な意見や情報の交換ができる。</p> <p>・与えられた条件、テーマについて、複数の文を用いて話すことができる。</p>	<p>(コミュ英Ⅱ)</p> <p>プレゼンテーション</p> <p>インタビュー</p> <p>テスト</p>	<p>・身近な話題に関して説明をし、自分の意見をつなぎの語やフレーズを活用してまとまりのある段落をひとつ書くことができる。</p> <p>・慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。</p> <p>・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を、基礎的な語彙を用いて書くことができる。</p>	<p>(英表Ⅱ)</p> <p>定期考査</p> <p>レポート</p>	<p>・事物に関する紹介や報告、対話や指示などを聞いてその概要を捉えることができる。</p> <p>・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことができる。</p>	<p>(コミュ英Ⅱ)</p> <p>リスニングテスト</p> <p>定期考査</p> <p>リスニングテスト</p> <p>定期考査</p> <p>(英語表現Ⅱ)</p> <p>定期考査</p>	<p>・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。</p> <p>・400語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。</p>	<p>(コミュ英Ⅱ)</p> <p>リーディングテスト</p> <p>定期考査</p>

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実 施 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて表現している ・授業を通して学んだことや、学校や家庭などにおける日常生活の中で学んだり経験したりしたことを積極的に活用して表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる ・場面や状況に応じた適切な表現を用いることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容を的確に理解することができる ・説明などを読んだり聞いたりして、特に重要な事実等を捉えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、表現活動に必要な文化的背景について理解している
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>				

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 Eliza Scidmore and Japanese Cherry Blossoms (5時間)	桜を取り巻く日本とアメリカの交わり	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehensionの確認。
		桜の持つ文化的な異議について簡単な英語で表現してみる。	本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。Comprehensionを活用して、各Partの概要を把握する	日本の文化について積極的に表現することができる。		
		「外国語表現の能力」				Final Presentationを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の半断材料として活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 ・本文中に出てきた語法・熟語を使って、指示にそった適切な英文を書くことができる。 	Final Presentationを活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話(retelling)する。	キーワードや写真を使って、本文の内容を口頭や記述で説明することができる。		
		「外国語理解の能力」				Final Presentationを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の半断材料として活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・本文や内容についての英文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 ・時制を的確に把握し、時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。 	Final Presentationを活用して、各Partの内容に対する感想や意見について伝え合う。	日本の文化を理解し、概要や要点をとらえることができる。		
「言語や文化についての知識・理解」				<ul style="list-style-type: none"> ・Exercisesの確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身につけているかを判断する。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ人にとっての桜の魅力とはどのようなものを把握する。 ・「動名詞の意味上の主語」「同格表現」「受け身の完了形」の使い方と内容を理解した上で、本文の内容を正確に把握できる。 	GrammarやExercisesを活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	「動名詞の意味上の主語」「同格表現」「受け身の完了形」を理解している。				
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 2 Keisuke Iwaya and the pursuit of Dreams. (7時間)	夢を実現させる努力や発想を持つ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度。」				<ul style="list-style-type: none"> ・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehensionの確認。
		夢を実現させるための柔軟な発想を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 ・Comprehensionを活用して、各Partの概要を把握する。 	キーワードや写真を使って、本文の内容を口頭や記述で説明することができる。		
		「外国語表現の能力」				Final Presentationを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の半断材料として活用する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容について英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 ・摩擦音や破裂音に注意して、提示された英文を音読することができる。 ・本文中に出てきた語法・熟語を使って、指示に沿った適切な英文を書くことができる。 	本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにして、ペアで再話(retelling)する。	キーワードや写真を使って、動物の感情について考え、口頭で説明することができる。		
「外国語理解の能力」						

		<ul style="list-style-type: none"> 本文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 本文の内容についての英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 摩擦音や破裂音を認識でき、注意して音読することができる。 関係代名詞の表現を的確に把握し、その使い方と内容を理解した上で、本文の内容を正確に把握できる。 	Final Presentation を活用して、各 Part の内容に対する感想や意見について伝え合う。	主人公の発想の転換と夢の実現の関係について概要や要点をとらえることができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化」についての知識・理解					
		<ul style="list-style-type: none"> 夢を実現させるのに必要な努力＋発想力の大切さを理解する。 進行形、間接疑問、分詞の表現、それぞれの意味や働き、形を理解している。 	「助動詞＋完了形」「否定の不定詞」「不定詞＋受け身」の使い方を理解している。 <ul style="list-style-type: none"> 英文の意味上の区切りでポーズを置き、音読することができる。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 A small grain with a big Impact (7 時間)	人類と「塩」の歴史的な関わり方の変遷	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 変わっていく塩と人との関わりを読み取ろうとしている。 塩のもつ重要性を読み取ろうとする。 積極的に声を出して音読しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。 	塩の歴史に理解を深めようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 適切な位置に区切りを入れながら、類似する 2 音の違いに注意し、英文を音読することができる。 本文中に出てきた語法・熟語を使って、指示にそった適切な英文を書くことができる。 	Final Presentation を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、塩の歴史について、口頭で説明することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「外国語理解の能力」					
		<ul style="list-style-type: none"> 本文英文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 本文の内容についての英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 時制的に的確に把握し、時系列に従って本文の内容 	Final Presentation を使い人との関わりについて自分の意見を書く。	Final Presentation を使い、塩の持つ意義について自分の意見を書ける。	現代の人と塩についての関わりについて書かせたものを提出させる。

		を正確に理解できる。			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> 人類と塩のかかわりの歴史についての内容を掴むことができる。 「無生物主語」「不定詞＋完了形」「助動詞＋受け身」について、それぞれの意味や働き、形を理解している。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	「無生物主語」「不定詞＋完了形」「助動詞＋受け身」の使い方を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 4 21:00 A world with, or without, sea turtles?	ウミガメの生態と 環境問題	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ウミガメについての情報を読み取る。 ウミガメの減少に対する対策について読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。 	正確な情報を伝えることができる。 自分としてしている対策について意見を交換できる。	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 本文で扱われる母音や子音に注意して発音できる。 本文中に出てきた語法・熟語を使って、指示にそった適切な英文を書くことができる。 	Final Presentation を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、ウミガメの減少の理由や現象抑制のための対策について説明することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> 本文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 本文の内容についての英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 母音・子音の音の区別を認識でき、注意して音読することができる。 	Final Presentation を活用して、戦争についてグループ内で発表する。	世界で行われているウミガメ減少抑制のための対策について調べ、グループ内で発表することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。		
		「言語や文化についての知識・理解」			
		as if 仮定法・疑問詞＋不定詞・未来進行形 それぞれの意味や働き、形を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> as if 仮定法・疑問詞＋不定詞・未来進行形を使い簡単な英語で表現する。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 Running a business for the poor	途上国の水不足 を助ける BOP ビジネス	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 途上国の水事情を理解しようとしている。 BOP ビジネスの内容を読み取ろうとしている。 ポリグラーについての情報を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。 	途上国の水不足を助けた日本人について、自分の言葉で説明しようことができる	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 適切な位置に区切りを入れながら、英語独特の音に注意して音読することができる。 	Final Presentation を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、BOP ビジネスについて説明できる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の英文や、内容についての英問を聴いて、内容を正しく理解できる。 日本語にはない音を意識し、強勢、リズム、イントネーション、区切りなどに注意して音読することができる。 	Final Presentation を活用して、水不足を解消する対策についてディスカッションをする。	Phrases を使い水の大切さについて英語で表現できる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
<ul style="list-style-type: none"> 途上国での水不足を解決するいろいろな方法を考えてみる。 二重否定・there を用いた表現・過去完了進行形の働き、形を理解している。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	二重否定・there を用いた表現・過去完了進行形について正しく理解し、音読できる。	<ul style="list-style-type: none"> Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。 		
Lesson 6 The living library	人とその背景	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 人 (マイノリティー) の背景を理解しようとしている。 自分の持つ偏見について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。 	自分の周りの人の持つ背景を理解し、自分の言葉で説明しようことができる	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認。
「外国語表現の能力」					
<ul style="list-style-type: none"> 本文内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 適切な位置に区切りを入れながら、日本語の音と英語の音の違いに注意して、適切な音量で本文を音読できる。 	Final Presentation を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、人の多様性について口頭や記述で十分の言葉で説明することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。		

		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文英文を聴いて、大まかな概要を把握できる。 本文の内容についての英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 日本語の音と英語の音の違いに注意して音読することができる。 	Final Presentation を活用して自分やパートナーの人に対する偏見を聞き取る。	簡単な英語を使って自分の人に対する偏見を表現できる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> 分詞構文の否定・結果を表す不定詞・挿入それぞれの意味や働き、形を理解している。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	分詞構文の否定・結果を表す不定詞・挿入について正しく理解し、音読できる。	<ul style="list-style-type: none"> Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 More than just shelters	現代社会と建築	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> 劣悪な建物で暮らす人々がいることを理解しようと努めている。 人の尊厳と建物の関係を読み取ろうと努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。 	人の尊厳と建物の関係を理解し、自分の言葉で説明しようとすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 日本語に近い発音や母音の区別に注意して英文を音読することができる。 関係代名詞の非制限用法、前置詞+関係代名詞、関係副詞、本文中に出てきた語法・熟語を使って、指示にそった適切な英文を書くことができる。 	Final Presentation を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、"shelter" の意味を口頭で説明することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文英文を聴いて、大まかな概要を把握でき、英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 	Final Presentation を活用して、仮想水についての理解を深めることができる。	"shelter" について、自分の言葉で説明することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
<ul style="list-style-type: none"> 劣悪な建築物の中で暮らす人々がたくさんいるということについて考えている。 現在完了進行形・be to ・ 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	現在完了進行形・be to ・家賃法の were to について理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。 		

		家庭法の were to の意味や働き、形を理解している。			
Lesson 8 Artificial Intelligence	科学	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> AIの長所・短所について読み取ろうと努めている。 ”Deep learning”の内容やその可能性について読み取ろうと努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehensionを活用して、各Partの概要を把握する。 	AIについて考えを深め、筆者の考えに対し建設的な批評ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehensionの確認。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 英語特有のl やr の発音に注意して、英文を音読することができる。 仮定法過去、関係副詞の非制限用法、仮定法過去完了などを使って、指示にそった適切な英文を書くことができる。 	Final Presentationを活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話(retelling)する。	キーワードや写真を使って、AIが社会に及ぼす影響について口頭で説明する。	Final Presentationを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の半断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
<ul style="list-style-type: none"> 本文英文や内容についての英問や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 時制を的確に把握し、時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。 	Final Presentationを活用して、AIについてプレゼンテーションする。	AIについてプレゼンをする設定でクラスで発表できる。	Final Presentationを活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の半断材料として活用する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
		<ul style="list-style-type: none"> AIの長所と短所を理解し、今後の社会への影響を理解している。 完了形の分詞構文・未来完了形・仮定法現在の働き、形を理解している。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	完了形の分詞構文・未来完了形・仮定法現在について理解できる。 <ul style="list-style-type: none"> 英語の音の連結について正しく理解し、音読する。 英語の音の連結について正しく理解し、音読できる。 	<ul style="list-style-type: none"> Exercisesの確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを半断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 Sapeur	文化(服装と人格)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
	<ul style="list-style-type: none"> ”Sapeur”とはどんな人々が読み取ろうと努めている。 服装が人に与える影響を読み取ろうと努めている。 積極的に声を出して音読しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehensionを活用して、各Partの概要を把握する。 	”Sapeur”の主張を理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehensionの確認。 	

		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容について英問英答したり、知り得た情報を英語で話したり書いたりすることができる。 つづり字につられて間違えやすい発音や、日本語に近い発音に注意して、英文を発音することができる。 	Final Presentation を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、人の服装について口頭で説明することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取締状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を要約したり、パララズしたりして説明することができる。 音調、リズム、アクセントに注意して聴き取り、本文の内容を正しく理解できる。 つづり字につられて間違えやすい発音や、日本語に近い発音に注意して聴き取り、音読できる。 	Final Presentation を活用して、を用いた新しい商品を考え、発表する。	服装が人に与える影響を考え、スピーチ原稿を書き、発表することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取締状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
Lesson 10 Larry Page and the Dream of Google	Google の創設者を通して夢の実現を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 服装の持つ影響性をどう活用できるかを考えている。 独立分詞構文・倒置・完了形分詞構文の受け身について、それぞれの形と意味を理解している。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 独立分詞構文・倒置・完了形分詞構文の受け身について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> Exercises の確認。 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
Lesson 10 Larry Page and the Dream of Google	Google の創設者を通して夢の実現を考える。	<ul style="list-style-type: none"> Google 創設の経緯を読み取ろうと努めている。 夢をかなえるために何ができるかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の音読練習 (リピート、ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。 	Google 創設の経緯を理解しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 本文内容についての英問英答や、知り得た情報の英語による説明ができる。 適切な位置に区切りを入れながら、適切な音量で本文を音読できる。 日本語に近い発音や類似した音に注意して、英文を音読することができる。 	Final Presentation を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、夢の実現について何をすべきか口頭で説明することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取締状況の判断材料として活用する。

		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> • 本レッスンの内容についての英辞や英文を聴いて、内容を正しく理解できる。 • 日本語に近い音や類似した音を認識し、注意して音読することができる。 • 時制を的確に把握し、時系列に従って本文の内容を正確に理解できる。 	Final Presentation を活用して Google について自分が経験したことを発表する。	Google に関する自分の経歴談を発表することができる。	Final Presentation を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> • 夢の実現について考えている。 • 関係代名詞 all・be aware・what if・It seems like・use up の意味や働き、形を理解している。 	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	関係代名詞 all・be aware・what if・It seems like・use up について理解できている。	<ul style="list-style-type: none"> • Exercises の確認。 • 言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

令和2年度外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	第3学年	Revised ELEMENT English CommunicationⅢ Revised ELEMENT English CommunicationⅢ 予習ノート

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養います。

さまざまな英文を読み、事実や意見などを多面から考察し論理の展開や表現の方法を理解します。語彙・構文・文法を学ぶだけでなく、トピックセンテンスやディスコースマーカーにも注目し、長文の内容把握を練習します。その上で繰り返し音読を行い自分の考えを述べるアウトプットの練習を行い、自己表現へとつながる学習方法を身につけます。

2 学習の到達目標 (CAN・DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」(4単位)及び「英語表現Ⅱ」(2単位)

主な教材：「コミュニケーション英語Ⅲ」Revised ELEMENT English CommunicationⅢ

Revised ELEMENT English CommunicationⅢ ノートブック

「コミュニケーション英語Ⅲ」Revised ELEMENT English CommunicationⅢ

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・学んだことや体験したことに基づき、準備をしたうえで考えをまとめて発表できる。	(英表Ⅱ) プレゼンテーション ディベート	・主題を決め、さまざまな種類の文章を書くことができる。 ・文章の構成を考えながら書くことができる。 ・書いた内容を読み返して推敲することができる。	(英表・英表Ⅱ) 定期考査 (英表) レポート	・社会的な問題の中でも、身近な話題について話されている対話や討論などを聞いて、その概要を捉えることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞ける。	(コミュ英Ⅲ) リスニング テスト 定期考査 (英表Ⅱ) 定期考査	・700語程度の社会的な話題や時事問題について書かれた説明や評論などを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の要旨を理解することができる。	(コミュ英Ⅲ) リーディング テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	・間違えることを恐れず、積極的に情報や考えなどについて表現している ・授業を通して学んだことや、学校や家庭などにおける日常生活の中で学んだり経験したりしたことを積極的に活用して表現している	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる ・場面や状況に応じた適切な表現を用いることができる	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容を的確に理解することができる ・説明などを読んだり聞いたりして、特に重要な事実等を捉えることを通じ、全体の要旨を理解することができる	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、表現活動に必要な文化的背景について理解している

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 Lies, Damned Lies, and Statistics (5 時間)	<p><統計・グラフの見方></p> <ul style="list-style-type: none"> 折れ線グラフを使ったデータの見え方の違いを理解する。 	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		統計がどのように嘘をつくかについて理解する。	本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する	統計の見方を理解する。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		なぜ誤解を生むような統計データが使用されるのか, またそれをどのように見抜くかについて話し合う。	Communication Activity を活用して, 本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りに ペア で再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って, 統計データを説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		統計を利用する際に筆者と読者が気をつけるべきことについて理解する。	Communication Activity を活用して, 各 Part の内容に対する感想や意見について伝え合う。	統計について聞いたことを読み取り理解し, 概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	「マイクロパラグラフ」「マクロパラグラフ」を理解する。 英語の音の連結について理解し, 音読する。	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	「マイクロパラグラフ」「マクロパラグラフ」を理解できる。 英語の音の連結について理解し, 音読する。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。	
Lesson 2 Language Extinction (5 時間)	<p><言語の消滅></p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の言語を守るためにどのような取り組みが行われているかを理解する。 	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		何が言語を消滅させるのかを理解する。	・本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する。	言語が消滅するときに私たちが失うものは何かを理解できる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		日本で英語を話す人々が増えれば, 日本語も消滅すると思うかについて話し合う。	本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りにして, ペアで再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って, 言語の消滅について考え, 口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		世界の言語を守るためにどのような取り組みが行われているかについて書く。	Communication Activity を活用して, 筆者の意見に対して賛成か反対かをグループ内で伝え合う。	マイクロパラグラフとマクロパラグラフを理解する。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	「マイクロパラグラフ」「マクロパラグラフ」を理解する。 英語の音の連結について理解し, 音読する。	「現在完了形」「受動態」「分詞の限定用法」の使い方を理解している。 ・英文の意味上の区切りでポーズを置き, 音読することができる。	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 Environment or Orangutans (5 時間)	〈科学・技術〉 ・ヤシ油の 人気 が オランウ ータン におよ ぼす影 響を理 解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		オランウータンが絶滅の危機に瀕している理由を理解する。	・本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する。	動物の絶滅の危機に関して理解を深めようとしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		ヤシ油の人気が再燃している理由を理解し口頭で説明する。	Communication Activity を活用して, 本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りに ペア で 再 話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って, ヤシ油の人気が再燃していることについて, 口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		環境と経済のためにヤシの木を植えるべきだという意見に対する自分の考えを書く。	環境問題等考えさせる自然保護に関して自分の意見を書く。	40words 語以上、内容に合ったものを書けているかどうか。専門用語を使いこなしているかどうか。	さまざまな観点から現状の世界でどのような変化が求められているか書かせたものを提出させる。
「言語や文化についての知識・理解」					
	・「動名詞の意味上の主語」「未来進行形」の使い方を理解する。 ・専門用語を理解し, 正しく音読する。	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	「疑問詞・IF 節「関係代名詞」の使い方を理解している。 ・疑問文のイントネーションについて正しく理解し, 音読することができる。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。	
Lesson 4 The Truth about Grit (5 時間)	〈才能のある人々〉 ・気骨に対するよりよい理解が何を可能にするかを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ニュートンが万有引力の概念を思いついた逸話の真実を理解する。	・本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する。	才能に恵まれた人々の人生について積極的に考えようとしている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		気骨を鍛える方法について話し合う。	Communication Activity を活用して, 本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りに ペア で 再 話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って, 気骨を鍛える方法について口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		心理学者が気骨について研究し始めた経緯を理解し, グループ内で説明する。	Communication Activity を活用して, 戦争についてグループ内で発表する。	心理学者が気骨について研究し始めた経緯をグループ内で説明できる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	・「マクロパラグラフ」「ミクロパラグラフ」について理解する。	・気骨に対するよりよい理解が何を可能にするかを述べる。	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。	
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法

Lesson 5 A Class from Stanford University (6 時間)	〈大学でのチームワーク〉 それぞれのチームが課題にどのように取り組んだかを理解し、そこから得られる教訓は何か考 える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・筆者が授業で出した課題がどのようなものだったかを理解する。	・本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する。	大学での授業の課題がどのようなものであったか意見交換を積極的に行っている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		自分がこの授業を受ける生徒だったら何をするかについて話し合う。	Communication Activity を活用して, 本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りに ペア で再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って, 大学で授業を受けるにあたってについて意見を述べる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
それぞれのチームが課題にどのように取り組んだかを理解する。	Communication Activity を活用して, 宇宙ゴミについての解決策をレポート形式で書く。	Useful Expression この課題から得られる教訓ををまとめレポートに書ける。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
「指示表現」 「批評読み」を理解する	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	「指示表現」「批評読み」について理解する。偉大な学者たちの理解。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。		
Lesson 6 The Mpemba Effect (6 時間)	〈ムペンバ効果〉 ・「ムペンバ効果」をめぐる議論について理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ムペンバが発見した現象について理解する。	・本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する。	ムペンバが発見した現象について理解し説明できる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		子どものころに答えが見つからなかった問いについて話し合う。	Communication Activity を活用して, 本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りに ペア で再話 (retelling) する。	子どものころに答えが見つからなかった問いについて互い説明する	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
発見を否定されたときにムペンバが何をしたかを理解する。	Communication Activity を活用する。	子どものころに答えが見つからなかった問いについて人との違いを発表することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。		
「言語や文化についての知識・理解」					
「ディスコースマーカー」「原因・結果、比較・対照」について理解する	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	「ディスコースマーカー」「原因・結果、比較・対照」について正しく理解し, 音読できる。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 Invisible Gorilla (6 時間)	<注意の錯覚> ・「非注意性盲目」がだれに起こるか、「注意の錯覚」がなぜ起こるかを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ゴリラ実験がどのように行われ、どのような結果が出たかについて理解する。	・本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。	ゴリラ実験によってわかったことと、それが何を示しているかが説明できる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		目立つものを見逃した経験について話し合う。	Communication Activity を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りに ペア で再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、非注意性盲目について、口頭で説明することができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		「非注意性盲目」がだれに起こるか、「注意の錯覚」がなぜ起こるかを理解する。	Communication Activity を活用して、自然を	非注意性盲目が誰に起こるのか「注意の錯覚」がなぜ起こるかを説明ができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	「ディスコースマーカー」「原因・結果、例示・追加、比較・対照」について理解する	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	「ディスコースマーカー」「原因・結果、例示・追加、比較・対照」について理解できる。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。	
Lesson 8 A Small Crime (4 時間)	<落書きの意義> 物語を読み取る ・主人公が部屋で考えていたことを理解する。 ・	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		主人公がしかられることになった経緯を理解する。	・本文の音読練習(リピート、ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して、各 Part の概要を把握する。	主人公がしかられることになった経緯を理解し、心情を察する。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		落書きは芸術か犯罪かについて自分の意見をまとめ、市長に電子メールを書く。	Communication Activity を活用して、本文で読んだ内容を、キーワードや写真を頼りに ペア で再話 (retelling) する。	キーワードや写真を使って、物語を口頭で伝える。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		主人公の父親が主人公に言いたかったことを理解する。	Communication Activity を活用して、クラスで発表する。	主人公の父親が主人公に言いたかったことを理解しロールプレイで発表できる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	「未知の語の推測」「指示表現」「時間順序」について理解する。	Grammar や Exercises を活用して、本文中で使われている意味や用法を確認する。	「未知の語の推測」「指示表現」「時間順序」について理解できる。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 Praying Hands (6時間)	<兄弟の約束> ・アルブレヒトに学校に行くことを勧められたアルバートが泣いた理由を理解する。 ・	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		アルブレヒトとアルバートがどのような約束をしたかを理解する。	・本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 ・Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する。	海外出身の選手が直面する問題について意見を述べる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		「祈りの手」を見たときに, 筆者が読者に思い出してほしいことを理解する。	Communication Activity を活用して, 本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りに ペア で再話 (retelling) する。	「祈りの手」を見たときに, 筆者が読者に思い出してほしいことを理解できる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		アルブレヒトの気持ちを想像してアルバートに手紙を書く。	Communication Activity を活用して, 発表する。	アルブレヒトの気持ちを想像してアルバートに手紙を書ける。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	「未知の語の推測」「指示表現」「時間順序」について理解する。	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	「未知の語の推測」「指示表現」「時間順序」について理解できる。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。	
Lesson 10 All the Good Things (6時間)	<素晴らしい言葉> ・マークの葬式で筆者が知ったことを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		クラスの雰囲気が悪くなったときに筆者がしたこと, それがどのような効果をもたらしたかを理解する。	本文の音読練習(リピート, ペア・リーディング等)。 Comprehension を活用して, 各 Part の概要を把握する	マークの葬式で筆者が知ったことを理解できる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・Comprehension の確認。
		「外国語表現の能力」			
		教師のひとりに感謝の手紙を書く	Communication Activity を活用して, 本文で読んだ内容を, キーワードや写真を頼りにペアで再話 (retelling) する。	手紙の書き方を理解し, 書くことができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		マークの葬式で筆者が知ったことを理解する。	Communication Activity を活用して, 各 Part の内容に対する感想や意見について伝え合う。	読んだことを理解し, 概要や要点をとらえることができる。	Communication Activity を活用したワークシートを提出させ, その内容を取組状況の判断材料として活用する。
「言語や文化についての知識・理解」					
	「マイクロパラグラフ」「マクロパラグラフ」を理解する。英語の音の連結について理解し, 音読する。	Grammar や Exercises を活用して, 本文中で使われている意味や用法を確認する。	「マイクロパラグラフ」「マクロパラグラフ」を理解できる。英語の音の連結について理解し, 音読する。	・Exercises の確認。 ・言語の使用場面と働きを意識した筆記テストにおいて, 知識が身についているかを判断する。	

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現 I	2	第1学年	DUALSCOPE English Expression I DUALSCOPE English Expression ワークブック

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。英語表現 I ではそのため発音・構文・文法を学び、話題別の言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えをまとめて、話したり書くことでそれを発表する力を養います。聞いている人にきちんと伝わるような英語を書き、話せることを目標に学んでいきましょう。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語 I」（3単位）及び「英語表現 I」（2単位）

主な教材：「コミュニケーション英語 I」 Perspective English Communication I

「英語表現 I」 DUALSCOPE English Expression I

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・準備した上で、日常的な事柄や自分自身、日本の文化など身近なことについて複数の文で描写できる。 ・定型の表現を使って、簡単なやり取りができる。 ・自然なリズムやイントネーションで自分の思いを伝える。	(コミュ英I) インタビュー テスト・スピーチ (英表I) スピーキング テスト	・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて身近なことについて複数の文を書くことができる。 ・趣味や好き嫌いにについて簡単な語や基礎的な表現を用いて箇条書きで複数の文を書くことが出来る。	(英表I) ライティング テスト・定期考査	・事物に関する紹介や対話などを聞いてその概要を捉えることができる。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞くことができる。	(コミュ英II) リスニング テスト 定期考査 (英表I) リスニング テスト 定期考査	・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ・100語の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したあと適切なポーズを伴い音読することが出来る。	(コミュ英I) リーディング テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	・間違ふことを恐れず、積極的に情報や考えなどについて表現している ・授業を通して学んだことや、学校や家庭などにおける日常生活の中で学んだり経験したりしたことを積極的に活用して表現している	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる ・場面や状況に応じた適切な表現を用いることができる	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して、内容的に正確に理解することができる ・説明などを読んだり聞いたりして、特に重要な事実等を捉えることができる	・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、表現活動に必要な文化的背景について理解している

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 1 (5時間)	英語の型で表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		英語の語順(文型)を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。	INTRO ACTIVITY のSTEP 1 を使って、リーディング活動をする。	英語の語順(文型)を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	ペアやグループでの言語活動の観察 音読	
		「外国語表現の能力」				
		S+V, S+V+C, S+V+O, S+V+O+O, S+V+O+C, There V+S ~ の型を用いて書いたり話したりする。	例文ならびにその解説(Scope for Expression 含む)を読む	S+V, S+V+C, S+V+O の型を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認	
		「外国語理解の能力」				
		S+V, S+V+C, S+V+O, S+V+O+O, S+V+O+C, There V+S ~ の型を意識して読んだり聞いたりする。	EXERCISES の問題を解く。	S+V, S+V+C, S+V+O の型を意識して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
「紹介する」表現を習得する。また、「自己紹介」「興味・関心」に関する語彙・表現を習得する。	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする	「紹介する」表現を習得している。	活動の確認 ワークの確認			
Lesson 2 (7時間)	さまざまな「時」を表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		英語の時制を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	英語の時制を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	ペアやグループでの言語活動の観察 音読	
		「外国語表現の能力」				
		現在時制、過去時制、未来を表す表現について、基本形、進行形、完了形を用いて書いたり話したりする	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする。	現在時制、過去時制、未来を表す表現について、基本形を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認	
		「外国語理解の能力」				
		現在時制、過去時制、未来を表す表現について、基本形、進行形、完了形に注意して読んだり聞いたりする	EXERCISES の問題を解く。	現在時制、過去時制、未来を表す表現について、基本形に注意して読んだり聞いたりできる。	活動の観察 解答の確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
「計画する、予定する」表現を習得する。また、「交通」「旅行」に関する語彙・表現を習得する。	APPENDIX B Words & Phrases を使って、トピック別重要語句・表現を習得する	「交通」「旅行」に関する語彙・表現を習得している。	活動の確認 ワークの確認			

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (6時間)	助動詞を使つて表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		助動詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	助動詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	ペアやグループでの言語活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		助動詞を用いて書いたり話したりする。	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする	助動詞を用いて依頼・勧誘できる。また、助動詞の過去形を用いて、ていねい・控えめのニュアンスを表すことができる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		助動詞に注意して読んだり聞いたりする。	EXERCISES の問題を解く。	助動詞を用いた依頼・勧誘の表現を理解できる。また、助動詞の過去形を用いたていねい・控えめのニュアンスを理解できる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
「依頼する、勧誘する、許可する、禁止する」表現を習得する。また、「クラブ活動」「学校生活」に関する語彙・表現を習得する	APPENDIX B Words & Phrases を使って、トピック別重要語句・表現を習得する	「クラブ活動」「学校生活」に関する語彙・表現を習得している	活動の確認 ワークの確認		
Lesson 4 (6時間)	受動態を使つて表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		受動態を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	受動態を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		受動態を用いて書いたり話したりする。	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする	受動態を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		受動態に注意して読んだり聞いたりする	EXERCISES の問題を解く。	受動態を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
「感情を表す」表現を習得する。また、「発明・発見」「職業」に関する語彙・表現を習得する	APPENDIX B Words & Phrases を使って、トピック別重要語句・表現を習得する	受動態を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の確認 ワークの確認		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (5時間)	不定詞を使っ て表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		不定詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	不定詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	ペアやグループでの言語活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		不定詞を用いて書いたり話したりする。	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする	完了不定詞、不定詞の受動態・進行形を用いて書いたり話したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		不定詞に注意して読んだり聞いたりする	EXERCISES の問題を解く。	完了不定詞、不定詞の受動態・進行形に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	「願望・目的を述べる」表現を習得する。また、「未来生活」「夢・目標」に関する語彙・表現を習得する	APPENDIX B Words & Phrases を使って、トピック別重要語句・表現を習得する	「未来生活」「夢・目標」に関する語彙・表現を習得している	活動の確認 ワークの確認	
Lesson 6 (7時間)	動名詞を使っ て表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		動名詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	動名詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	ペアやグループでの言語活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		動名詞を用いて書いたり話したりする。	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする	動名詞の基本的用法を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		動名詞を用いて書いたり話したりする。	EXERCISES の問題を解く。	動名詞の基本的用法に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	「感謝する、謝る」表現を習得する。また、「コミュニケーション」「交流」に関する語彙・表現を習得する。	APPENDIX B Words & Phrases を使って、トピック別重要語句・表現を習得する	「コミュニケーション」「交流」に関する語彙・表現を習得している	活動の確認 ワークの確認	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (5時間)	分詞を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		分詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	分詞を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	ペアやグループでの言語活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		分詞を用いて書いたり話したりする	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする	分詞を用いて書いたり話したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		分詞に注意して読んだり聞いたりする	EXERCISES の問題を解く。	分詞を用いて書いたり話したりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
分詞による「説明する」表現を習得する。また、「日本文化」「科学技術」に関する語彙・表現を習得する	APPENDIX B Words & Phrases を使って、トピック別重要語句・表現を習得する	「日本文化」「科学技術」に関する語彙・表現を習得している	活動の確認 ワークの確認		
Lesson 8 (5時間)	比較を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		比較構文を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	比較構文を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	ペアやグループでの言語活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		比較構文を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	REVIEW ACTIVITY のSTEP 2 を使って、ライティング活動をする	比較構文(原級・比較級・最上級)を用いて書いたり話したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		比較構文に注意して読んだり聞いたりする	EXERCISES の問題を解く。	比較構文(原級・比較級・最上級)に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
「比較する」表現を習得する。また、「イベント」「ファッション・ショッピング」に関する語彙・表現を習得する	APPENDIX B Words & Phrases を使って、トピック別重要語句・表現を習得する	「イベント」「ファッション・ショッピング」に関する語彙・表現を習得している	活動の確認 ワークの確認		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
Lesson 9 (6時間)	関係詞を使っ て表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		関係詞を理解・活用するた め、聞き取りや音読、言 語活動に積極的に取り 組む	日本語解説を読んで、本課で 学習する文法の概要を理 解する。	関係詞を理解・活用する ため、聞き取りや音読、 言語活動に積極的に取 り組んでいる	ペアやグループでの言語 活動の観察 音読	
		「外国語表現の能力」				
		関係詞を用いて書いたり 話したりする	REVIEW ACTIVITY の STEP 2 を使って、ライテ ィング活動をする	関係詞を理解・活用する ため、聞き取りや音読、 言語活動に積極的に取 り組んでいる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認	
		「外国語理解の能力」				
		関係詞に注意して読んだ り聞いたりする	EXERCISES の問題を解 く。	関係代名詞の制限用法に 注意して読んだり聞い たりできる	活動の観察 解答の確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
関係詞による「説明する」 表現を習得する。また、 「世界遺産」「風習・習 慣」に関する語彙・表現 を習得する	APPENDIX B Words& Phrases を使って、トピ ック別重要語句・表現を習 得する	「世界遺産」「風習・習慣」 に関する語彙・表現を 習得している	活動の確認 ワークの確認			
Lesson 10 (5時間)	仮定法を使っ て表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		仮定法を理解・活用するた め、聞き取りや音読、言 語活動に積極的に取り 組む	日本語解説を読んで、本課で 学習する文法の概要を理 解する。	仮定法を理解・活用する ため、聞き取りや音読、 言語活動に積極的に取 り組んでいる	ペアやグループでの言語 活動の観察 音読	
		「外国語表現の能力」				
		仮定法を用いて書いたり 話したりする	REVIEW ACTIVITY の STEP 2 を使って、ライテ ィング活動をする	仮定法過去、仮定法過去 完了を用いて書いたり 話したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認	
		「外国語理解の能力」				
		仮定法に注意して読んだ り聞いたりする	EXERCISES の問題を解 く。	仮定法過去、仮定法過去 完了に注意して読んだ り聞いたりできる	活動の観察 解答の確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
「仮定する、願望する」表 現を習得する。また、「環 境」「歴史」に関する語 彙・表現を習得する	APPENDIX B Words& Phrases を使って、トピ ック別重要語句・表現を習 得する	「環境」「歴史」に関する 語彙・表現を習得して いる	活動の確認 ワークの確認			

学校番号

2002

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	2	第2学年	DUALSCOPE English Expression II DUALSCOPE English Expression II ワークブック DUALSCOPE English 英語総合演習

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・1年生で学習した英語の語彙や基本的な文法を定着させ、実用のレベルに発展させるためには、常に「実際のコミュニケーションの中での使われ方」を意識することが大切です。他者に対して自分を表現することを一番の目標にして学習してください。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第2学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3単位）及び「英語表現Ⅱ」（2単位）

主な教材：「コミュニケーション英語Ⅱ」 FLEX English Communication II

「英語表現Ⅱ」 DUALSCOPE English Expression II

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・身近なトピックについて簡単な意見や情報の交換が出来る。 ・与えられた条件やテーマについて複数の文を用いて話すことが出来る。	(コミュ英Ⅱ) インタビュー テスト・スピーチ (英表Ⅱ) スピーキング テスト	身近な話題に関して読んだり聴いたりした内容に対する意見や感想を基本的な語彙を用いて書くことが出来る。	(英表Ⅱ) ライティング テスト・定期考査	・事物に関する紹介や報告、対話や指示などを聞いてその外洋を捉えることができる。	(コミュ英Ⅱ) リスニングテスト 定期考査 (英表Ⅱ) リスニングテスト 定期考査	・様々なトピックの英文を読み、ポイントに沿って正しく理解する。	(コミュ英Ⅱ) リーディング テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	・授業観察 ・宿題点検	・授業観察 ・宿題点検 ・ライティング ・スピーキングテスト	・授業観察 ・プレゼンテーション ・ライティング	・授業観察 ・プレゼンテーション

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Unit 3 (2時間)	無聲物主語・ 名詞構文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		無聲物主語、名詞構文表現 せる使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で 学習する文法の概要を理解 する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた 話題について自分の意 見を述べることができ る。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		正しい主語に注意して 読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説 を読む。	正しい主語に注意して 読んだり聴いたりでき る。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		正しい主語を用いて書い たり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題 を解く	正しい主語を用いて書い たり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		正しい主語の使い方を理 解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	主語の使い方を理解し、 習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 2 (2時間)	句・節/意味上の 主語	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		句・節、主語を正しく使っ て表現する。	日本語解説を読んで、本課で 学習する文法の概要を理解 する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた 話題について自分の意 見を述べることができ る。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		正しい句・節、意味上の主 語を用いて書いたり話し たりする。	演習問題・Exerciseの問題 を解く	正しい句・節、意味上の 主語を用いて書いたり話 したりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
		正しい句・節、意味上の主 語の使い方を理解し、習得 する。	Let's Try!に取り組む。	正しい句・節、意味上の 主語の使い方を理解し、 習得している。	活動の確認 ワークの確認

		正しい無生物主語や名詞構文に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む。	正しい無生物主語や名詞構文に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		正しい主語を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	正しい主語を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			
		正しい無生物主語や名詞構文の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	無生物主語や名詞構文の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 4 (2時間)	現在時制・過去時制・未来を表す表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		現在時制・過去時制、未来を表す表現を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		現在時制・過去時制、未来を表す表現を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	現在時制・過去時制、未来を表す表現用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			
		現在時制・過去時制、未来を表す表現の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	現在時制・過去時制、未来を表す表現の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 5 (2時間)	進行形・完了形	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		進行形・完了形を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		進行形・完了形に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む。	進行形・完了形に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		進行形・完了形用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	進行形・完了形を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			

		進行形・完了形の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	進行形・完了形の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 6 (2時間)	助動詞・受動態	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		助動詞・受動態を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		助動詞・受動態を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	助動詞・受動態を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		助動詞・受動態の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	助動詞・受動態の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 7 (2時間)	仮定法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		仮定法を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		仮定法に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む	仮定法に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		正しい主語を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	正しい主語を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
		仮定法の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	仮定法の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 8 (2時間)	準動詞の名詞的用法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		準動詞の名詞的用法を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
「外国語表現の能力」					

		準動詞の名詞的用法を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	準動詞の名詞的用法を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			
		準動詞の名詞的用法使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	準動詞の名詞的用法の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 9 (2時間)	文型	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		文型を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		文型に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む	文型に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		文型を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	文型を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			
		文型の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	文型の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 10 (2時間)	使役動詞・知覚動詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		使役動詞・知覚動詞を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		使役動詞・知覚動詞を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	使役動詞・知覚動詞を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			
		使役動詞・知覚動詞の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	使役動詞・知覚動詞の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 11	分詞・不定詞・	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

(2時間)	同格	分詞・不定詞・同格を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		分詞・不定詞・同格に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む	分詞・不定詞・同格に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		分詞・不定詞・同格を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	分詞・不定詞・同格用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
		分詞・不定詞・同格の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	の分詞・不定詞・同格の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 12 (2時間)	関係詞の制限用法	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		関係詞の制限用法を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		関係詞の制限用法を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	関係詞の制限用法を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
		関係詞の制限用法の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	関係詞の制限用法の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 13 (2時間)	関係詞の非制限用法・複合関係詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		関係詞の非制限用法、複合関係詞を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		関係詞の非制限用法、複合関係詞に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む	関係詞の非制限用法、複合関係詞に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
「外国語理解の能力」					

		関係詞の非制限用法、複合関係詞を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	関係詞の非制限用法、複合関係詞を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		関係詞の非制限用法、複合関係詞の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	関係詞の非制限用法、複合関係詞の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 14 (2時間)	目的の表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「目的の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		「目的の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	「目的の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		「目的の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	「目的の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 15 (2時間)	程度・結果の表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「程度・結果の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		「程度・結果の表現」に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む	「程度・結果の表現」に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		「程度・結果の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	「程度・結果の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		「程度・結果の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	「程度・結果の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 16	原因・理由の表	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			

(2時間)	現	「原因・理由の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		「原因・理由の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	「原因・理由の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		「原因・理由の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	「原因・理由の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 17 (2時間)	譲歩の表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「譲歩の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		「譲歩の表現」に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む	「譲歩の表現」に注意して読んだり聴いたりできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		「譲歩の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	「譲歩の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
「譲歩の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	「譲歩の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認		
Unit 18 (2時間)	比較の表現(1)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		基本的な「比較の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
基本的な「比較の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	基本的な「比較の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認		

		「言語や文化についての知識・理解」			
		基本的な「比較の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	基本的な「比較の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 19 (2時間)	比較の表現(2)	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		上級レベルの「比較の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		上級レベルの「比較の表現」に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む	上級レベルの「比較の表現」に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		上級レベルの「比較の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	上級レベルの「比較の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		上級レベルの「比較の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	上級レベルの「比較の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 20 (2時間)	条件・仮定の表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「条件・仮定の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		「条件・仮定の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	「条件・仮定の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化についての知識・理解」			
		「条件・仮定の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!!に取り組む。	「条件・仮定の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Unit 21 (2時間)	否定の表現	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「否定の表現」を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			

		「否定の表現」に注意して読んだり聴いたりする。	例文例題ならびにその解説を読む。	「否定の表現」に注意して読んだり聴いたりできる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		「否定の表現」を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	「否定の表現」を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			
		「否定の表現」の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	「否定の表現」の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認
Extra Unit 1～3 Bonus Unit (2時間)	名詞・冠詞・形容詞・前置詞	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		名詞・冠詞・形容詞・前置詞を正しく使って表現する。	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	・授業中に積極的に参加。 ・和文英訳に取り組む。 ・30字程度で与えられた話題について自分の意見を述べることができる。	・授業観察 ・提出物 ・考査 ・小テスト
		「外国語表現の能力」			
		名詞・冠詞・形容詞・前置詞を用いて書いたり話したりする。	演習問題・Exerciseの問題を解く	名詞・冠詞・形容詞・前置詞を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 解答の確認
		「言語や文化」についての知識・理解			
		名詞・冠詞・形容詞・前置詞の使い方を理解し、習得する。	Let's Try!に取り組む。	名詞・冠詞・形容詞・前置詞の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認

学校番号	2002
------	------

令和2年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現Ⅱ	2	第3学年	DUALSCOPE English Expression II

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

2年間で学習した英語の語彙や基本的な文法、構文を定着かつ発展させ、実用のレベルに到達させるために、常に「実際のコミュニケーションの中での使われ方」を意識してください。他者に対して日常的な場面から社会的な問題に対する簡単な自分の意見まで、英語で表現していくことを一番の目標にして学習してください。

2 学習の到達目標 (CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標)

【第3学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（4単位）及び「英語表現Ⅱ」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・学んだことや体験したことに基づき、準備をしたうえで考えをまとめて発表できる	(英表Ⅱ) プレゼンテーション ペアワーク	・主題を決め、さまざまな種類の文章を書くことができる。 ・文章の構成を考えながら書くことができる。 ・書いた内容を読み返して推敲することができる。	(英表Ⅱ) 定期考査 レポート ワークシート	・社会的な問題の中でも、身近な話題について話されている対話や討論などを聞いて、その概要を捉えることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞ける。	リスニングテスト 定期考査	・700語程度の社会的な話題や時事問題について書かれた説明や評論などを一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら全体の要旨を理解することができる。	定期考査 ワークシート

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	授業中の活動に関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしているかを評価できる方法で実施。	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して適切に表現することができる ・CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を評価できる方法で実施。	・説明などを読んだり聞いたりして、特に重要な事実等を捉えることができる ・CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を評価できる方法で実施。	・英語やその運用について知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを評価できる方法で実施。 ・社会的な内容を含む幅広い話題について、表現活動に必要な文化的背景について理解している
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
パラグラフの構成・つなぎ表現 (4時間)	パラグラフの構成・つなぎ表現の種類を理解し、表現につなげる	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		パラグラフの構成(主題文、支持文、まとめ文)を理解し、つなぎ表現を理解・活用するため、ペアワークでお互いのパラグラフについてコメントしあい、質疑応答する。	モデル・パラグラフを読んで、その構成と、そこで使用されているつなぎ表現とその種類を理解し、それをアウトプットする場面で活用する。	パラグラフの構成・つなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察 音読 ペアワーク
		「外国語表現の能力」			
		パラグラフの構成・つなぎ表現の知識を正しく活用して書いたり話したりできる。	例文例題ならびにその解説を読み、実際にパラグラフを書く	パラグラフの構成・つなぎ表現を理解し、正しく書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		パラグラフの構成・つなぎ表現の知識を正しく活用して、文章を読んだり聞き取ったりできる。	演習問題・Exerciseの問題を解く	パラグラフの構成・つなぎ表現を意識して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
パラグラフの構成・つなぎ表現のおおよその機能を知っており、トピックに関し、背景知識や語彙・表現を習得している。	Activity を使って、ライティング活動をする	パラグラフの構成・つなぎ表現のおおよその機能を習得している。	活動の確認 ワークの確認		
列挙・時間的順序 (4時間)	列挙・時間的順序の機能と使い方を学ぶ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		列挙・時間的順序を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。	列挙・時間的順序の内容をつなぎ表現を用いて、英語で表現する。	列挙・時間的順序を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる。	活動の観察 音読 ペアワーク
		「外国語表現の能力」			
		列挙・時間的順序のつなぎ表現を適切に用いて書いたり話したりできる。	例文例題ならびにその解説を読み、実際にパラグラフを書く。	列挙・時間的順序を使った表現を用いて、書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		列挙・時間的順序のつなぎ表現を用いた文章を読んだり聞き取ったりできる。	演習問題・Exerciseの問題を解く	列挙・時間的順序を使った表現を注意して読んだり聞いたりできる。	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
列挙を表すつなぎ表現、時間的順序を表すつなぎ表現を知っている。	Activity を使って、ライティング活動をする	列挙・時間的順序を表す表現を習得している。	活動の確認 ワークの確認		

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	「コミュニケーションへの 関心・意欲・態度」	単元の評価規準	評価方法	
追加・言い換え (4時間)	追加・言い換えの つなぎ表現を使 って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		追加・言い換えを理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む。	追加・言い換えのつなぎ表現を使ったモデルパラグラフを読み、その使い方を理解し、英語で表現する。	追加・言い換えのつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読	
		「外国語表現の能力」				
		追加・言い換えのつなぎ表現を用いて書いたり話したりできる。	Activity Step1 に取り組み、その解説を読む	追加・言い換えのつなぎ表現を用いて、書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認	
		「外国語理解の能力」				
		追加・言い換えのつなぎ表現に注意して読んだり聞きたったりできる。	LECTURE ROOM のモデル英文を読む。	追加・言い換えのつなぎ表現を用いて、注意して読んだり、聞いたりできる。	活動の観察 解答の確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
追加・言い換えのつなぎ表現について習得する。	Activity STEP 3 を使って、ライティング活動をする	追加・言い換えのつなぎ使った表現を習得している。	活動の確認 ワークの確認			
比較・対照 (4時間)	比較・対照の つなぎ表現を使 って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		比較・対照を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	パートナーの書いたパラグラフを読んで、よりよい内容にするために適切な提案をしようとしている。	比較・対照のつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読	
		「外国語表現の能力」				
		比較・対照のつなぎ表現を適切に用いて書いたり話したりできる。	Activity step 1 に取り組み、その解説を読む	比較・対照のつなぎ表現を使って書いたり話したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認	
		「外国語理解の能力」				
		比較・対照のつなぎ表現を使った文章を読んだり聞いたりする	LECTURE ROOM の model 英文を読み、	比較・対照のつなぎ表現を注意して読んだり、聞いたりできる。	活動の観察 解答の確認	
「言語や文化についての知識・理解」						
類似点を表すつなぎ表現、相違点を表すつなぎ表現を知っている。	Activity STEP 3 を使って、ライティング活動をする	比較・対照のつなぎ使った表現を習得している。	活動の確認 ワークの確認			

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
例示 (4時間)	例示のつなぎ表現を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		例示を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	パートナーの書いたパラグラフを読んで、よりよい内容にするために適切な提案をしようとしている。	例示のつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		例示のつなぎ表現を用いて書いたり話したりする。	Activity step 1 に取り組み、その解説を読む	例示のつなぎ表現を用いて書いたり話したりできる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		例示のつなぎ表現に注意して読んだり聞き取ったりする	LECTURE ROOM の model 英文を読む	例示のつなぎ表現に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	例示を表すつなぎ表現の使い方を理解し、習得する。	Activity STEP 3 を使って、ライティング活動をする	例示のつなぎ表現の使い方を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認	
原因と結果 (4時間)	原因と結果のつなぎ表現を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		原因と結果のつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	パートナーの書いたパラグラフを読んで、よりよい内容にするために適切な提案をしようとしている。	原因と結果のつなぎ表現を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		原因と結果のつなぎ表現を用いて書いたり話したりする。	Activity step 1 に取り組み、その解説を読む	原因と結果のつなぎ表現を用いて書いたり話したりできる。	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		原因と結果のつなぎ表現を用いて読んだり聞き取ったりする	LECTURE ROOM の model 英文を読む	原因と結果のつなぎ表現に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	原因と結果のつなぎ表現を用いた表現を理解し、習得する。	Activity STEP 3 を使って、ライティング活動をする	原因と結果のつなぎ表現を使った英文を理解し、習得している。	活動の確認 ワークの確認	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
文法・語法の まとめ (4時間)	3年間で習得した文法・語法を使って表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		習得したすべての文法・語法を整理し、活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する文法の概要を理解する。	今までに学んだ文法・語法を整理し、活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		さまざまな文法・語法を用いて書いたり話したりする	例文・例題ならびにその解説を読む	さまざまな文法・語法を整理し、活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		さまざまな文法・語法に注意して読んだり聞いたりする	演習問題・EXERCISEを解く	さまざまな文法・語法に注意して読んだり聞いたりできる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	さまざまな文法・語法を習得し、活用する	TRY!を使ってライティング活動をする	さまざまな文法・語法を習得し、活用できる。	活動の確認 ワークの確認	
プレゼンテーション (3時間)	プレゼンテーションを行う	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		プレゼンテーションをするため、言語活動に積極的に取り組む	日本語解説を読んで、本課で学習する概要を理解する。	プレゼンテーションをするため、言語活動に積極的に取り組んでいる	活動の観察 音読
		「外国語表現の能力」			
		プレゼンテーションの原稿を作成し、行う	Practiceを使って、プレゼンテーションの準備をし、行う	プレゼンテーションの原稿を作成し、行うことができる	活動の観察 筆記テスト 解答の確認
		「外国語理解の能力」			
		プレゼンテーションを理解し適切な質問をする	クラスメートのPresentationを聞いて、理解し質問をする	プレゼンテーションを理解し、適切な質問をすることができる	活動の観察 解答の確認
「言語や文化についての知識・理解」					
	プレゼンテーションの準備、実施にあたって必要なことを学び、より説得力のあるプレゼンテーションを行うように工夫する	Practiceを使って、プレゼンテーションを行い、評価をする	プレゼンテーションを準備・実施するだけでなく、より説得力のあるものにするよう工夫することができる	活動の確認 ワークの確認	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
事物を紹介する(4時間)	事物を紹介するのに適した論理展開を表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		事物を紹介するのに適した論理展開を理解・活用する	事物を紹介するのに適した論理展開を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	複数のエッセイやプレゼンテーションから一番よいものを1つ選び、その理由を適切に述べるができる	エッセイ、プレゼンテーション
		「外国語表現の能力」			
		事物を紹介するのに適した論理展開を用いて書いたり話したりできる	Activity の TASK A を使って異なる都市を紹介する英文を作る	事物を紹介するのに適した論理展開を書いたり話したりできる	グループワーク、エッセイ
		「外国語理解の能力」			
		事物を紹介するのに適した論理展開を用いた文章を読んだり聞き取ったりできる	LECTURE ROOM を使って、何かを紹介する場合の特徴的な表現を学び、既出のつなぎ表現を使った英文を確認する	事物を紹介するのに適した論理展開を用いて読んだり聞き取ったりできる	小テスト、エッセイ
「言語や文化についての知識・理解」					
	日本の都市や、地元の祭り、学校の特別活動、お気に入りの本を紹介する上で十分な知識・表現を知っている	Activity の TASK B を使って、読み手・聞き手の興味を引く内容になる表現の仕方を学習する	事物を紹介するのに適した論理展開を理解している	グループワーク、プレゼンテーション	
企画を提案する(4時間)	企画を提案するのに適した論理展開を表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		企画を提案するのに適した論理展開を理解・活用する	企画を提案するのに適した論理展開を理解・活用するため、聞き取りや音読、言語活動に積極的に取り組む	複数のエッセイやプレゼンテーションから一番よいものを1つ選び、その理由を適切に述べることができる	エッセイ、プレゼンテーション
		「外国語表現の能力」			
		企画を提案するのに適した論理展開を用いて書いたり話したりをする	英語で企画する際の、典型的な論理展開のパターンを理解して活用できる	企画を提案する際に必要な論理展開を書いたり話したりできる	エッセイ、グループワーク
		「外国語理解の能力」			
		企画を提案するのに適した論理展開を用いた文章を読んだり聞き取る	LECTURE ROOM を使って、英語では最初に提案内容と目的を述べている点に気づかせる	企画を提案する際に必要な論理展開を読んだり聞きとったりできる	プレゼンテーション
「言語や文化についての知識・理解」					
	さまざまな活動についての具体的な提案をする上で、十分な知識・表現を知っている	Activity を使って、架空の提案企画書を作成する	提案企画書が問題点、解決策が明確になっているか、読み手・聞き手に説得力のある内容になっている	プレゼンテーション	

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法	
問題を提起する(4時間)	問題を提起するのに適した論理展開を表現する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」				
		問題を提起する際に有用な論理展開を理解・活用する	問題を提起する際に使われる英文の聞き取りや音読、言語活動	問題を提起するに当たり、適切な論理表現を用いて、英語で表現しようとしている	ディクレーション、音読	
		「外国語表現の能力」				
		英語で問題提起する際の、典型的な論理展開のパターンを理解して活用する	Activity を使って、環境問題について問題提起するという設定で、読み手にその問題に関心を持つように促す文章を書く	問題提起する際の、典型的な論理展開のパターンを理解して活用できる	グループワーク、エッセイ	
		「外国語理解の能力」				
		問題を提起した文章を読んだり聞き取ったりする	LECTURE ROOM を使って、問題提起をする場合には、既習のつなぎ表現を使って効果的に説得力のある英文を作成する	問題を提起した文章を読んだり聞き取ったりできる	エッセイ、プレゼンテーション	
「言語や文化についての知識・理解」						
社会のさまざまな問題について問題提起する上で必要な知識・表現を知っている	Activity を使って、問題提起となるエッセイを書く	問題を提起した文章をさまざまな角度から分析・理解できる	エッセイ			

令和2年度 家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「家庭基礎」 自立・共生・創造 (東京書籍)						
副教材等	スーパーライブビュー Super Live View (東京書籍)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○生活を総合的・多面的にとらえ、様々な生活課題に関心をもち、積極的に取り組みましょう。

- ・家庭・地域・社会の生活課題を取り上げ、ワークショップや演習を通して、様々な立場の人の考え方や生き方にふれ、多様性を認め合い、自己の考えをもちましょう。
- ・身近な生活課題を発見し、自ら解決しようとする実践的な態度を身につけ、生活改善に役立てましょう。

2 学習の到達目標

- ・人の一生と発達課題、家族の役割と重要性、家族に関する法律などについて理解させるとともに、男女共同参画社会の実現のための課題を見だし自己実現のための自立の必要性について認識させる。
- ・こどもの発達と保育・福祉について理解させるとともに、保育の重要性、保育者や社会の果たす役割について認識させる。
- ・わが国の高齢社会・社会福祉の現状を知るとともに、ノーマライゼーションの実現のためには、どのようにすべきか考え、取り組んでいけばよいかという実践的な態度を育てる。
- ・衣生活、食生活および住生活の科学と文化に関する知識と技術を身につけ、体験学習を通して充実した生活を営むことができる実践的な能力を育てる。
- ・消費者市民社会の一員として、自立した消費者として行動することのできるよう知識を深め、よりよい生活を目指そうとする態度を養う。
- ・生活を総合的・多面的にとらえ、様々な生活課題に関心をもち、自ら解決しようとする実践的な態度を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組みとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて、生活の充実向上を図る前の課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、定説に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。

評価方法	学習状況の観察 毎時間の提出物（プリントなど）の記述 調理計画、被服製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価等	学習状況の観察 毎時間の提出物（プリントなど）の記述 調理計画、被服製作計画、実習記録表、レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 毎時間の提出物（プリントなど）の記述 被服製作の作品、観察記録表、レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 毎時間の提出物（プリントなど）の記述 調理計画、被服製作計画、実習記録表、観察記録表、レポート、発表、定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	自分らしい生き方	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭科の学び方 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ○自分を見つける <ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・他己紹介(1分/人) ○目標をもった将来展望 <ul style="list-style-type: none"> ・自立した生き方 ・共に生きる人生 	○	○	○	○	a: 人間のライフステージごとの発達課題について理解している。 b: 青年期は自己のアイデンティティを確立する時期であることを自分の問題として認識し、その解決をめざして考え、表現している。 c: 性に関する事例研究などを通して、多面的に理解しようとし、よりよい関係を築くための課題を取り上げ、検討する技術を身につけている。 d: 自己実現を図るためには、まず自立した人間になることの必要性を認識している。 b: グループワークを通して実践的な態度を身につけている。	授業観察 プリント 定期考査

5月	共に生きる家族	<ul style="list-style-type: none"> ○家族・家庭って何だろう <ul style="list-style-type: none"> ・家族の定義をつくる *ワークショップ ○家族に関する法律 <ul style="list-style-type: none"> ・民法のクイズ *未来の理想の家族像をイラストで表現・発表(文化祭にて展示) ○これからの家庭生活と社会 <ul style="list-style-type: none"> ・労働と生活時間 ・ジェンダーの視点から ・家族・地域・社会の視点で ・他国との比較 	○	○		○	<p>a: 家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 家族・家庭と社会について、現代の家族の特徴、家庭の機能、法律などについて理解し、課題や問題点を考え、表現している。</p> <p>c: 事例研究などを通して、家族や家庭のあり方について多面的に検討する技術を身につけている。</p> <p>d: 生涯発達の視点で、家族・家庭の意義、社会とのかかわりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身につけている。</p>	授業観察 プリント 定期考査
6月・7月	衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ○被服の機能と着装 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の意義 ・衣服の安全・衛生 ○被服の管理と計画 <ul style="list-style-type: none"> ・被服表示の見方 ・界面活性剤のはたらき *被服の構成と被服製作 ○これからの衣生活 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを考える ・持続可能な社会をめざしたライフスタイル ・個々に求められる被服の条件 	○	○		○	<p>a: 衣服の成り立ちと機能について理解する。</p> <p>b: 健康と安全に配慮した衣服の調達と環境と資源に配慮した衣服の管理について考え、表現している。</p> <p>c: 被服の構成について理解し、課題や問題点を考え、意欲的に被服実習に取り組もうとしている。</p> <p>d: 生涯を通して健康で快適な衣生活を営むために必要な被服の知識や、被服管理などの技術を身につけている。</p>	授業観察 プリント 製作計画 実習レポート 製作物 自己評価 相互評価 定期考査
7月	子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを知る <ul style="list-style-type: none"> ・発達のすばらしさ ・子どもの生活 ・親になる視点で ○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ・自分の小さい頃を知っている人または、子育て経験者にインタビューして 	○	○		○	<p>a: 子どもの発達と保育について関心をもち、実践的・体験的な活動を通じて意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために、必要な知識を身につけている。</p>	授業観察 プリント レポート 発表 定期考査

8月・9月	子どもと共に育つ	<input type="checkbox"/> 子どもを取り巻く環境 ・あそびの意義 ・虐待はなぜ？ ・潜在危険を考える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	a: 子どもを取り巻く環境について、課題を見出し、その解決を目指して考え、表現している。	授業観察 プリント レポート 定期考査
9月	高齢社会を生きる	<input type="checkbox"/> 共に生き、共に支える ・ユニバーサルデザインについて考える *シニア体験 ・認知症を理解する (オレンジリング活動の紹介) <input type="checkbox"/> 現代社会の抱える問題とは ・社会的弱者の視点で	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	a: 共生社会と福祉について、家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 共生社会を成立させるための課題を見出し、その解決を目指し社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c: 地域で行われている活動について、情報を収集・整理したり参加したりする技術を身につけている。 d: 共に生き、共に支える組織・制度・法律の必要性について理解し、皆がより暮らしやすい社会を目指して、1人ひとりを大切にする文化を根付かせようとする姿勢をもち、それを表現している。	授業観察 プリント レポート 発表 定期1考査
		前期末考査		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		定期考査

10 月 ・ 11 月 ・ 12 月	食生活をつくる	<p>○私たちの食生活</p> <p>○栄養と食品のかかわり</p> <p>・何をどれだけ食べたらいいか？</p> <p>・食品の選び方と安全</p> <p>○食生活をめぐる課題</p> <p>○調理の基礎</p> <p>*調理実習3回 (10月～2月 和洋中)</p>	○	○	○	○	<p>a: 食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 食をめぐる課題を取り上げ、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c: 生活習慣病を予防し、生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養・食品・調理・食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身につけている。</p> <p>d: 栄養・食品・調理・食品衛生・ライフスタイルと環境などについて、実験・実習を中心とした学習を通し、科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身につけている。</p>	<p>授業観察</p> <p>プリント</p> <p>実習計画</p> <p>実習レポート</p> <p>定期1考査</p>
12 月 ・ 1 月	食生活をつくる	<p>○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p> <p>・家族の健康と生活時間</p> <p>*食生活に関する内容で、家庭で実践できることを考え、実践し、報告する。</p>	○	○	○	○	<p>a: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b: 生活上の課題を取り上げ、その解決をめざして科学的に探求し、表現している。</p> <p>c: 計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。</p> <p>d: ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。</p>	<p>授業観察</p> <p>プリント</p> <p>レポート</p> <p>定期1考査</p>

令和2年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「最新社会と情報 新訂版」 (実教出版)						
副教材等	パーフェクトガイド情報 (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械(コンピュータ)に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えます。

・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習等を通して考え、クラスメイトを含めた多様な考え方を学び、自分の考えをもてるようにします。

2 学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。

・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解したうえで、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加することができる。

・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を多角的・多面的に吟味しその価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解

評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 プリントの記述 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	定期考査の結果 学習状況の観察 プリントの記述 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	コンピュータによる情報処理	○コンピュータと情報処理 ○情報のデジタル化	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a: コンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b: 情報をデジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c: 情報機器を用いて情報をデジタル化することができる。また、デジタル化した情報を編集し、発信することができる。 d: コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。デジタル化の利点について理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品

ネットワークと情報システム	<input type="radio"/> ネットワークの動作の仕組み <input type="radio"/> 情報社会と情報システム <input type="radio"/> 情報セキュリティ	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> a: 情報セキュリティの仕組みに関心を持ち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている。 <input type="radio"/> b: 情報システムや提供されるサービスのありかた、社会生活に及ぼす影響と役割について考えている。 <input type="radio"/> c: 効果的に情報を共有するために、情報通信ネットワークや情報機器を利用することができる。 <input type="radio"/> d: プロトコルや情報伝達の仕組みについて理解し、安全に活用するためのセキュリティ対策について理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
表現と伝達	<input type="radio"/> 表現の工夫 <input type="radio"/> 表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの利用 <input type="radio"/> プレゼンテーション	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> a: 情報の発信に興味を持ち、数多くあるソフトウェアを効率よく活用しようとしている。 <input type="radio"/> b: 情報を作成して伝達する立場で、どうすれば情報を的確にわかりやすく伝えることができるか考えることができている。 <input type="radio"/> c: 表計算ソフトを活用し、グラフを作成するなど、同じデータをさまざまな形で表現することができる。プレゼンテーションソフトを利用して、わかりやすく、かつ説得力のあるスライドを作成し、発表することができる。 <input type="radio"/> d: 効率的な情報の表現方法を理解している。	

令和2年度 芸術科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	視唱ステップアップ（全音楽譜出版社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・ソルフェージュは「専門科目」です。より専門的に音楽へアプローチをするために必要な読譜力と表現力を鍛えるための授業です。
- ・学習内容は「新曲視唱・視奏（楽譜を読む力）」「聴音（音を聴いて再現する力）」2つの実技を行います。
- ・学習の到達度は、実技テストで評価します。
- ・ただ「楽譜を見て音を出す」のではなく、楽譜に書かれている内容を「どのように表現したいか」を考えながら取り組んで欲しいと思います。

2 学習の到達目標

音楽を構成する諸要素を正しくとらえ、音楽的に表現するための基礎的能力を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽を構成する諸要素に関心をもち、聴音、新曲視唱、コールユーブンゲン等の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	リズム・メロディを知覚する	【コールユーブンゲン】 【新曲視唱】	○	○	○	○	a: 学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受し、表現している。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
前期	聴き取ったメロディを再現する	【単旋律聴音・高音部記号】	○	○	○	○	a: 学習に主体的に取り組もうとしている。 b: リズムや音程を正確に聴き取ることができる。 c: 聴き取った音を楽譜上に正確に記譜することができる。	観察 課題提出
後期	リズム・メロディを知覚する	【コールユーブンゲン】 【新曲視唱】 過去の音楽大学入試問題を含め、実践的な課題をこなす。	○	○	○	○	a: 学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受し、表現している。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
後期	聴き取ったメロディを再現する	【二声聴音・四声聴音】 二つの異なるメロディを同時に聴き取る。また、四声聴音は密集・開離、両方の課題に取り組む。	○	○	○	○	a: 学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音程やハーモニーを正確に聴き取ることができる。 c: 聴き取った音を楽譜上に正確に記譜することができる。	観察 課題提出

後期	弾き歌い	【新曲視唱・伴奏付】	○	○	○	○	a:学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受し、表現している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	
----	------	------------	---	---	---	---	--	--

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。